

庄内町の新しいまちづくりのための  
町民アンケート調査 報告書

庄内町

## 【目次】

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象及び調査方法	1
3	調査票の回収結果	1
4	報告書の見方	1
5	標本誤差について	2
II	調査の結果	3
1	回答者の属性	3
問1	回答者の属性	3
(1)	性別	3
(2)	年齢	3
(3)	職業	4
(3)-②	業種	5
(4)	居住年数	6
(5)	居住地区	6
2	庄内町の住みよさや魅力について	7
問2	庄内町の住みよさ	7
問2-2	住みにくい理由	9
問3	庄内町の魅力	13
3	庄内町の生活環境や人間関係について	18
問4	生活環境について	18
問5	人間関係について	22
問6	自分らしい生き方について	25
問7	庄内町での暮らしの幸福度	27
問8	庄内町での暮らしの満足度	30
問9	庄内町の人々の幸福度	33
問10	自身の5年後の幸福度	36
問11	幸福感の判断事項	39
4	まちづくりの取り組みについて	40
問12	施策の満足度と重視度	40
(1)	都市基盤・安全安心分野	40
(2)	生活環境分野	45
(3)	保健・医療・福祉分野	49
(4)	産業分野	53
(5)	教育・文化分野	57
(6)	協働・行財政分野	61

4-2 まちづくりの取り組み（マトリックス分析）について.....	63
(1) 都市基盤・安全安心分野.....	64
(2) 生活環境分野.....	65
(3) 保健・医療・福祉分野.....	66
(4) 産業分野.....	67
(5) 教育・文化分野.....	68
(6) 協働・行財政分野.....	69
5 自身の活動等について .....	70
問 13 近隣との付き合い .....	70
問 13-2 つきあいのある近隣者数 .....	72
問 14 つきあいの程度 .....	74
①友人・知人.....	74
②親戚・親類.....	76
問 15 自身の活動について .....	78
①地域活動.....	78
②スポーツ・趣味・娯楽活動.....	80
③ボランティア・NPO・町民活動.....	82
問 16 自身と地域との関係について .....	84
①近隣とのつきあい.....	84
②信頼できる人の身近な存在.....	86
③地域での活動や社会貢献活動への参加.....	88
6 庄内町の今後について .....	90
問 17 庄内町の将来 .....	90
問 18 力を入れるべき地域経済の活性化への取り組み .....	94
問 19 町に望むことや、まちづくりに関する意見・提案等 .....	98
1. 第一学区.....	98
2. 第二学区.....	103
3. 第三学区.....	108
4. 第四学区.....	113
5. 立谷沢地区.....	116
6. 清川地区.....	116
7. 狩川地区.....	117
8. 居住地無回答.....	120
Ⅲ 調査票 .....	121

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、住みよい、誇れるまちづくりに向け、新しいまちづくりを進めるための指針となる第3次庄内町総合計画（令和8年度～令和17年度）の策定にあたっての基礎資料として活用することを目的として実施しました。

## 2 調査対象及び調査方法

- ①調査地域 : 庄内町全域
- ②調査対象 : 20歳以上の町内在住者
- ③標本数 : 2,000人
- ④標本抽出方法 : 住民基本台帳から無作為抽出
- ⑤調査期間 : 令和6年8月19日（月）～9月20日（金）
- ⑥調査方法 : 郵送配布・郵送回収、及びWEBによる回答。

## 3 調査票の回収結果

配布数	2,000件
有効回収数	741件
回収率	37.1%

※うち、オンライン回答 250件、33.7%

## 4 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ、表として示したもののうち、選択肢の文章を簡略化してある場合があります。
- ・各設問において、次の略称を使用しています。

SA : シングルアンサー（一つだけ選択回答）

OLA : リミテッドアンサー（○以内の選択回答）

MA : マルチアンサー（すべての選択回答）

- ・クロス集計表において、色分け表記の区分は、以下のとおりとします。

属性内での1位 : **XX.X**      属性内での2位 : **XX.X**

※属性内での1位が複数項目ある場合は、属性内での2位には色分けしていません。

※属性内での1位が単数項目であり、かつ属性内での2位が複数項目ある場合は、属性内での2位にはすべて色分けしています。

※「その他」「無回答」は除外しています。

## 5 標本誤差について

- ・今回の調査では、20歳以上の住民2,000人を対象としていますが、回収数から見た標本誤差は以下のとおりです。
- ・したがって、回答割合は最大で $\pm 3.50$ の誤差がある可能性があり、その点に留意する必要があります。

回答比率 基数 (n)		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
	👉 741人	$\pm 2.10$	$\pm 2.80$	$\pm 3.20$	$\pm 3.42$	$\pm 3.50$
参考	2,000人	$\pm 1.21$	$\pm 1.61$	$\pm 1.85$	$\pm 1.97$	$\pm 2.01$
	1,000人	$\pm 1.79$	$\pm 2.38$	$\pm 2.73$	$\pm 2.92$	$\pm 2.98$
	500人	$\pm 2.58$	$\pm 3.44$	$\pm 3.94$	$\pm 4.21$	$\pm 4.30$

※母集団である20歳以上人口を、12,896人（令和6年6月1日）として計算。

## II 調査の結果

### 1 回答者の属性

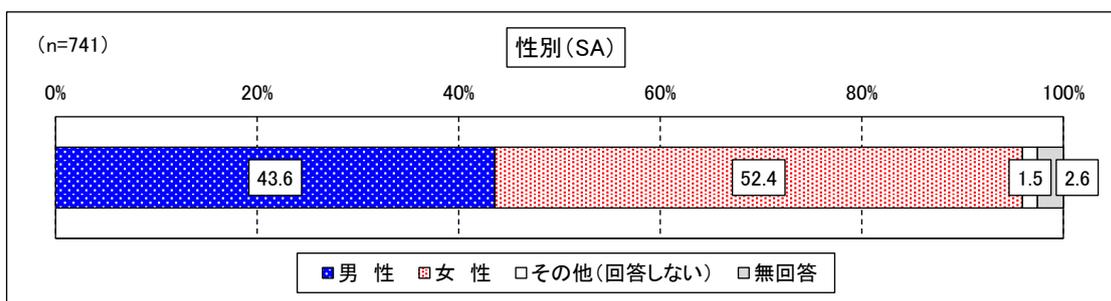
【問1】それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んでください。

#### (1)性別

〔全体〕

回答者の性別は、「男性」が43.6%（323人）、「女性」が52.4%（388人）、「その他（回答しない）」が1.5%（11人）でした。

なお、無回答は2.6%（19人）となっています。

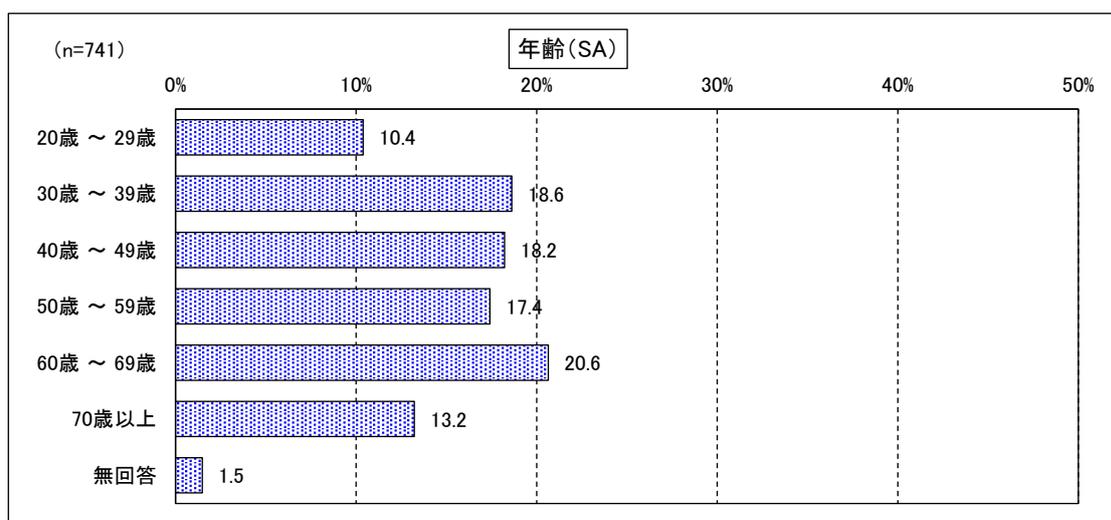


#### (2)年齢

〔全体〕

回答者の年齢は、「20～29歳」が10.4%（77人）、「30～39歳」が18.6%（138人）、「40～49歳」が18.2%（135人）、「50～59歳」が17.4%（129人）、「60～69歳」が20.6%（153人）、「70歳以上」が13.2%（98人）でした。

なお、「無回答」は1.5%（11人）となっています。

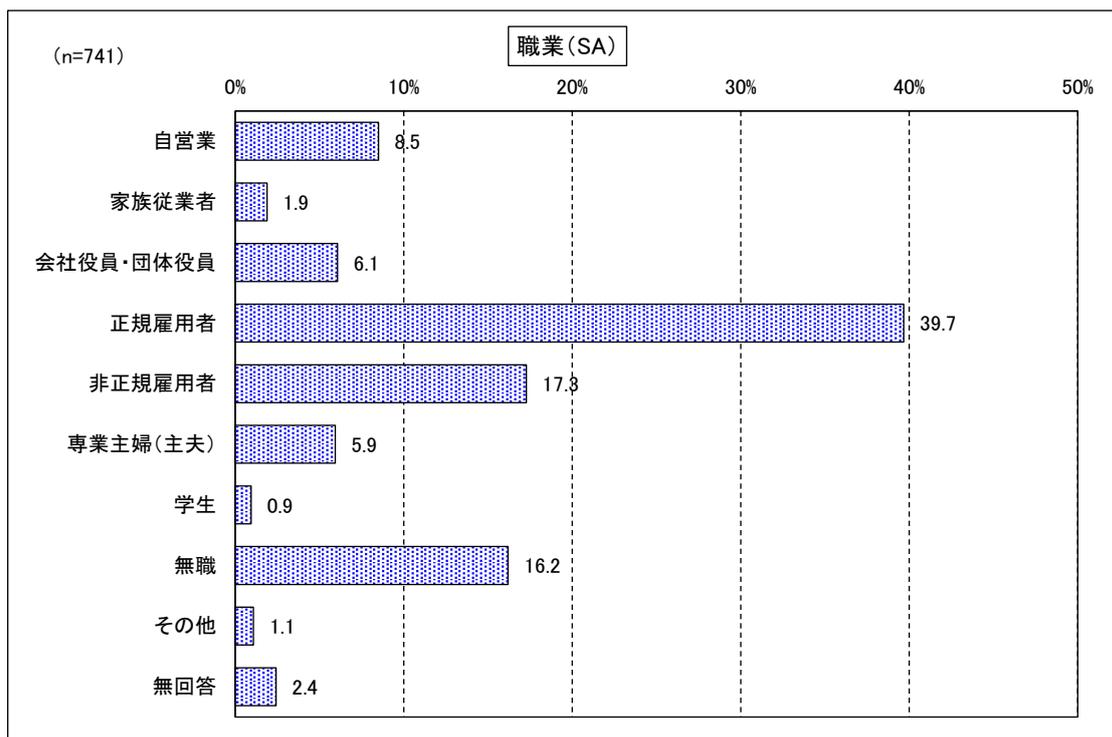


### (3)職業

〔全体〕

回答者の職業は、「自営業」が8.5%（63人）、「家族従業者」が1.9%（14人）、「会社役員・団体役員」が6.1%（45人）、「正規雇用者」が39.7%（294人）、「非正規雇用者」が17.3%（128人）、「専業主婦（主夫）」が5.9%（44人）、「学生」が0.9%（7人）、「無職」が16.2%（120人）、「その他」が1.1%（8人）でした。

なお、「無回答」は2.4%（18人）となっています。

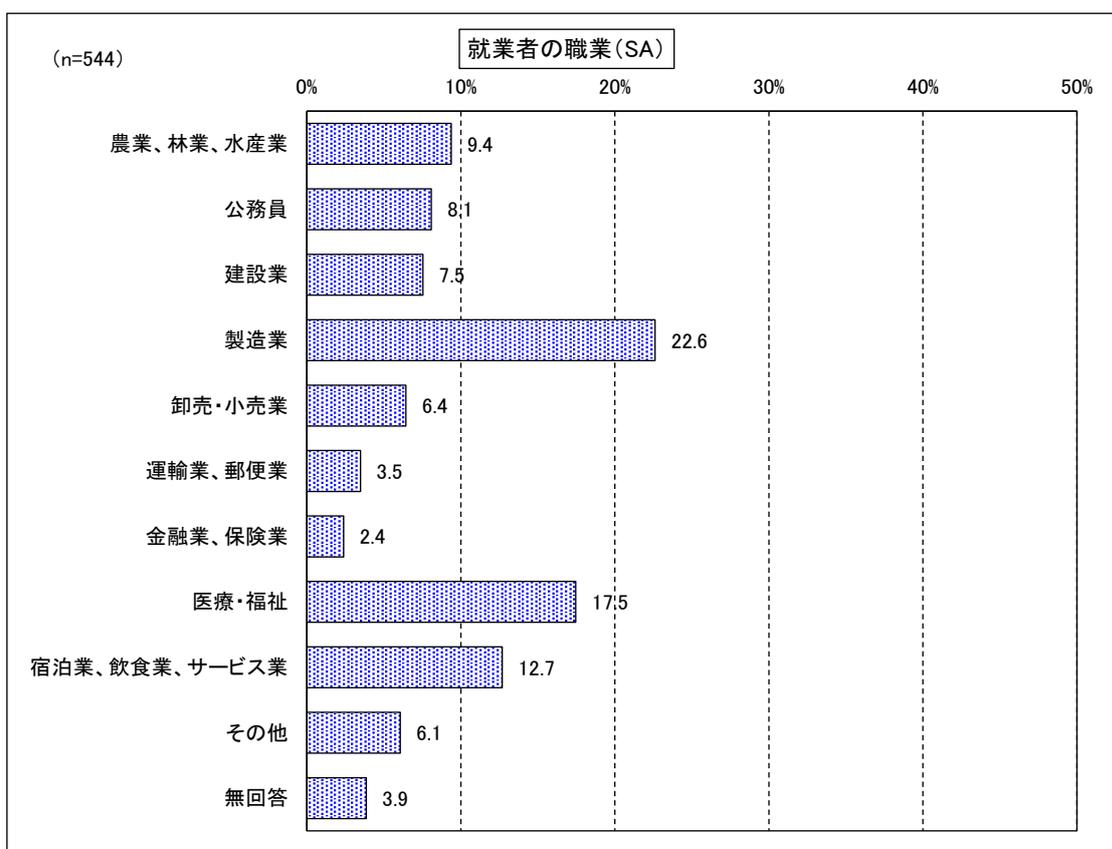


### (3)-②業種

〔全体〕

前問（職業）で、「自営業」、「家族従業者」、「会社役員・団体役員」、「正規雇用者」及び「非正規雇用者」と回答した回答者は544人となっていますが、その業種内訳をお聞きしたところ、「農業、林業、水産業」が9.4%（51人）、公務員が8.1%（44人）、建設業が7.5%（41人）、製造業が22.6%（123人）、卸売・小売業が6.4%（35人）、運輸業、郵便業が3.5%（19人）、金融業、保険業が2.4%（13人）、医療・福祉が17.5%（95人）、宿泊業、飲食業、サービス業が12.7%（69人）、その他が6.1%（33人）でした。

なお、「無回答」は3.9%（21人）となっています。

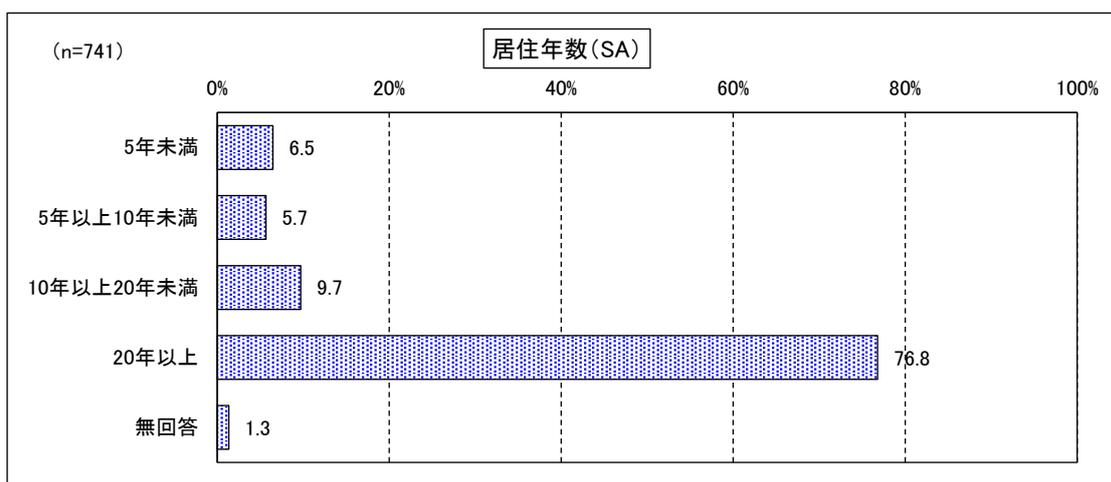


#### (4)居住年数

〔全体〕

回答者の居住年数は、「5年未満」が6.5%（48人）、「5年以上10年未満」が5.7%（42人）、「10年以上20年未満」が9.7%（72人）、「20年以上」が76.8%（569人）でした。

なお、「無回答」は1.3%（10人）となっています。

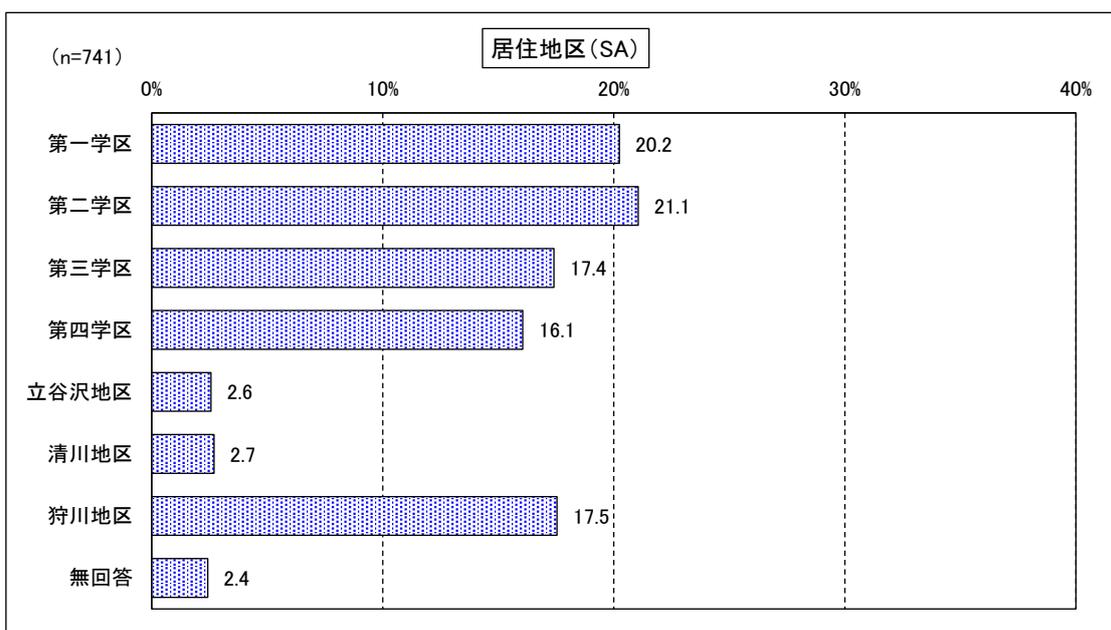


#### (5)居住地区

〔全体〕

回答者の居住地区は、「第一学区」が20.2%（150人）、「第二学区」が21.1%（156人）、「第三学区」が17.4%（129人）、「第四学区」が16.1%（119人）、「立谷沢地区」が2.6%（19人）、「清川地区」が2.7%（20人）、「狩川地区」が17.5%でした。

なお、「無回答」は2.4%（18人）となっています。



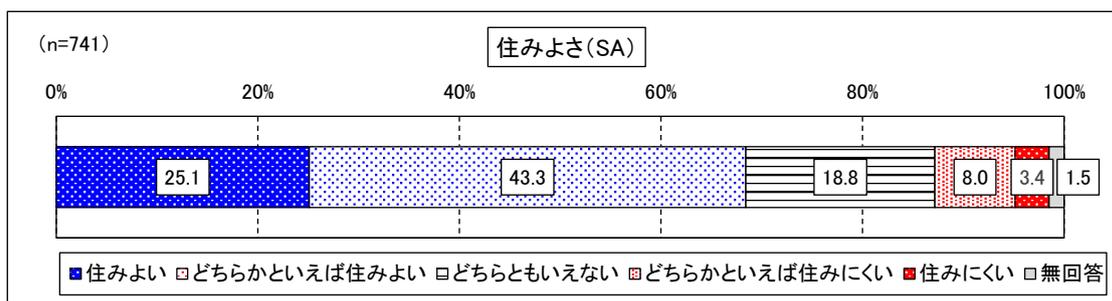
## 2 庄内町の住みよさや魅力について

【問2】あなたにとって、庄内町は住みよいまちですか。(1つに○印)

〔全体〕

庄内町の住みよさについて、「住みよい」が25.1%、「どちらかといえば住みよい」が43.3%となっており、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた“住みよい”は68.4%となっており、約7割となっています。

一方、「どちらかといえば住みにくい」が8.0%、「住みにくい」が3.4%となっており、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた“住みにくい”は11.4%となっています。



〔属性別〕

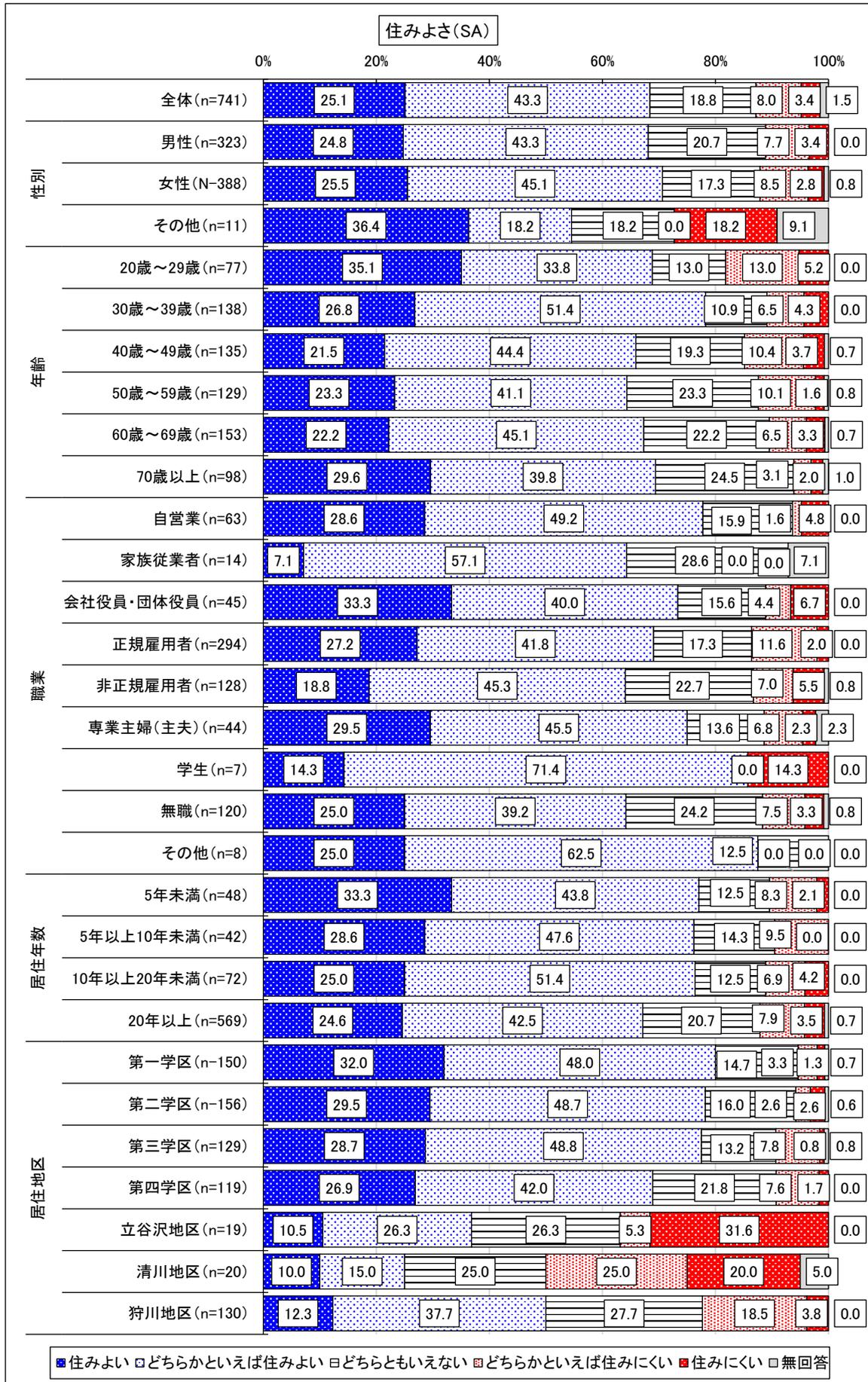
性別では、男女間に大きな違いはない結果となっています。

年齢別では、「20歳～29歳」及び「70歳以上」の「住みよい」への回答割合が、他の年代に比べ高くなっています。

職業別では、「家族従業者」、「非正規雇用者」及び「学生」の「住みよい」への回答割合が、他の年代に比べ低くなっています。(※ただし、「家族従業者」、「非正規雇用者」及び「学生」の回答者数は少ないため、留意する必要があります。)

居住年数別では、「5年未満」の「住みよい」への回答割合が、他の居住年数者に比べ高くなっています。

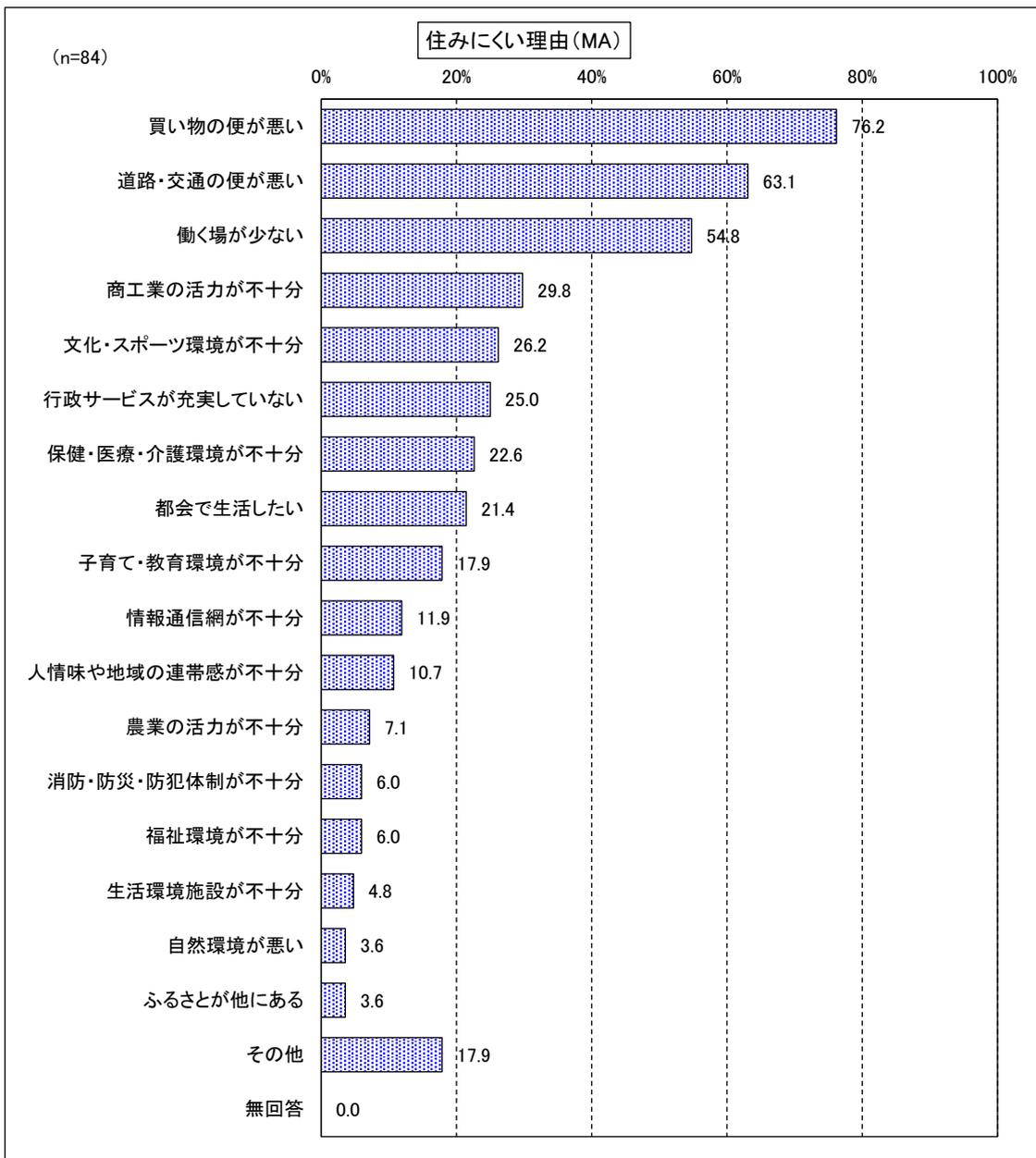
居住地区別では、「第一学区」、「第二学区」、「第三学区」及び「第四学区」に比べ、「立谷沢地区」、「清川地区」及び「狩川地区」の「住みよい」への回答割合が、他の年代に比べ低くなっています。



【問2】-2 【問2】で、「4」または「5」に○をつけた方にうかがいます。主な理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○印)

〔全体〕

前問（問2）で“住みにくい”と回答した方に、住みにくい理由をお聞きしたところ、「買い物の方が悪い」への回答割合が最も高く76.2%となっており、次いで、「道路・交通の便が悪い」が63.1%、「働く場が少ない」が54.8%、「商工業の活力が不十分」が29.8%、「文化・スポーツ環境が不十分」が26.2%、「行政サービスが充実していない」が25.0%と続いています。



〔属性別〕

①性別

性別では、男女ともに「買い物の便が悪い」への回答割合が最も高くなっていますが、次いで、「男性」では「道路・交通の便が悪い」及び「働く場が少ない」が、「女性」では「働く場が少ない」への回答割合が続いています。

なお、「その他」は、回答者数が少ないため参考値としています。

	自然環境が悪い	十分生活環境施設が不十分	道路・交通の便が悪い	情報通信網が不十分	消防・防災・防犯体制が不十分	保健・医療・介護環境が不十分	福祉環境が不十分	子育て・教育環境が不十分
全体 (n=84)	3.6	4.8	63.1	11.9	6.0	22.6	6.0	17.9
男性 (n=36)	5.6	2.8	58.3	19.4	5.6	16.7	8.3	27.8
女性 (n=44)	2.3	4.5	68.2	4.5	6.8	25.0	4.5	9.1
その他 (n=2)	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0

	文化・スポーツ環境が不十分	十分農業の活力が不十分	商工業の活力が不十分	買い物の便が悪い	働く場が少ない	人情味や地域の連帯感が不十分	行政サービスが充実していない	ふるさとが他に
全体 (n=84)	26.2	7.1	29.8	76.2	54.8	10.7	25.0	3.6
男性 (n=36)	30.6	13.9	44.4	72.2	58.3	13.9	38.9	2.8
女性 (n=44)	20.5	0.0	18.2	81.8	50.0	4.5	11.4	4.5
その他 (n=2)	50.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0

	都会で生活したい	その他	無回答
全体 (n=84)	21.4	17.9	0.0
男性 (n=36)	22.2	19.4	0.0
女性 (n=44)	22.7	15.9	0.0
その他 (n=2)	0.0	50.0	0.0

②年齢

年齢別では、各世代ともに「買い物の便が悪い」への回答割合が最も高くなっています。次いで、「20歳～39歳」及び「60歳～69歳」では「道路・交通の便が悪い」が、「40歳～59歳」では「働く場が少ない」への回答割合が続いています。

なお、「70歳以上」は、回答者数が少ないため参考値としています。

	自然環境が悪い	十分生活環境施設が不	悪い道路・交通の便が	分情報通信網が不十	体制が不十分	消防・防災・防犯	環境が不十分	保健・医療・介護	福祉環境が不十分	子育て・教育環境が不十分
全体 (n=84)	3.6	4.8	63.1	11.9	6.0	22.6	6.0	17.9		
20歳～29歳 (n=14)	0.0	0.0	64.3	7.1	0.0	21.4	0.0	21.4		
30歳～39歳 (n=15)	6.7	6.7	66.7	13.3	13.3	33.3	13.3	46.7		
40歳～49歳 (n=19)	5.3	5.3	57.9	26.3	0.0	26.3	10.5	21.1		
50歳～59歳 (n=15)	0.0	6.7	53.3	6.7	13.3	6.7	6.7	0.0		
60歳～69歳 (n=15)	6.7	0.0	66.7	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0		
70歳以上 (n=5)	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0		

	文化・スポーツ環境が不十分	十分農業の活力が不	不十分商工業の活力が	い買い物の便が悪い	働く場が少ない	連帯感が不十分	人情味や地域の充実していない	行政サービスが	あるふるさとが他に
全体 (n=84)	26.2	7.1	29.8	76.2	54.8	10.7	25.0	3.6	
20歳～29歳 (n=14)	14.3	14.3	28.6	71.4	50.0	7.1	28.6	14.3	
30歳～39歳 (n=15)	53.3	6.7	20.0	73.3	53.3	20.0	26.7	0.0	
40歳～49歳 (n=19)	26.3	0.0	42.1	78.9	73.7	0.0	21.1	0.0	
50歳～59歳 (n=15)	26.7	6.7	40.0	73.3	66.7	20.0	20.0	0.0	
60歳～69歳 (n=15)	0.0	0.0	20.0	73.3	13.3	0.0	20.0	6.7	
70歳以上 (n=5)	60.0	40.0	20.0	100.0	80.0	20.0	40.0	0.0	

	都会で生活したい	その他	無回答
全体 (n=84)	21.4	17.9	0.0
20歳～29歳 (n=14)	42.9	21.4	0.0
30歳～39歳 (n=15)	26.7	33.3	0.0
40歳～49歳 (n=19)	31.6	5.3	0.0
50歳～59歳 (n=15)	0.0	6.7	0.0
60歳～69歳 (n=15)	13.3	20.0	0.0
70歳以上 (n=5)	0.0	20.0	0.0

### ③居住地区

居住地区別では、「清川地区」及び「狩川地区」で「買い物の便が悪い」への回答割合が最も高くなっており、次いで、「道路・交通の便が悪い」への回答割合が続いています。

なお、その他の地区は、回答者数が少ないため参考値としています。

	自然環境が悪い	十分生活環境施設が不十分	悪い道路・交通の便が	分情報通信網が不十分	消防・防災・防犯体制が不十分	環境が不十分	保健・医療・介護	福祉環境が不十分	子育て・教育環境が不十分
全体 (n=84)	3.6	4.8	63.1	11.9	6.0	22.6	6.0	17.9	
第一学区 (n=7)	0.0	0.0	42.9	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	
第二学区 (n=8)	0.0	12.5	75.0	37.5	0.0	25.0	12.5	75.0	
第三学区 (n=11)	0.0	0.0	63.6	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	
第四学区 (n=11)	0.0	9.1	36.4	9.1	0.0	18.2	0.0	18.2	
立谷沢地区 (n=7)	0.0	0.0	57.1	14.3	28.6	42.9	14.3	14.3	
清川地区 (n=29)	0.0	0.0	77.8	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	
狩川地区 (n=130)	10.3	3.4	69.0	10.3	3.4	34.5	0.0	17.2	

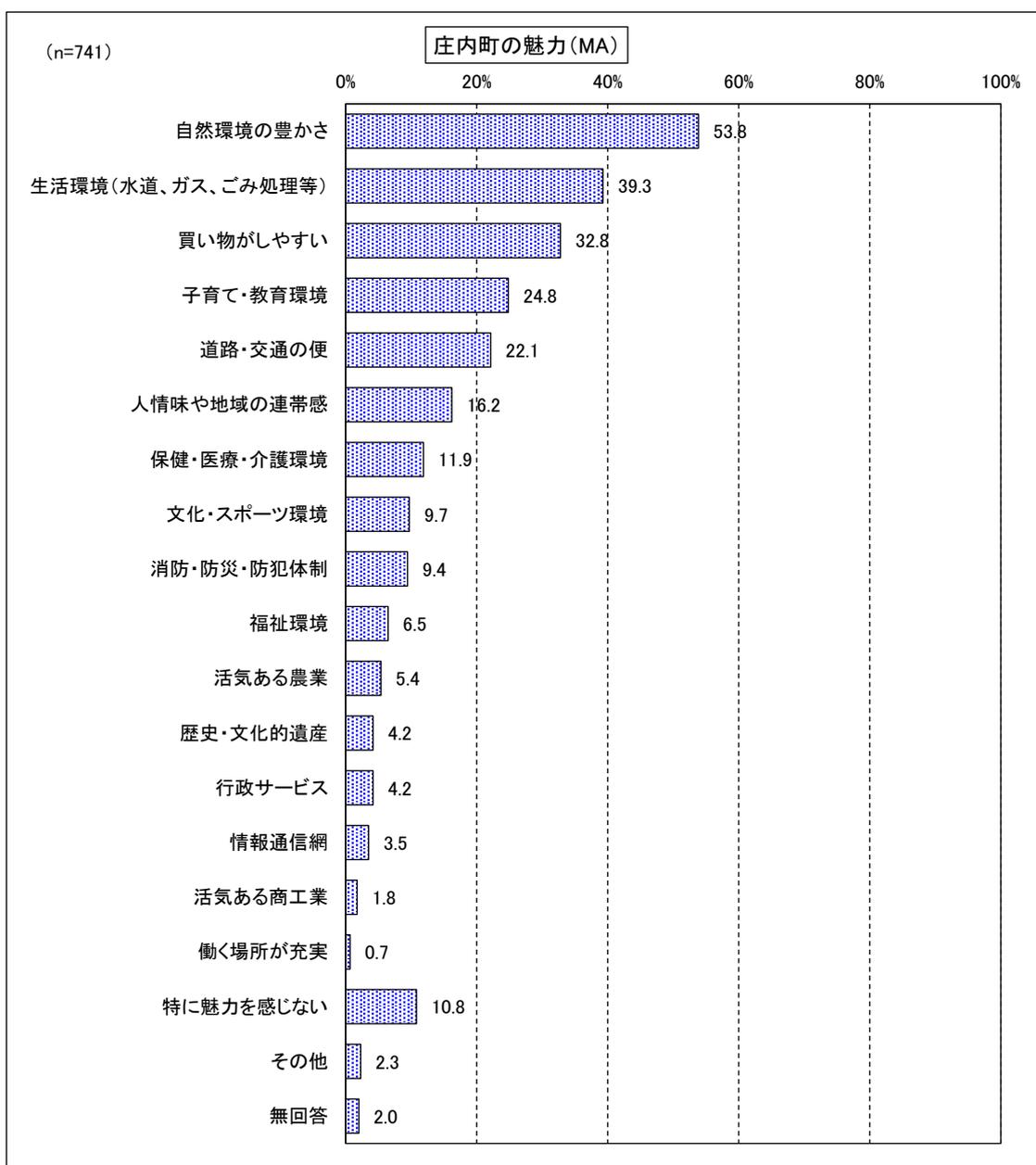
	環境が不十分	文化・スポーツ	十分農業の活力が不十分	商工業の活力が不十分	い買い物の便が悪い	働く場が少ない	人情味や地域の連帯感が不十分	充実していない	行政サービスが	あるふるさとが他に
全体 (n=84)	26.2	7.1	29.8	76.2	54.8	10.7	25.0	3.6		
第一学区 (n=7)	0.0	0.0	42.9	85.7	42.9	42.9	42.9	0.0		
第二学区 (n=8)	62.5	12.5	37.5	50.0	87.5	12.5	25.0	12.5		
第三学区 (n=11)	9.1	9.1	36.4	54.5	18.2	0.0	0.0	9.1		
第四学区 (n=11)	18.2	0.0	18.2	54.5	45.5	18.2	27.3	0.0		
立谷沢地区 (n=7)	28.6	28.6	42.9	100.0	57.1	14.3	42.9	0.0		
清川地区 (n=29)	11.1	0.0	22.2	100.0	55.6	0.0	11.1	0.0		
狩川地区 (n=130)	37.9	6.9	27.6	86.2	65.5	3.4	27.6	3.4		

	したい	都会で生活	その他	無回答
全体 (n=84)	21.4	17.9	0.0	
第一学区 (n=7)	0.0	0.0	0.0	
第二学区 (n=8)	12.5	25.0	0.0	
第三学区 (n=11)	9.1	27.3	0.0	
第四学区 (n=11)	9.1	9.1	0.0	
立谷沢地区 (n=7)	57.1	14.3	0.0	
清川地区 (n=29)	33.3	11.1	0.0	
狩川地区 (n=130)	27.6	20.7	0.0	

【問3】あなたは、庄内町のどのようなところが魅力だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

〔全体〕

庄内町の魅力では、「自然環境の豊かさ」への回答割合が最も高く 53.8%となっており、次いで、「生活環境（水道、ガス、ごみ処理等）」が 39.3%、「買い物がしやすい」が 32.8%、「子育て・教育環境」が 24.8%、「道路・交通の便」が 22.1%と続いています。



〔属性別〕

①性別

性別では、男女ともに「自然環境の豊かさ」への回答割合が最も高くなっていますが、次いで、「生活環境（水道、ガス、ごみ処理等）」への回答割合が続いています。

なお、「その他」は、回答者数が少ないため参考値としています。

	自然環境の豊かさ	生活環境（水道、ガス、ごみ処理等）	道路・交通の便	情報通信網	消防・防災・防犯体制	保健・医療・介護環境	福祉環境	子育て・教育環境
全体（n=741）	53.8	39.3	22.1	3.5	9.4	11.9	6.5	24.8
男性（n=323）	56.3	42.4	24.5	4.6	10.5	11.8	5.6	21.7
女性（n=388）	54.4	38.1	19.8	2.6	8.8	12.6	7.0	28.4
その他（n=11）	9.1	18.2	27.3	9.1	9.1	9.1	9.1	18.2

	文化・スポーツ環境	歴史・文化的遺産	活気ある農業	活気ある商工業	買い物しやすい	働く場所が充実	人情味や地域の連帯感	行政サービス
全体（n=741）	9.7	4.2	5.4	1.8	32.8	0.7	16.2	4.2
男性（n=323）	10.5	5.9	5.6	1.5	29.1	0.0	18.6	6.2
女性（n=388）	9.0	2.8	5.4	1.5	36.1	1.0	14.9	2.6
その他（n=11）	9.1	9.1	9.1	9.1	45.5	0.0	9.1	9.1

	特に魅力を感じない	その他	無回答
全体（n=741）	10.8	2.3	2.0
男性（n=323）	12.7	2.8	0.6
女性（n=388）	8.8	1.8	1.5
その他（n=11）	27.3	9.1	0.0

②年齢

年齢別では、各世代ともに「自然環境の豊かさ」への回答割合が最も高くなっています。

次いで、「40歳～70歳以上」では「生活環境（水道、ガス、ごみ処理等）」への回答割合が続いていますが、「20歳～29歳」では「子育て・教育環境」が、「30歳～39歳」では「買い物がしやすい」が続いています。

	自然環境の豊かさ	生活環境（水道、ガス、ごみ処理等）	道路・交通の便	情報通信網	消防・防災・防犯体制	保健・医療・介護環境	福祉環境	子育て・教育環境
全体 (n=741)	53.8	39.3	22.1	3.5	9.4	11.9	6.5	24.8
20歳～29歳 (n=77)	64.9	23.4	16.9	3.9	3.9	6.5	5.2	33.8
30歳～39歳 (n=138)	44.9	29.7	23.9	1.4	2.9	3.6	0.7	37.0
40歳～49歳 (n=135)	53.3	37.0	25.2	4.4	5.9	8.1	1.5	31.9
50歳～59歳 (n=129)	51.9	34.1	22.5	2.3	11.6	11.6	4.7	18.6
60歳～69歳 (n=153)	56.2	49.0	16.3	3.9	13.7	20.3	15.0	17.0
70歳以上 (n=98)	61.2	63.3	30.6	5.1	18.4	21.4	12.2	14.3

	文化・スポーツ環境	歴史・文化的遺産	活気ある農業	活気ある商工業	買い物がしやすい	働く場所が充実	人情味や地域の連帯感	行政サービス
全体 (n=741)	9.7	4.2	5.4	1.8	32.8	0.7	16.2	4.2
20歳～29歳 (n=77)	10.4	5.2	6.5	0.0	20.8	0.0	10.4	1.3
30歳～39歳 (n=138)	3.6	3.6	6.5	2.2	38.4	1.4	15.9	2.9
40歳～49歳 (n=135)	11.1	3.0	6.7	2.2	29.6	0.0	11.9	2.2
50歳～59歳 (n=129)	11.6	3.9	3.1	2.3	31.0	0.0	14.7	4.7
60歳～69歳 (n=153)	7.2	3.3	3.3	0.0	33.3	0.7	20.9	6.5
70歳以上 (n=98)	18.4	8.2	8.2	4.1	42.9	2.0	22.4	7.1

	特に魅力を感じない	その他	無回答
全体 (n=741)	10.8	2.3	2.0
20歳～29歳 (n=77)	6.5	2.6	0.0
30歳～39歳 (n=138)	8.0	2.2	1.4
40歳～49歳 (n=135)	11.1	2.2	0.0
50歳～59歳 (n=129)	13.2	3.9	2.3
60歳～69歳 (n=153)	15.0	1.3	1.3
70歳以上 (n=98)	9.2	0.0	1.0

### ③居住地区

居住地区別では、「第二学区」及び「第三学区」を除き「自然環境の豊かさ」への回答割合が最も高くなっています。また、「第二学区」及び「第三学区」では「買い物がしやすい」への回答割合が最も高くなっています。

	自然環境の豊かさ	生活環境（水道、ガス、ごみ処理等）	道路・交通の便	情報通信網	消防・防災・防犯体制	保健・医療・介護環境	福祉環境	子育て・教育環境
全体 (n=84)	53.8	39.3	22.1	3.5	9.4	11.9	6.5	24.8
第一学区 (n=150)	51.3	38.7	33.3	4.7	10.7	12.0	2.7	25.3
第二学区 (n=156)	39.7	53.2	31.4	5.1	7.1	14.1	7.7	25.0
第三学区 (n=129)	41.9	38.0	27.1	3.1	14.0	14.0	7.0	33.3
第四学区 (n=119)	58.8	42.0	13.4	4.2	9.2	15.1	6.7	29.4
立谷沢地区 (n=19)	78.9	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	15.8
清川地区 (n=20)	75.0	20.0	10.0	0.0	5.0	10.0	5.0	15.0
狩川地区 (n=130)	77.7	31.5	5.4	1.5	10.0	6.9	10.0	17.7

	文化・スポーツ環境	歴史・文化的遺産	活気ある農業	活気ある商工業	買い物がしやすい	働く場所が充実	人情味や地域の連帯感	行政サービス
全体 (n=84)	9.7	4.2	5.4	1.8	32.8	0.7	16.2	4.2
第一学区 (n=150)	12.0	2.0	3.3	1.3	45.3	0.7	15.3	1.3
第二学区 (n=156)	10.9	2.6	4.5	0.6	53.8	0.0	14.7	1.9
第三学区 (n=129)	16.3	2.3	6.2	0.8	45.7	0.0	10.1	5.4
第四学区 (n=119)	9.2	2.5	5.9	3.4	18.5	2.5	22.7	5.9
立谷沢地区 (n=19)	5.3	5.3	0.0	10.5	0.0	5.3	5.3	0.0
清川地区 (n=20)	5.0	20.0	5.0	0.0	5.0	0.0	35.0	0.0
狩川地区 (n=130)	2.3	10.0	8.5	0.8	3.8	0.0	19.2	7.7

	特に魅力を感じない	その他	無回答
全体 (n=84)	10.8	2.3	2.0
第一学区 (n=150)	8.7	2.7	0.7
第二学区 (n=156)	7.7	1.3	0.0
第三学区 (n=129)	10.9	3.1	0.8
第四学区 (n=119)	10.9	2.5	2.5
立谷沢地区 (n=19)	15.8	0.0	0.0
清川地区 (n=20)	25.0	0.0	0.0
狩川地区 (n=130)	14.6	2.3	2.3

### 3 庄内町の生活環境や人間関係について

【問4】生活環境に関する次の項目について、あなたのお考えにあてはまるものを選択してください。(各項目それぞれ1つに○印)

〔全体〕

庄内町の生活環境についてお聞きしたところ、各項目の回答割合はp.12の図のとおりでした。

また、「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた“あてはまる”と、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた“あてはまらない”、及び“あてはまる”と“あてはまらない”の差異は以下のとおりです。

単位：％

	“あてはまる” (A)	“あてはまらない” (B)	(A) - (B)
(1) 医療機関が充実している	35.0	34.1	0.8
(2) 介護・福祉施設のサービスが受けやすい	31.6	13.9	17.7
(3) 日常の買い物にまったく不便がない	52.0	27.1	24.8
(4) 飲食を楽しめる場所が充実している	34.4	36.2	-1.8
(5) 自宅には、心地のいい居場所がある	73.5	6.5	67.1
(6) 自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	63.0	18.6	44.4
(7) 適度な費用で住居を確保できる	40.6	12.6	28.1
(8) 公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	13.0	62.2	-49.3
(9) 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	6.5	70.6	-64.1
(10) 子育て支援・補助が手厚い	36.7	11.7	25.0
(11) 子どもたちがいきいきと暮らせる	41.2	11.9	29.3
(12) 保育環境（保育園、幼稚園、学童保育等）が整っている	56.1	9.7	46.4
(13) 教育環境（小中高校）が整っている	50.5	13.0	37.5
(14) 通学しやすい場所に学校がある	47.5	20.0	27.5
(15) 行政は地域のことを真剣に考えていると思う	32.8	19.0	13.8
(16) 公共施設は使い勝手がよく便利である	36.7	18.4	18.4
(17) 行政サービスのデジタル化が進んでいる	43.2	11.3	31.8
(18) 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	28.9	18.5	10.4
(19) 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	51.3	11.5	39.8
(20) まちなか、公園、川沿い等で心地よく歩ける場所がある	42.9	22.7	20.2
(21) 自慢できる町並みがある	24.7	30.9	-6.2
(22) 自慢できる自然景観がある	53.0	15.5	37.5
(23) 身近に自然を感じる事ができる	73.8	7.6	66.3
(24) 空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	78.5	4.7	73.8
(25) リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組が盛んである	32.7	10.4	22.3
(26) 地域の防災対策がしっかりしている	39.9	11.2	28.7
(27) 防犯対策が整っており、治安がよい	49.9	7.8	42.1
(28) 歩道や信号が整備されていて安心である	44.8	17.7	27.1

“あてはまる”と“あてはまらない”の差異（割合）のうち、“あてはまる”の割合が大きい項目は、

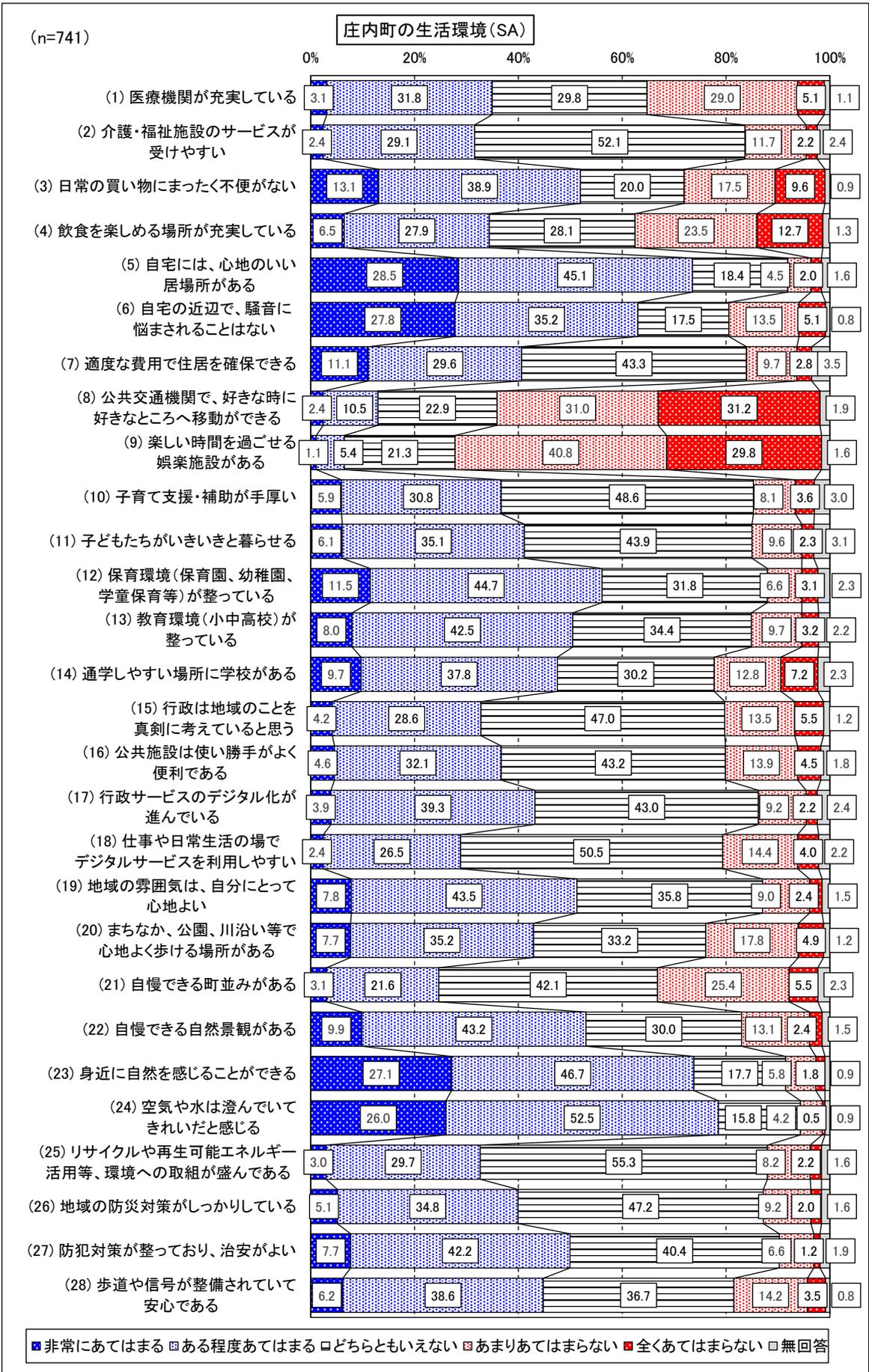
(24) 空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	… 73.8%
(5) 自宅には、心地のいい居場所がある	… 67.1%
(23) 身近に自然を感じることができる	… 66.3%

となっています。

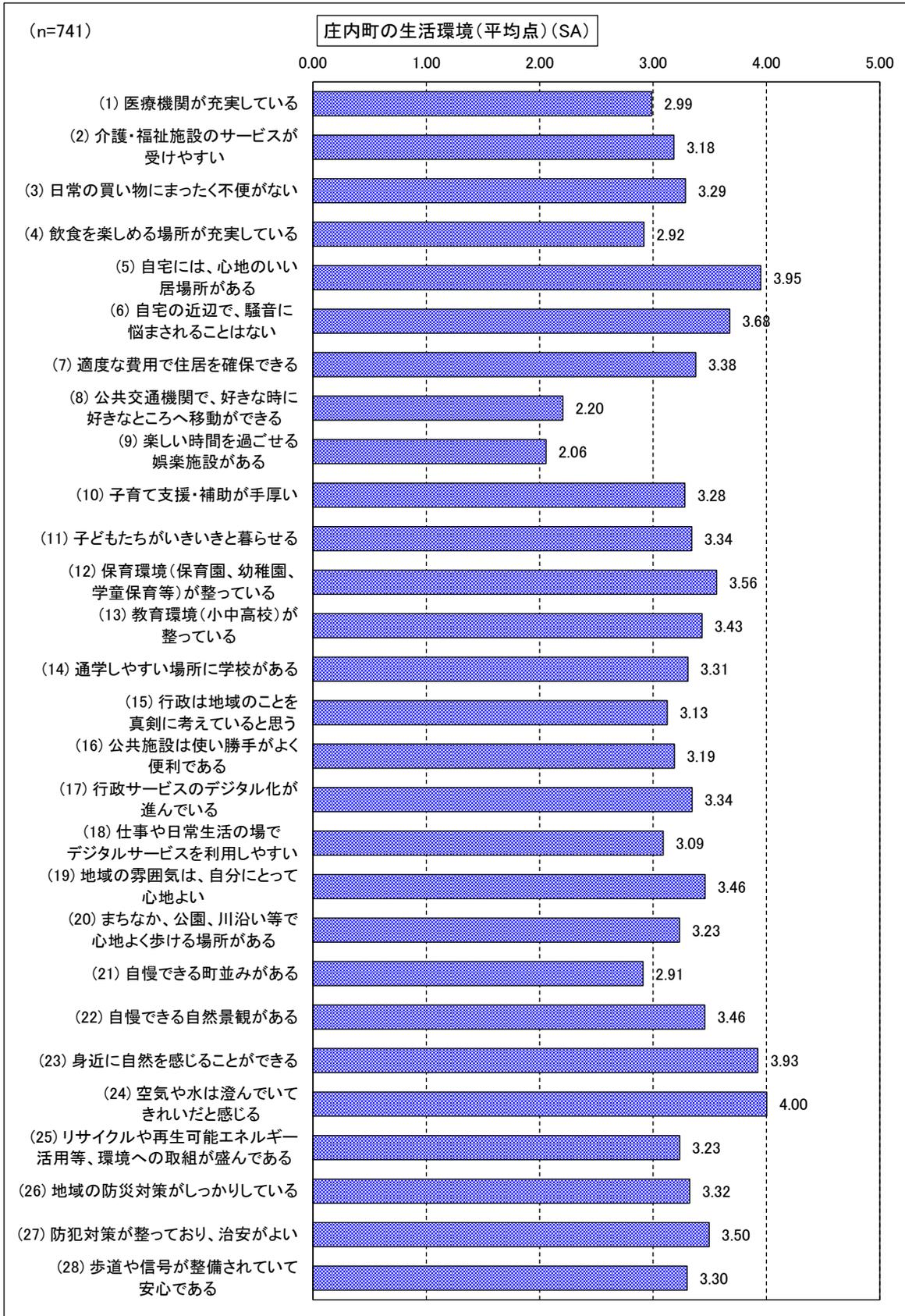
一方、“あてはまる”と“あてはまらない”の差異（割合）のうち、“あてはまらない”の割合が大きい項目は、

(9) 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	… -64.1%
(8) 公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	… -49.3%

となっています。



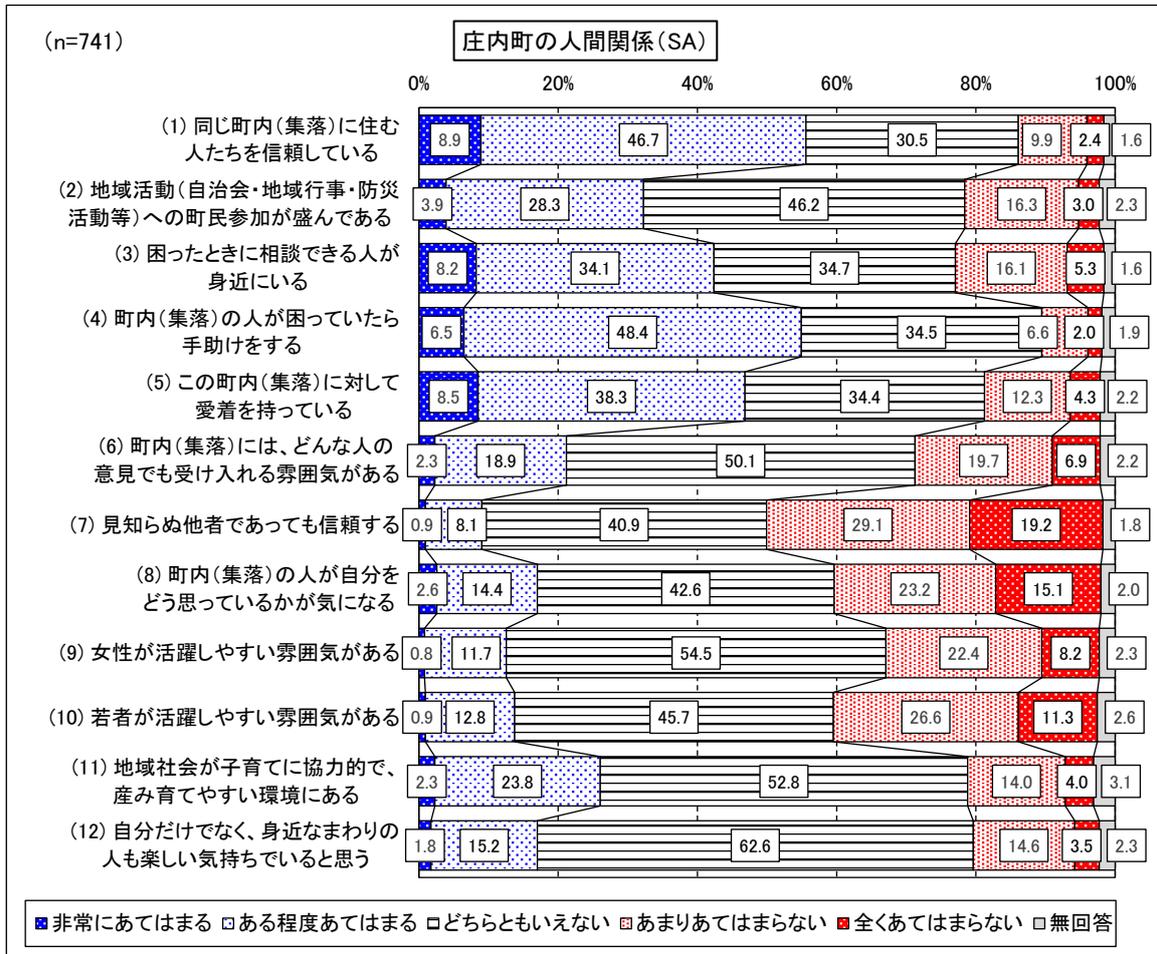
「非常にあてはまる」を5点、「ある程度あてはまる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「全くあてはまらない」を1点とし（加重をかけ）、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値（加重平均値）となります。なお、平均値は3.27となっています。



【問5】庄内町の人間関係に関する次の項目について、あなたのお考えにあてはまるものを選択してください。(各項目それぞれ1つに○印)

〔全体〕

庄内町の人間関係についてお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下の図のとおりでした。



また、「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた“あてはまる”と、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた“あてはまらない”、及び“あてはまる”と“あてはまらない”の差異は以下のとおりです。

単位：％

	“あてはまる” (A)	“あてはまらない” (B)	(A) - (B)
(1) 同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	55.6	12.3	43.3
(2) 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	32.3	19.3	13.0
(3) 困ったときに相談できる人が身近にいる	42.4	21.3	21.1
(4) 町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	54.9	8.6	46.3
(5) この町内（集落）に対して愛着を持っている	46.8	16.6	30.2
(6) 町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	21.2	26.6	-5.4
(7) 見知らぬ他者であっても信頼する	9.0	48.3	-39.3
(8) 町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	17.0	38.3	-21.3
(9) 女性が活躍しやすい雰囲気がある	12.6	30.6	-18.1
(10) 若者が活躍しやすい雰囲気がある	13.8	37.9	-24.2
(11) 地域社会が子育てに協力的で、産み育てやすい環境にある	26.0	18.1	8.0
(12) 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う	17.0	18.1	-1.1

“あてはまる”と“あてはまらない”の差異（割合）のうち、“あてはまる”の割合が大きい項目は、

(4) 町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	… 46.3%
(1) 同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	… 43.3%
(5) この町内（集落）に対して愛着を持っている	… 30.2%

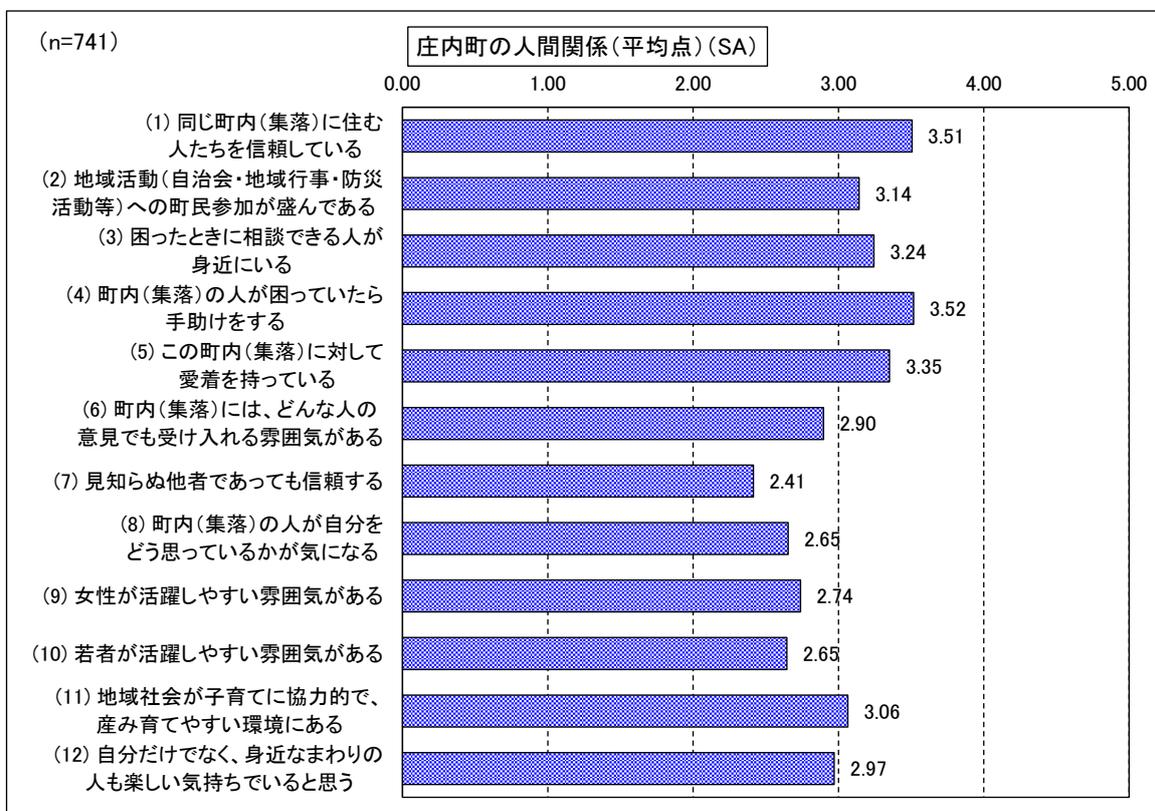
となっています。

一方、“あてはまる”と“あてはまらない”の差異（割合）のうち、“あてはまらない”の割合が大きい項目は、

(7) 見知らぬ他者であっても信頼する	… -39.3%
(10) 若者が活躍しやすい雰囲気がある	… -24.2%
(8) 町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	… -21.3%

となっています。

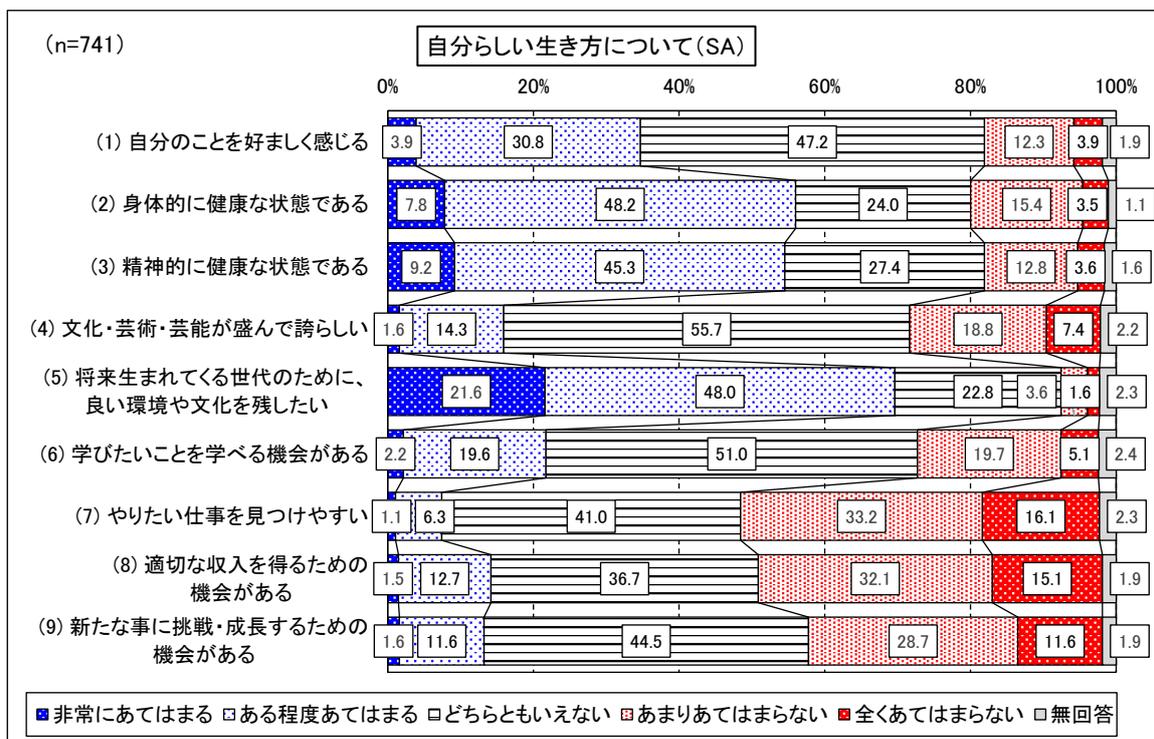
「非常にあてはまる」を5点、「ある程度あてはまる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「全くあてはまらない」を1点とし（加重をかけ）、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値（加重平均値）となります。なお、平均値は3.01となっています。



【問6】自分らしい生き方に関する次の項目について、あなたのお考えにあてはまるものを選択してください。(各項目それぞれ1つに○印)

〔全体〕

自分らしい生き方についてお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下の図のとおりでした。



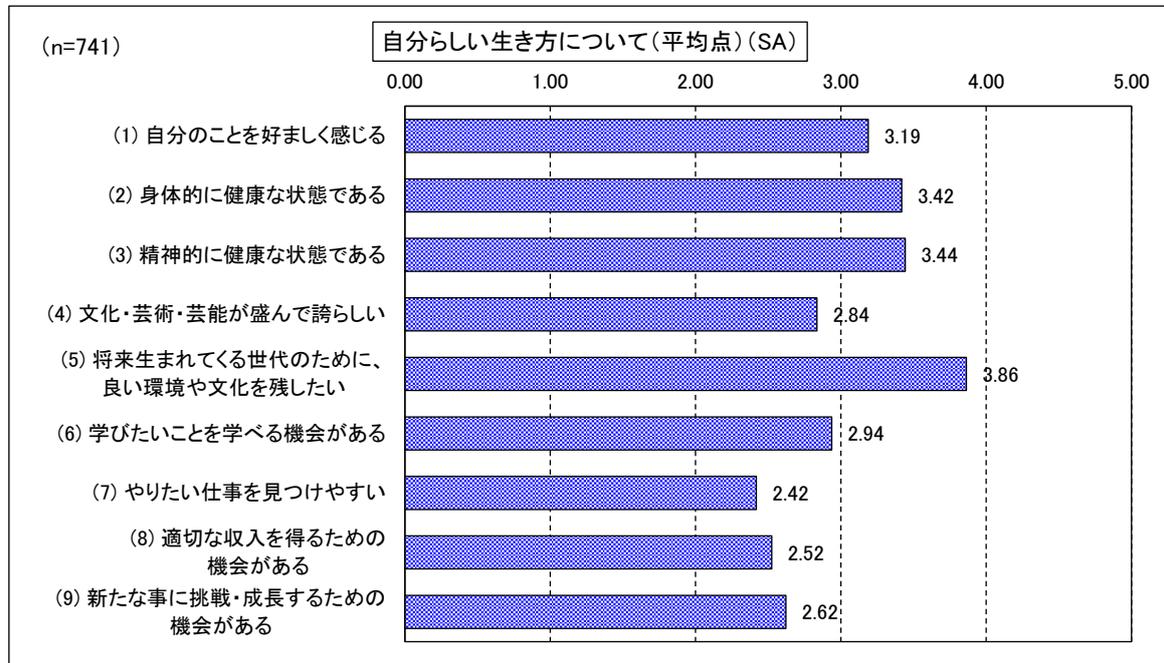
また、「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた“あてはまる”と、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた“あてはまらない”、及び“あてはまる”と“あてはまらない”の差異は以下のとおりです。

単位：%

	“あてはまる” (A)	“あてはまらない” (B)	(A) - (B)
(1) 自分のことを好ましく感じる	34.7	16.2	18.5
(2) 身体的に健康な状態である	56.0	18.9	37.1
(3) 精神的に健康な状態である	54.5	16.5	38.1
(4) 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	15.9	26.2	-10.3
(5) 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	69.6	5.3	64.4
(6) 学びたいことを学べる機会がある	21.7	24.8	-3.1
(7) やりたい仕事を見つけやすい	7.4	49.3	-41.8
(8) 適切な収入を得るための機会がある	14.2	47.2	-33.1
(9) 新たな事に挑戦・成長するための機会がある	13.2	40.4	-27.1

「(5) 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」が高い一方で、「(7) やりたい仕事を見つけやすい」が低い結果となっています。

「非常にあてはまる」を5点、「ある程度あてはまる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「全くあてはまらない」を1点とし（加重をかけ）、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値（加重平均値）となります。

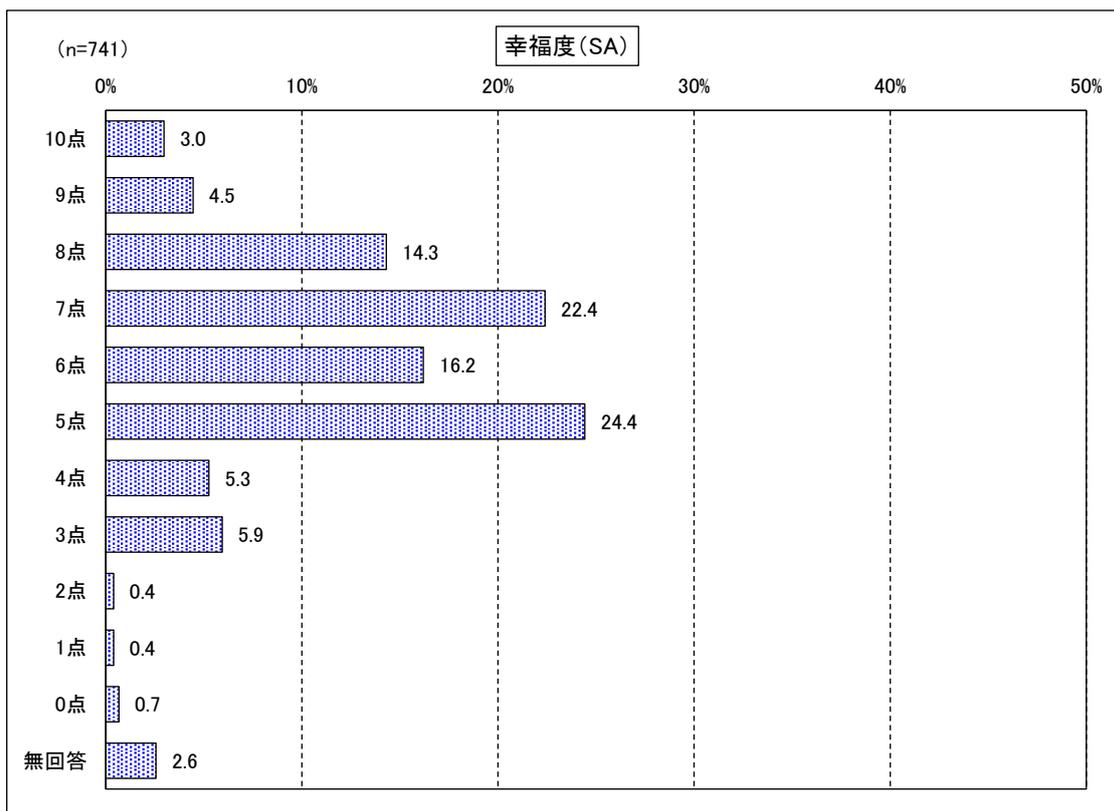


【問7】あなたは、庄内町での暮らしをどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点になると思いますか。(1つに○印)

〔全体〕

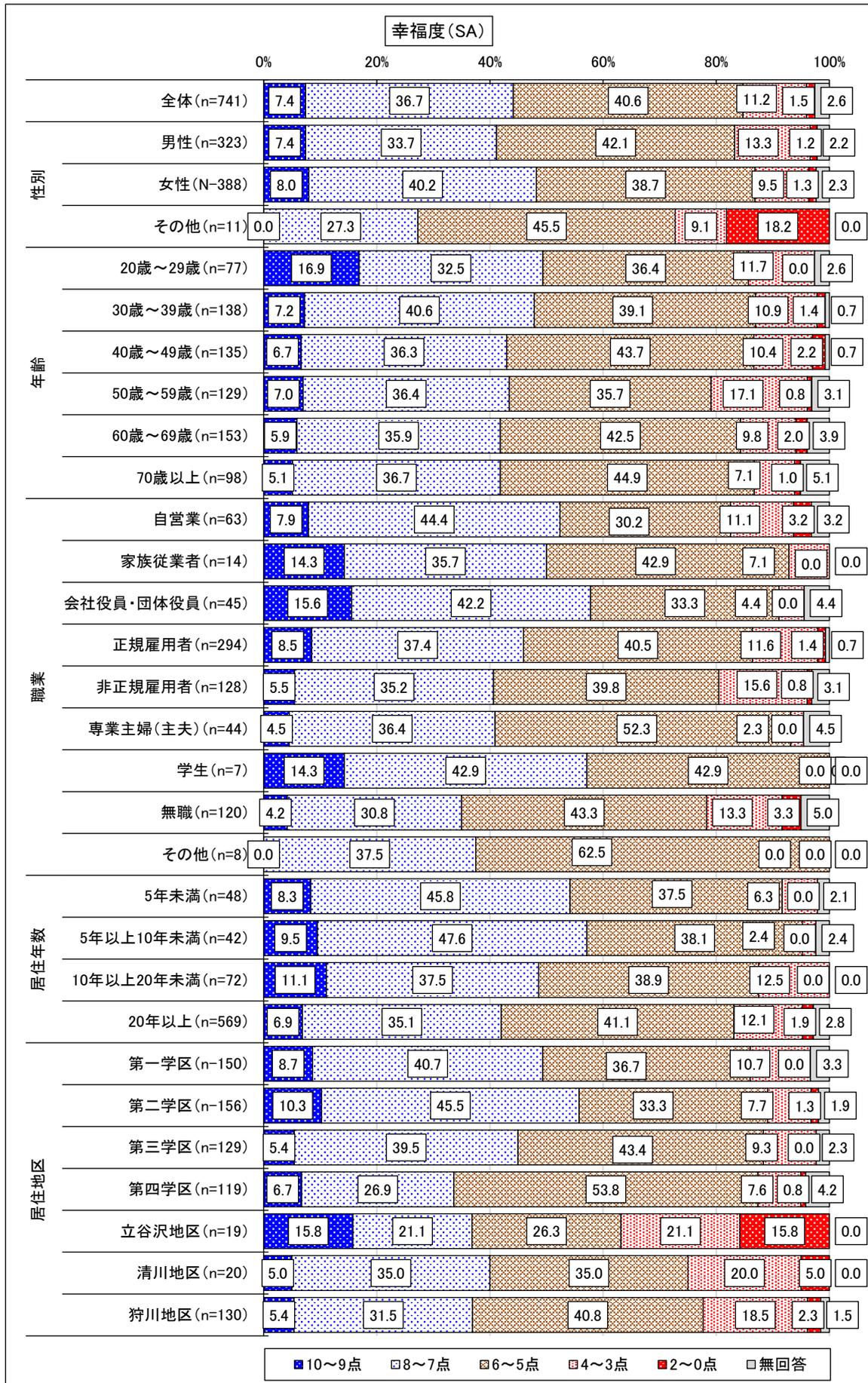
庄内町での暮らしの中で、回答者自身の「幸福度」について10点満点で評価していただいたところ、5点への回答割合が最も高く24.4%となっており、次いで、7点が22.4%、6点が16.2%、8点が14.3%と続いています。

なお、全体の平均点は6.16点となっています。



〔属性別〕

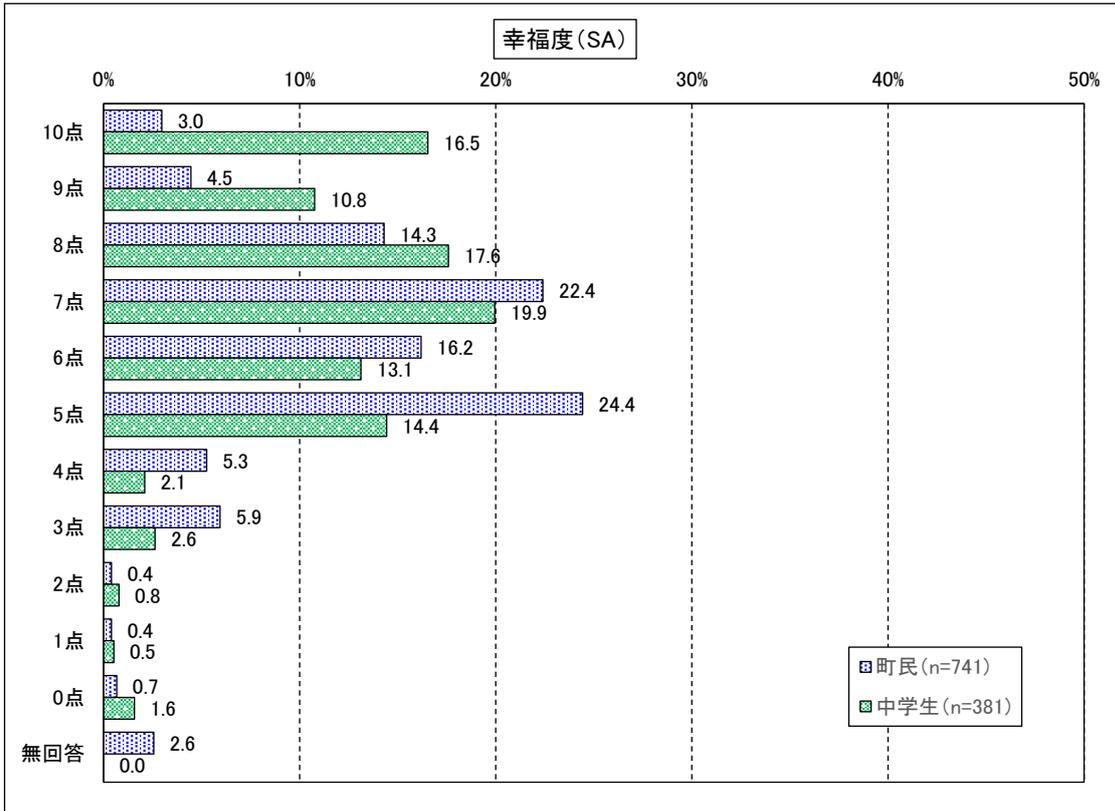
庄内町での暮らしの中で、回答者自身の「幸福度」について、点数のカテゴリーを「高い：10～9点」、「やや高い：8～7点」、「普通：6～5点」、「やや低い：4～3点」、「低い：2～0点」、に統合し、属性別にみると次頁のとおりとなっています。



〔比較〕

庄内町での暮らしの中での、回答者自身の「幸福度」について、8点から10点では中学生の回答割合が高く、「町民」と「中学生」を比較すると、町民の評価よりも中学生の評価が全体的に高くなっています。

また、平均点は町民の6.16点に対し、中学生は7.12点となっています。

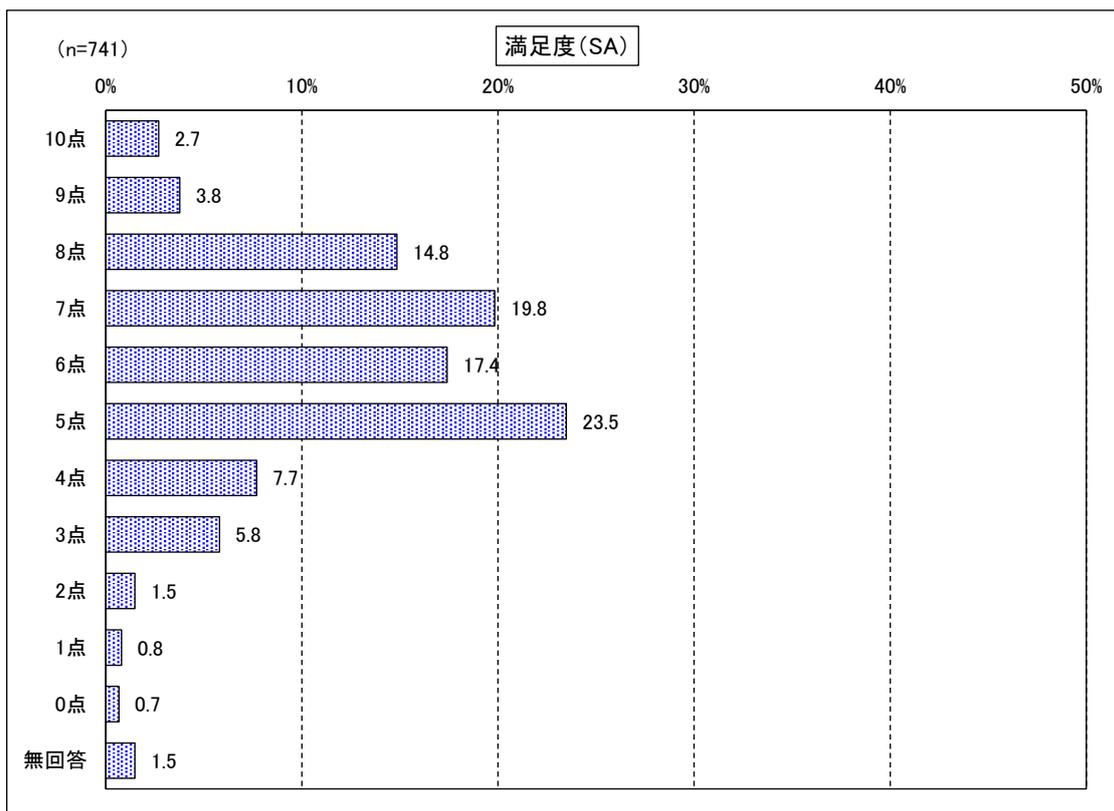


【問8】あなたは、庄内町での暮らしにどの程度「満足」していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点になると思いますか。(1つに○印)

〔全体〕

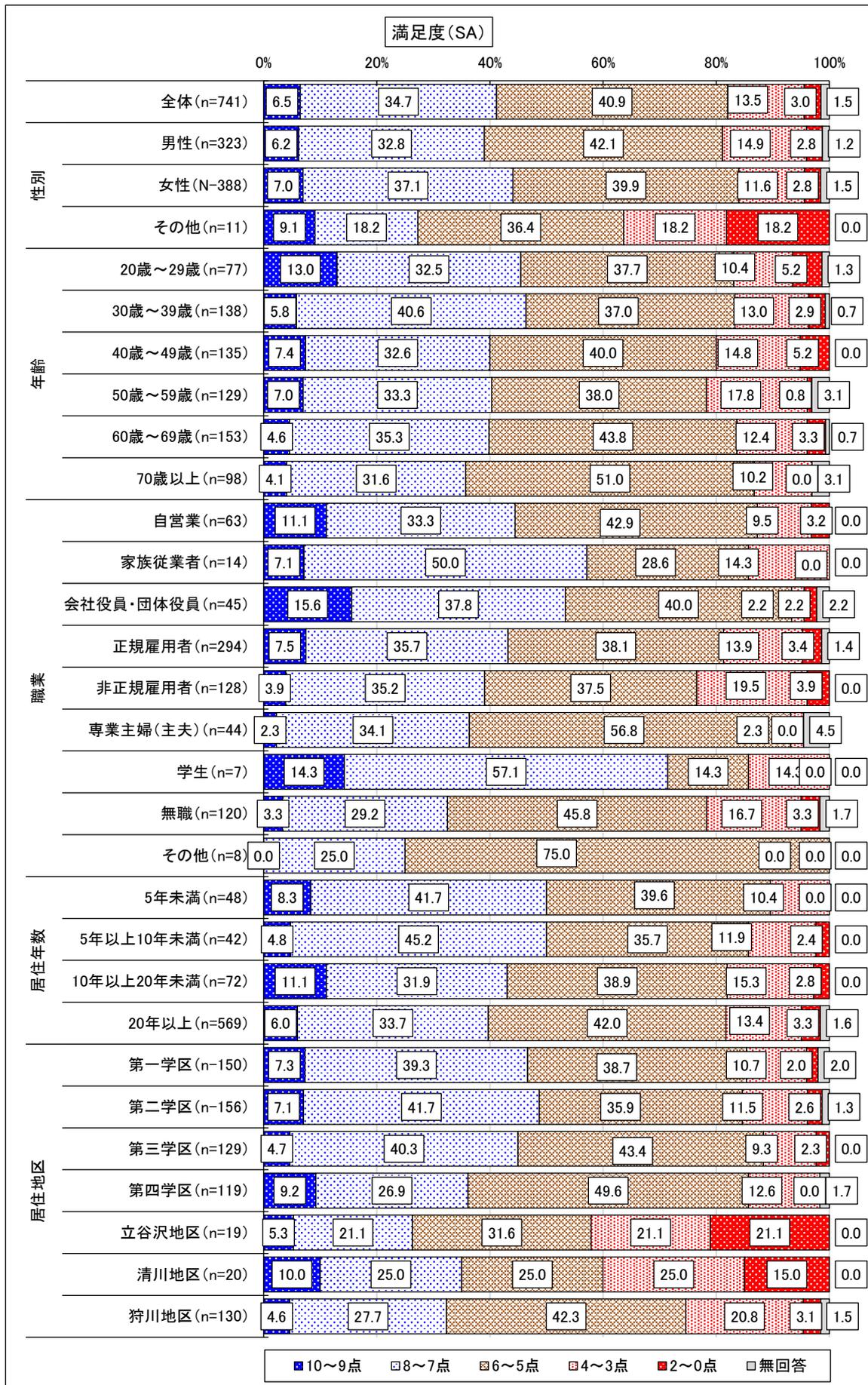
庄内町での暮らしの中で、回答者自身の「満足度」について10点満点で評価していただいたところ、5点への回答割合が最も高く23.5%となっており、次いで、7点が19.8%、6点が17.4%、8点が14.8%と続いています。

なお、全体の平均点は6.01点となっています。



〔属性別〕

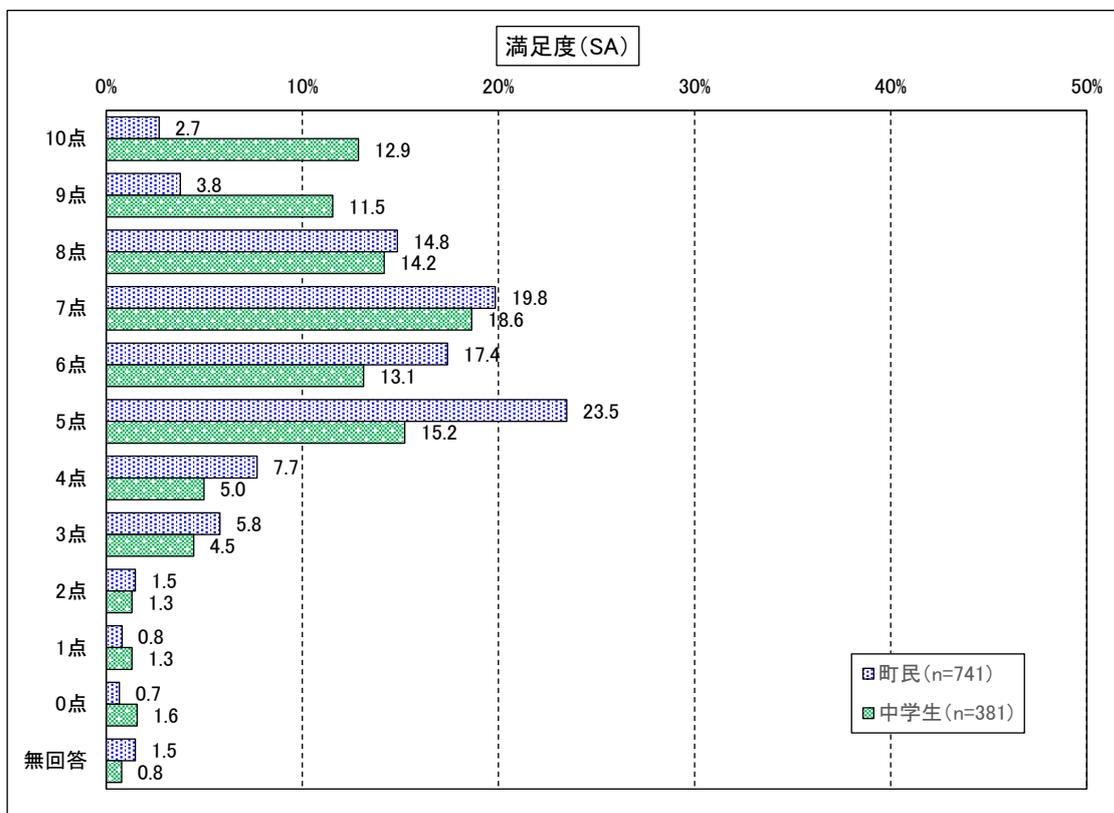
庄内町での暮らしの中で、回答者自身の「満足度」について、点数のカテゴリーを「高い：10～9点」、「やや高い：8～7点」、「普通：6～5点」、「やや低い：4～3点」、「低い：2～0点」、に統合し、属性別にみると次頁のとおりとなっています。



〔比較〕

庄内町での暮らしの中での、回答者自身の「満足度」について9点から10点では中学生の回答割合が高く、「町民」と「中学生」を比較すると、町民の評価よりも中学生の評価が全体的に高くなっています。

また、平均点は町民の6.01点に対し、中学生は6.74点となっています。

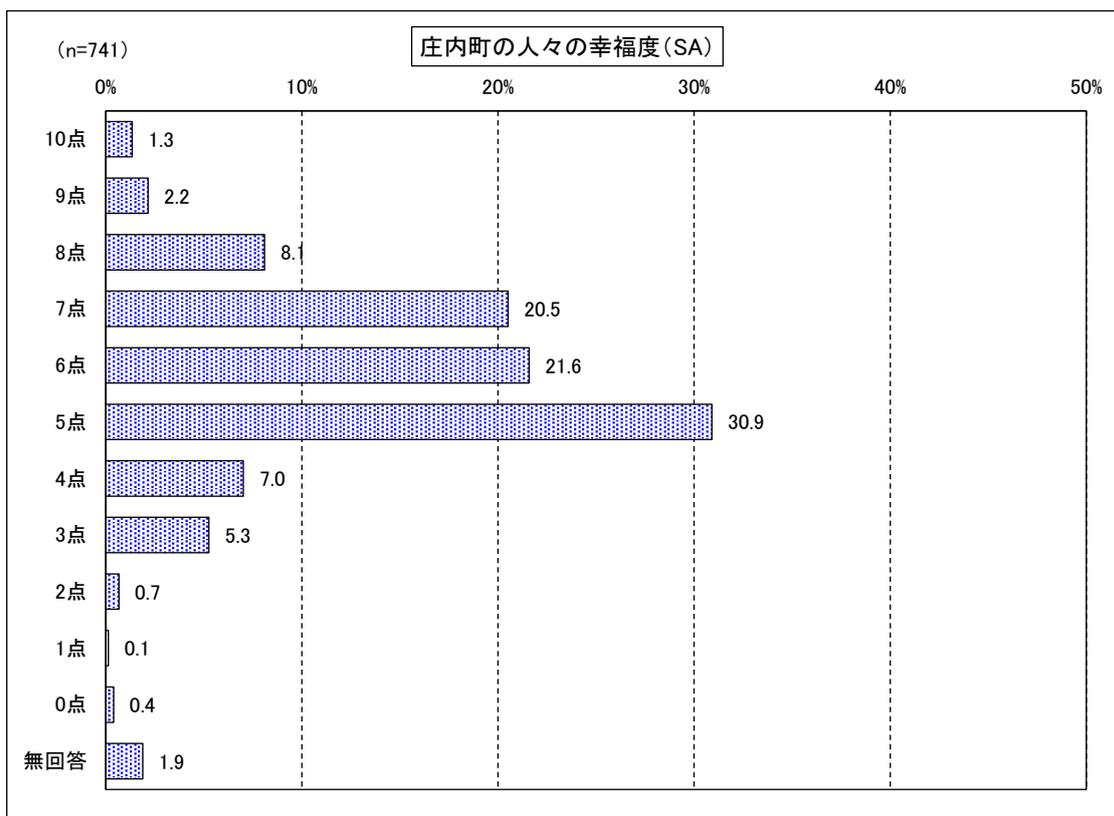


【問9】あなたは、庄内町の人々は、大体において、どれくらい「幸せ」だと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点になると思いますか。ここでは、ご自身及び同居家族は除いてお考えください。(1つに○印)

〔全体〕

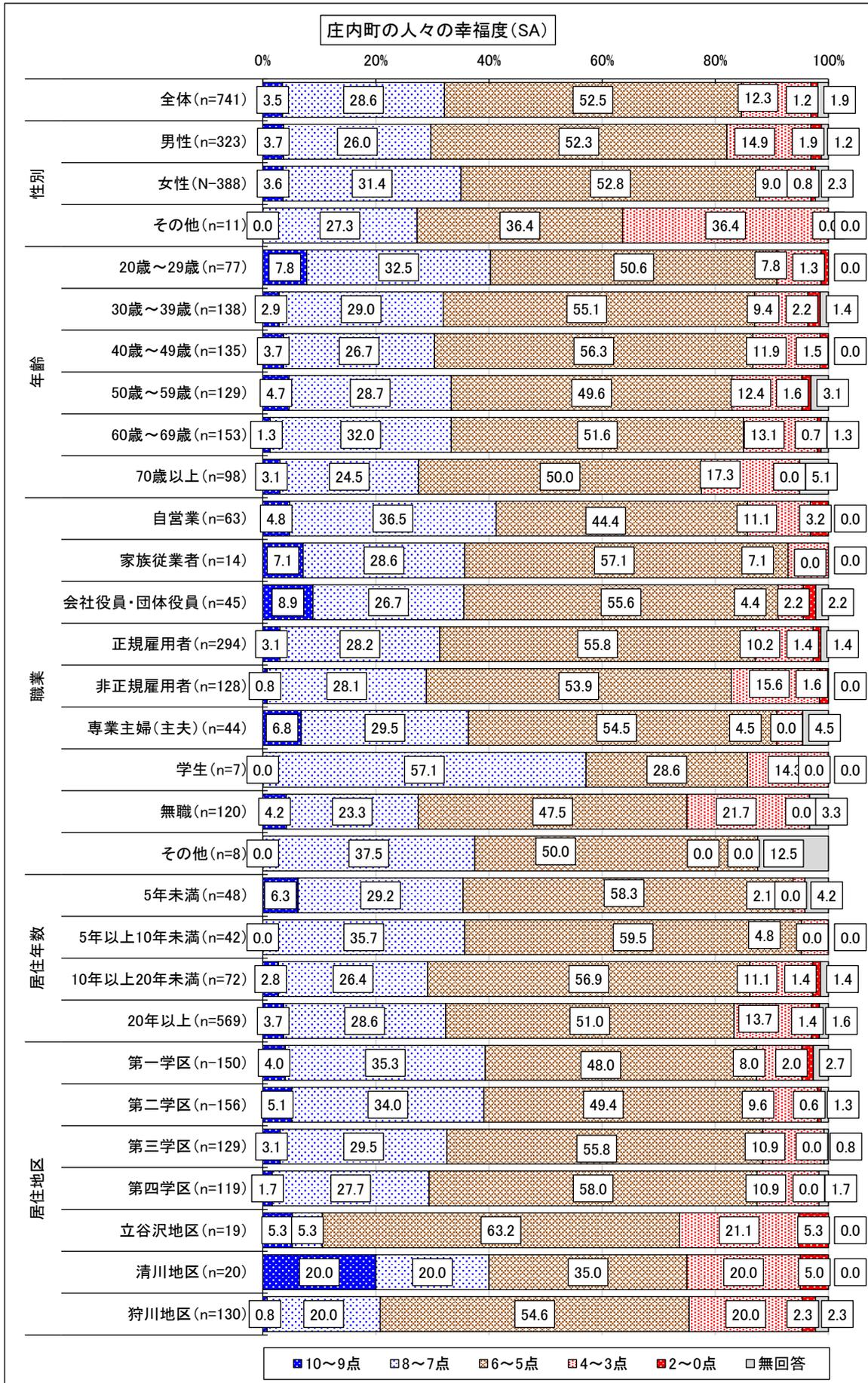
庄内町の人々の「幸福度」について10点満点で評価していただいたところ、5点への回答割合が最も高く30.9%となっており、次いで、6点が21.6%、7点が20.5%と続いています。

なお、全体の平均点は5.82点となっています。



〔属属性別〕

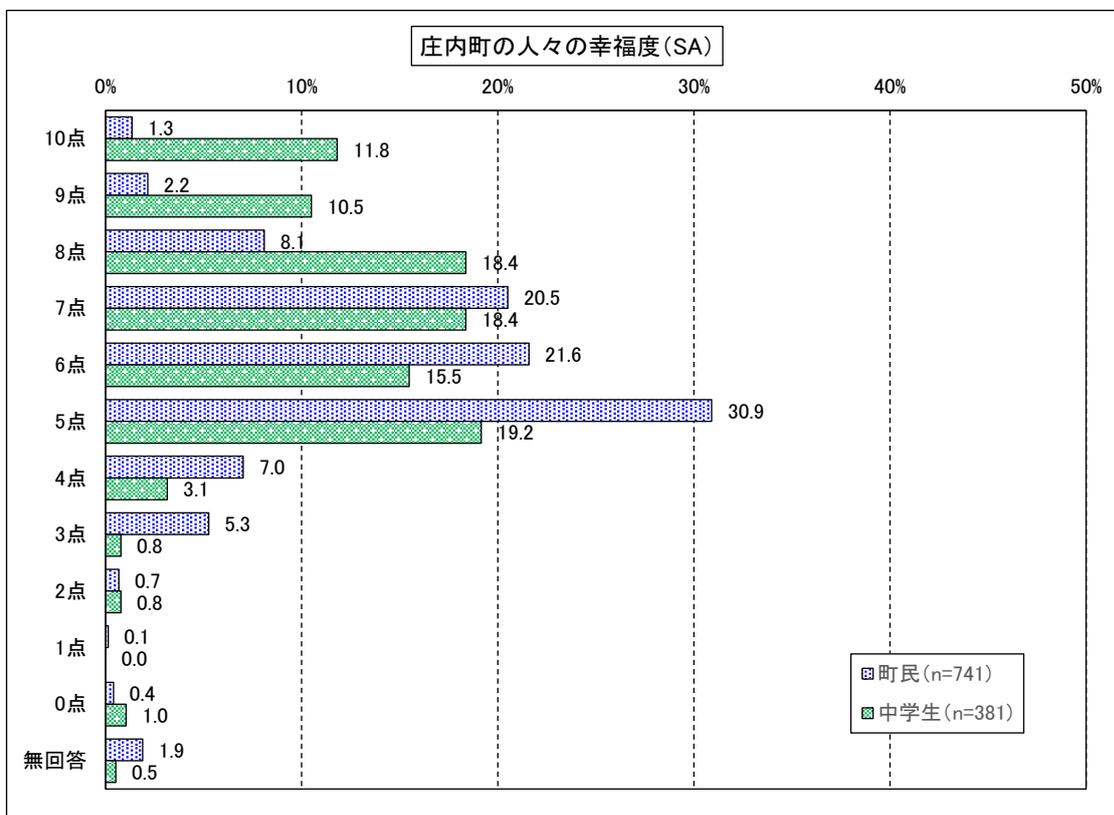
庄内町での人々の「幸福度」について、点数のカテゴリーを「高い：10～9点」、「やや高い：8～7点」、「普通：6～5点」、「やや低い：4～3点」、「低い：2～0点」、に統合し、属属性別にみると次頁のとおりとなっています。



〔比較〕

庄内町の人々の「幸福度」について、「町民」と「中学生」を比較すると、8点から10点では中学生の回答割合が高く、町民の評価よりも中学生の評価が全体的に高くなっています。

また、平均点は町民の5.82点に対し、中学生は6.97点となっています。

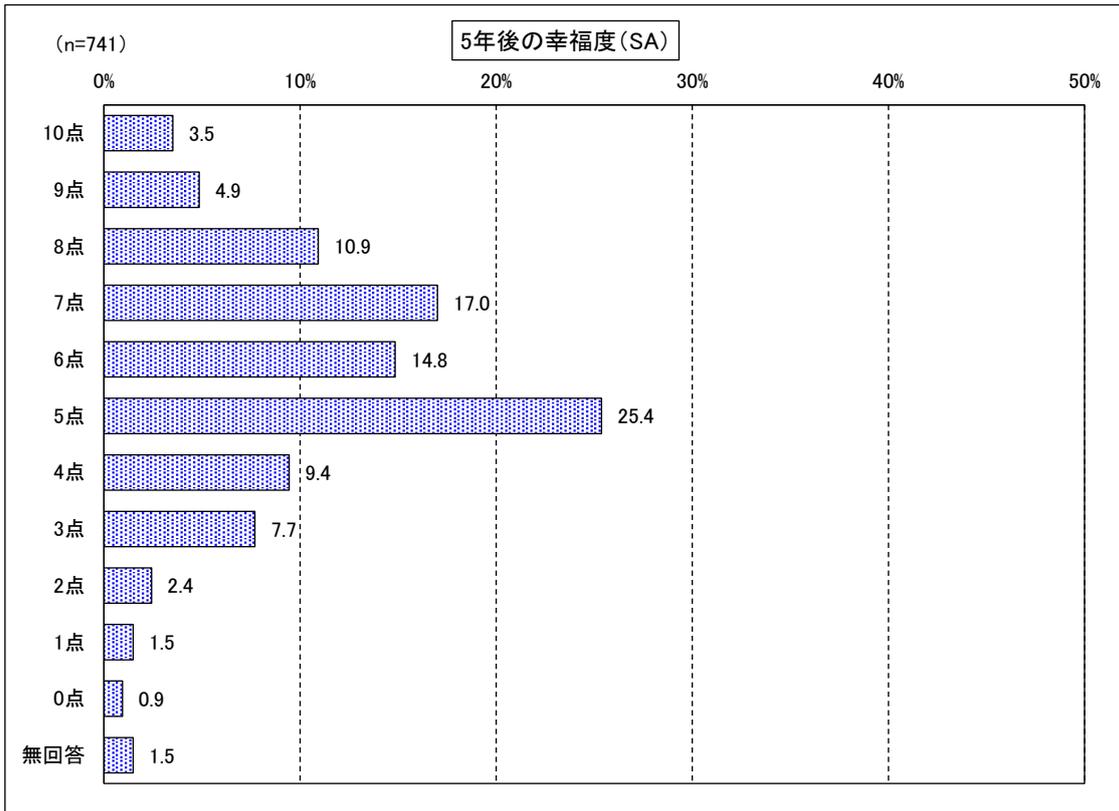


【問 10】 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点になると思いますか。(1つに○印)

〔全体〕

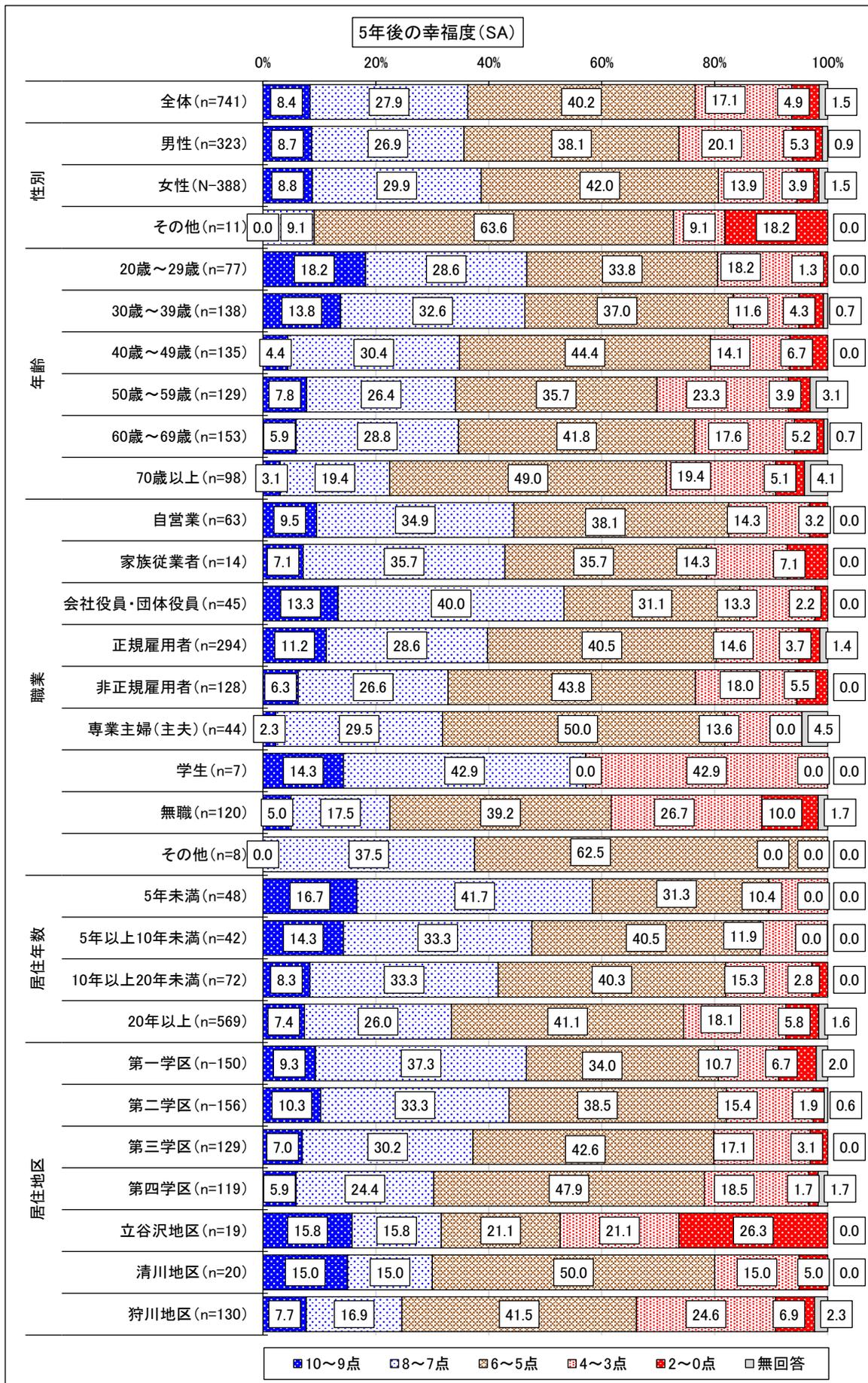
5年後の回答者自身の「幸福度」について10点満点で評価していただいたところ、5点への回答割合が最も高く25.4%となっており、次いで、7点が17.0%、6点が14.8%と続いています。

なお、全体の平均点は5.77点となっています。



〔属性別〕

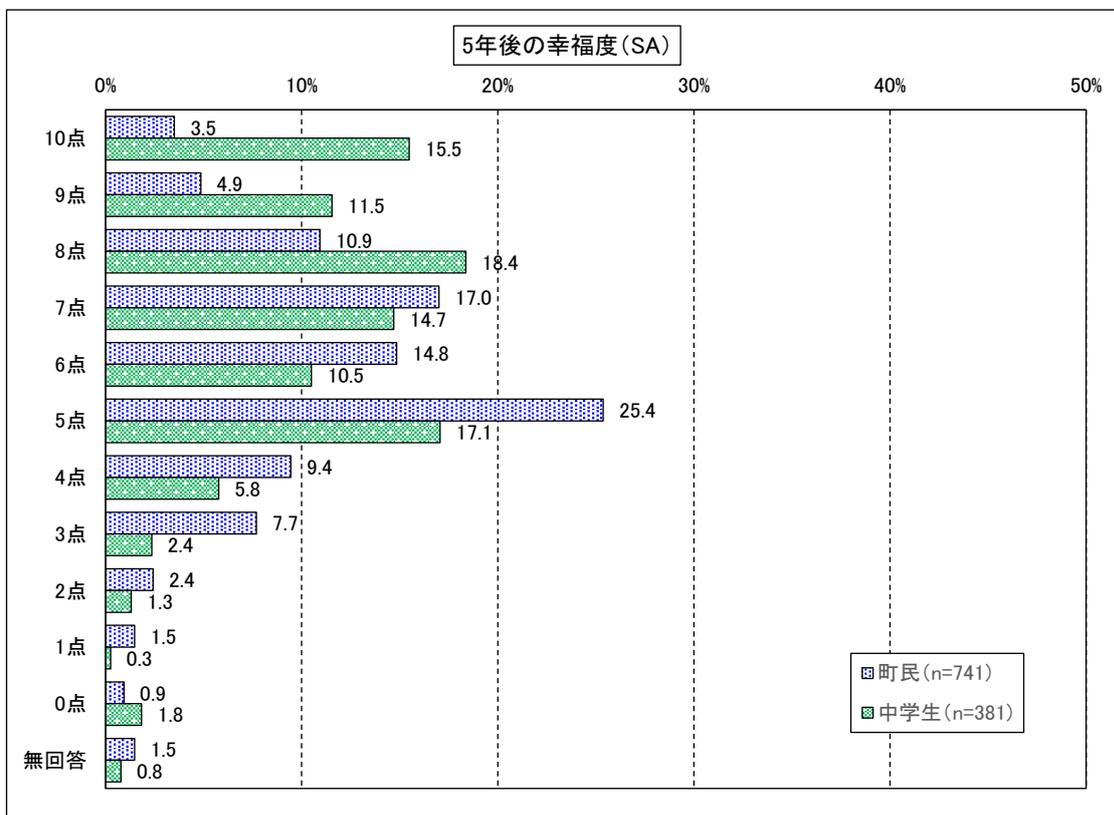
5年後の回答者自身の「幸福度」について、点数のカテゴリーを「高い：10～9点」、「やや高い：8～7点」、「普通：6～5点」、「やや低い：4～3点」、「低い：2～0点」、に統合し、属性別にみると次頁のとおりとなっています。



〔比較〕

5年後の回答者自身の「幸福度」について、「町民」と「中学生」を比較すると、8点から10点では中学生の回答割合が高く、町民の評価よりも中学生の評価が全体的に高くなっています。

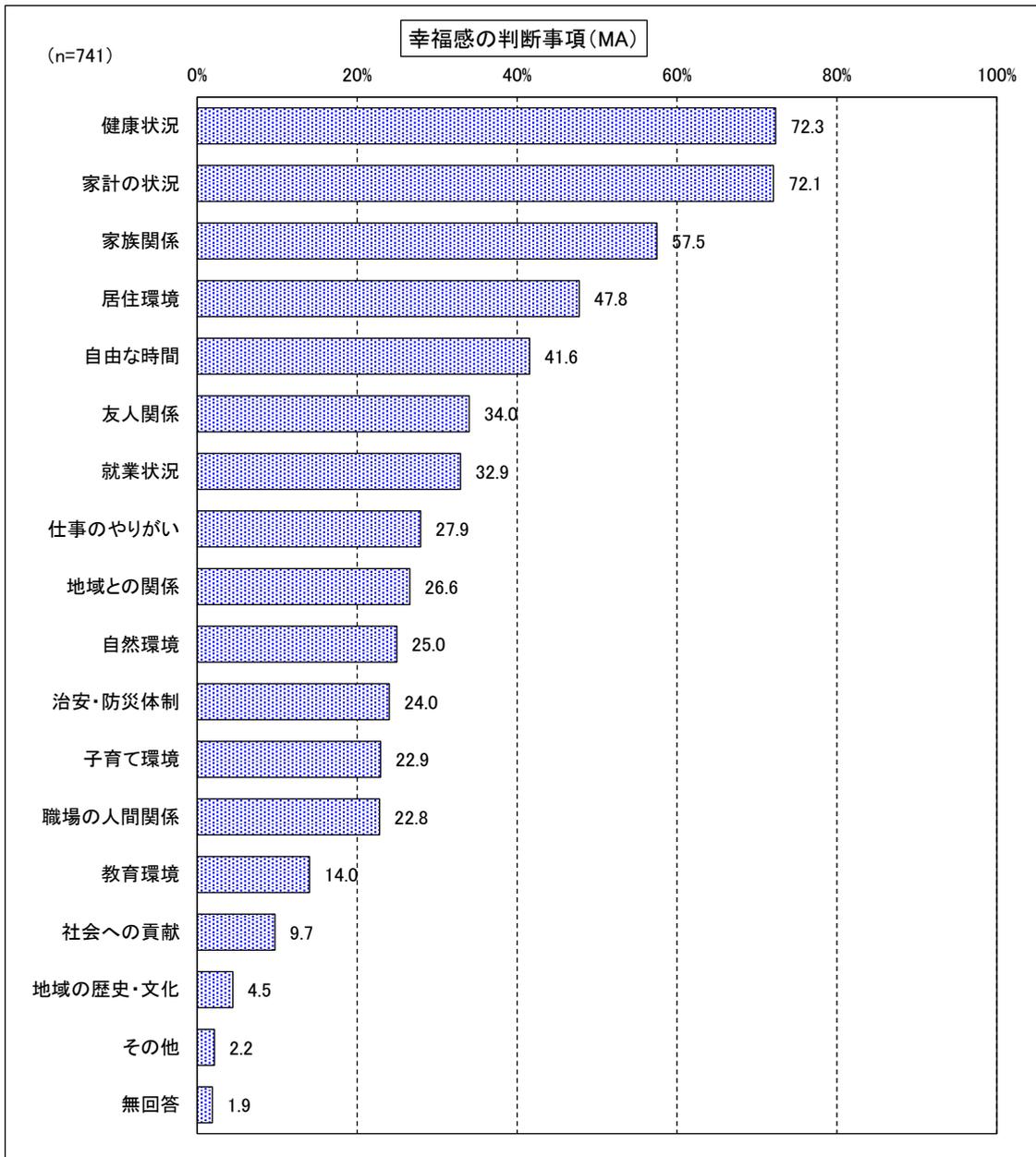
また、平均点は町民の5.77点に対し、中学生は6.96点となっています。



【問 11】 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。（あてはまるものすべてに○印）

〔全体〕

回答者自身が幸福かどうか判断する際に重視したことについては、「健康状況」への回答割合が最も高く 72.3%となっており、次いで、「家計の状況」が 72.1%、「家族関係」が 57.5%、「居住環境」が 47.8%、「自由な時間」が 41.6%と続いています。



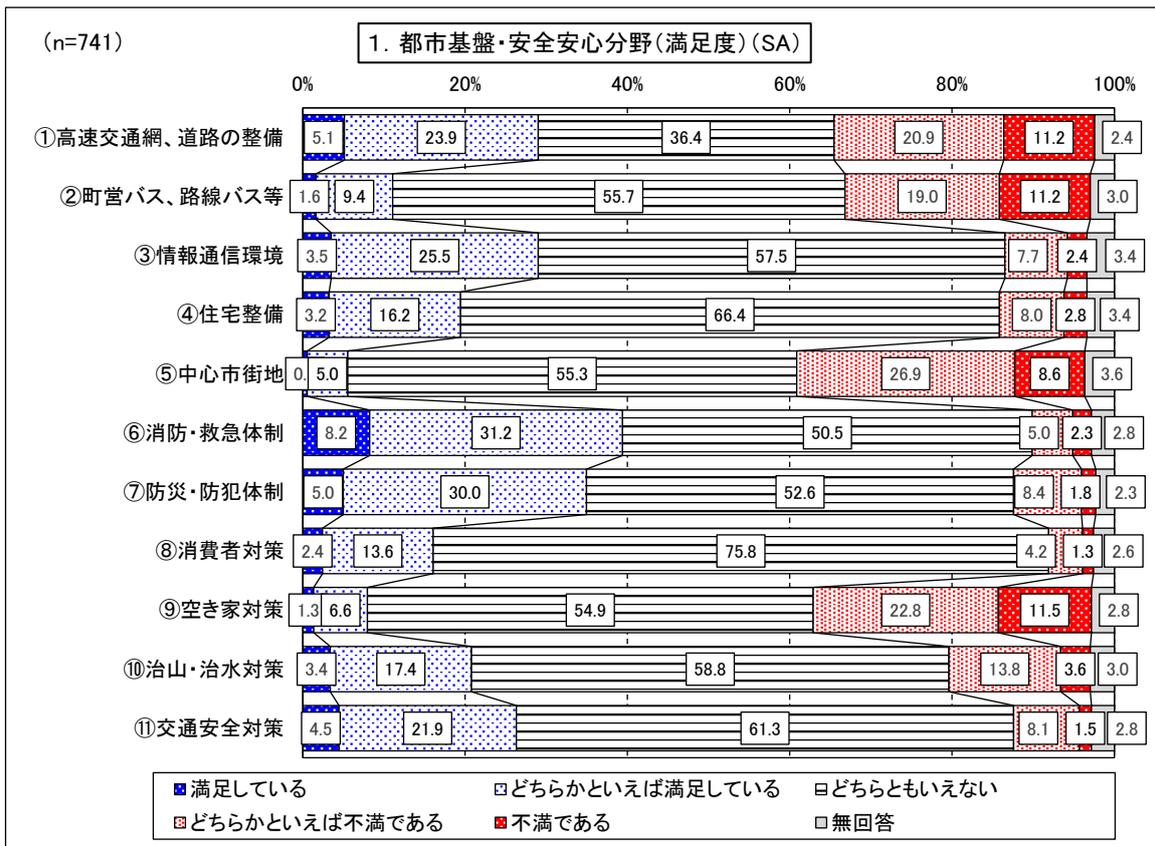
## 4 まちづくりの取り組みについて

【問12】庄内町では、これまで庄内町総合計画に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目についての現状の満足度と、今後の重視度をおたずねします。

### (1)都市基盤・安全安心分野

〔全体（満足度）〕

「都市基盤・安全安心分野」における11項目について「満足度」をお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下のとおりでした。



また、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”と、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた“不満”、及び“満足”と“不満”の差異は以下のとおりです。

単位：％

	“満足” (A)	“不満” (B)	(A) - (B)
①高速交通網、道路の整備	29.0	32.1	-3.1
②町営バス、路線バス等	11.1	30.2	-19.2
③情報通信環境	29.0	10.1	18.9
④住宅整備	19.4	10.8	8.6
⑤中心市街地	5.5	35.5	-30.0
⑥消防・救急体制	39.4	7.3	32.1
⑦防災・防犯体制	35.0	10.1	24.8
⑧消費者対策	16.1	5.5	10.5
⑨空き家対策	8.0	34.3	-26.3
⑩治山・治水対策	20.8	17.4	3.4
⑪交通安全対策	26.3	9.6	16.7

満足（“満足”－“不満”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的大きい項目は、

⑥消防・救急体制	32.1%
⑦防災・防犯体制	24.8%
③情報通信環境	18.9%

となっています。

一方、不満（“満足”－“不満”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的大きい項目は、

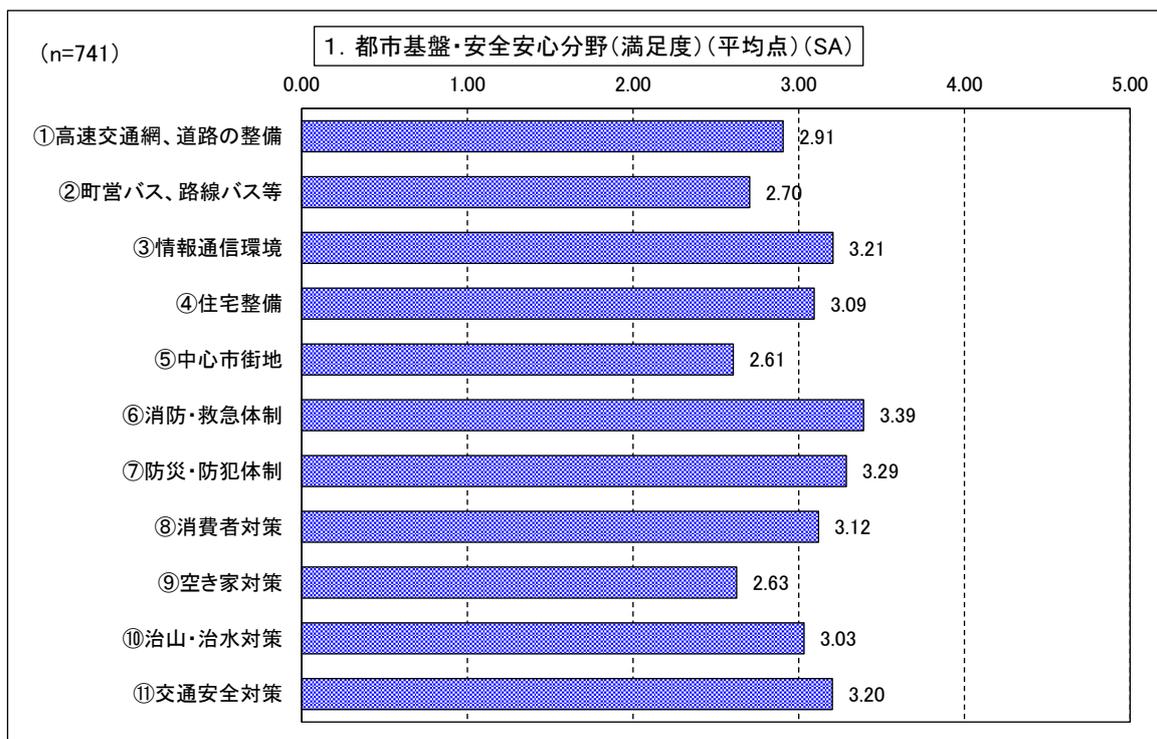
⑤中心市街地	-30.0%
⑨空き家対策	-26.3%
②町営バス、路線バス等	-19.2%

となっています。

[全体 (満足度 平均点)]

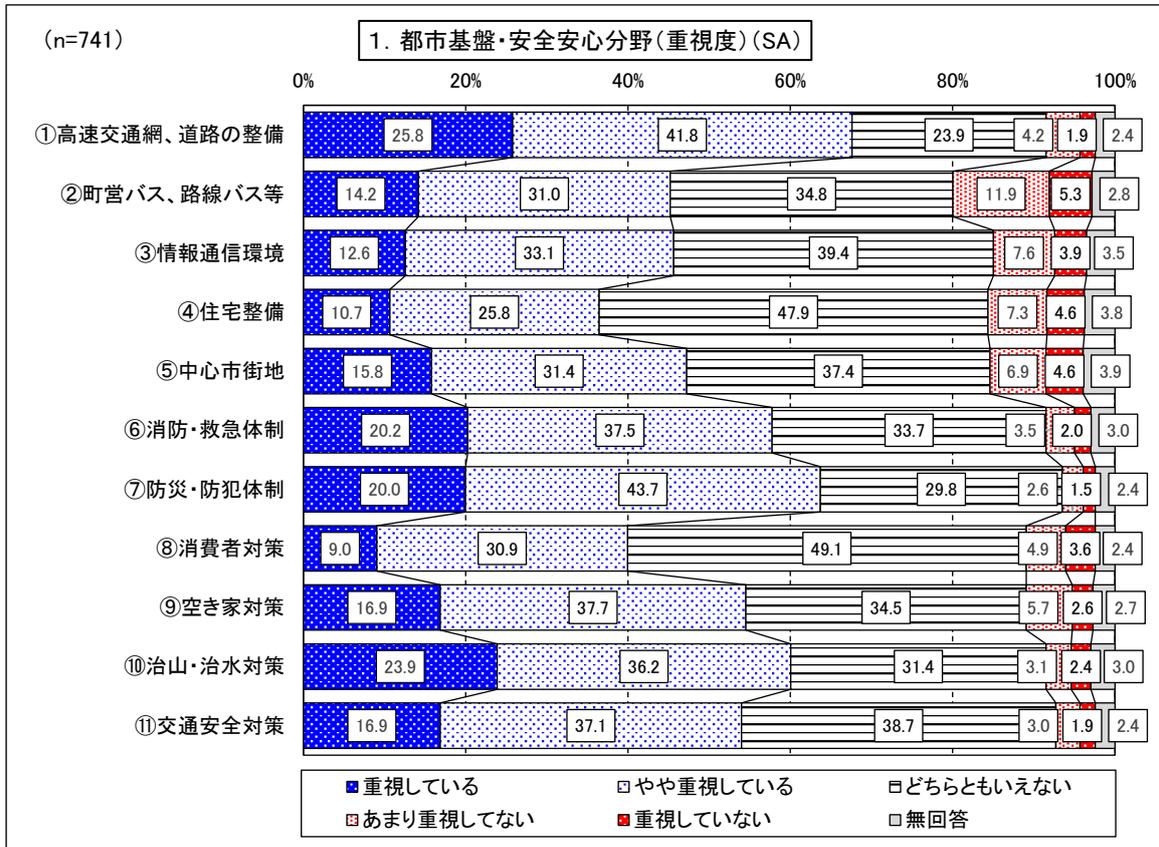
「満足している」を5点、「どちらかといえば満足している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば不満である」を2点、「不満である」を1点とし(加重をかけ)、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値(加重平均値)となります。

なお、「都市基盤・安全安心分野」の平均値は3.02となっています。



[全体（重視度）]

「都市基盤・安全安心分野」における11項目について「重視度」をお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下のとおりでした。



また、「重視している」と「やや重視している」を合わせた“重視”と、「あまり重視していない」と「重視していない」を合わせた“非重視”、及び“重視”と“非重視”の差異は以下のとおりです。

単位：%

	“重視” (A)	“非重視” (B)	(A) - (B)
①高速交通網、道路の整備	67.6	6.1	61.5
②町営バス、路線バス等	45.2	17.1	28.1
③情報通信環境	45.6	11.5	34.1
④住宅整備	36.4	11.9	24.6
⑤中心市街地	47.2	11.5	35.8
⑥消防・救急体制	57.8	5.5	52.2
⑦防災・防犯体制	63.7	4.0	59.6
⑧消費者対策	39.9	8.5	31.4
⑨空き家対策	54.5	8.2	46.3
⑩治山・治水対策	60.1	5.5	54.5
⑪交通安全対策	54.0	4.9	49.1

重視（“重視”－“非重視”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的大きい項目は、

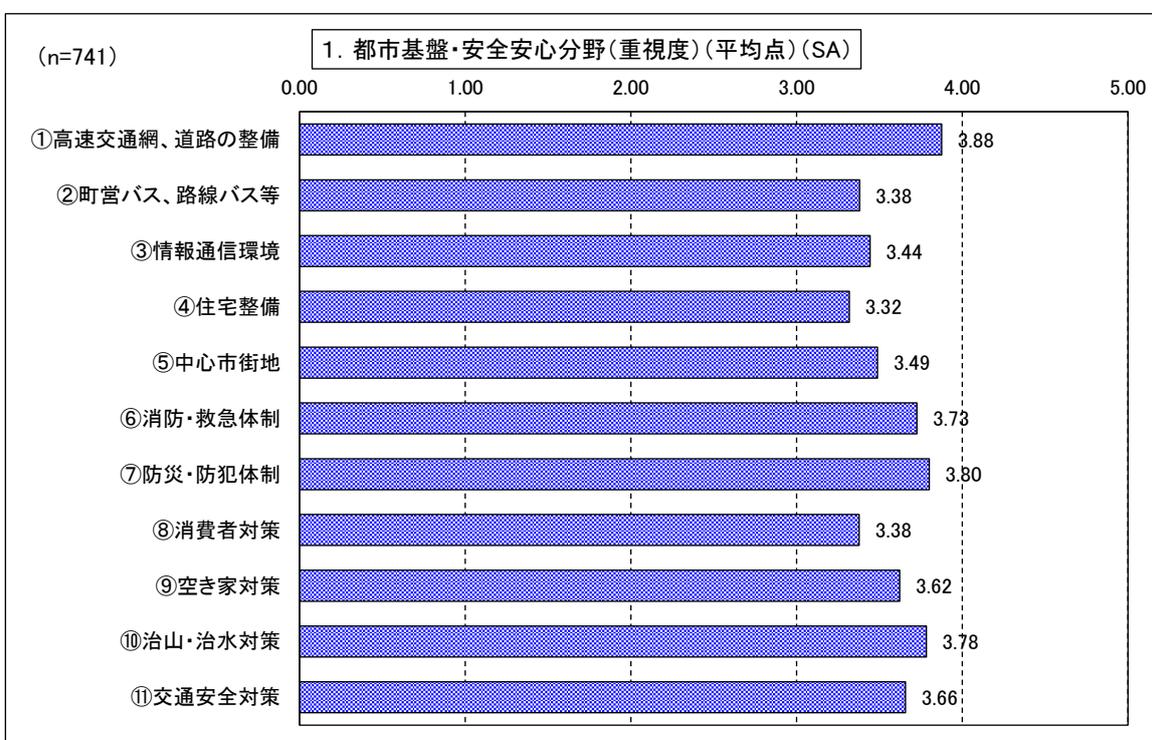
①高速交通網、道路の整備	61.5%
⑦防災・防犯体制	59.6%
⑩治山・治水対策	54.5%
⑥消防・救急体制	52.2%

となっています。

〔全体（重視度 平均点）〕

「重視している」を5点、「やや重視している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重視していない」を2点、「重視していない」を1点とし（加重をかけ）、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値（加重平均値）となります。

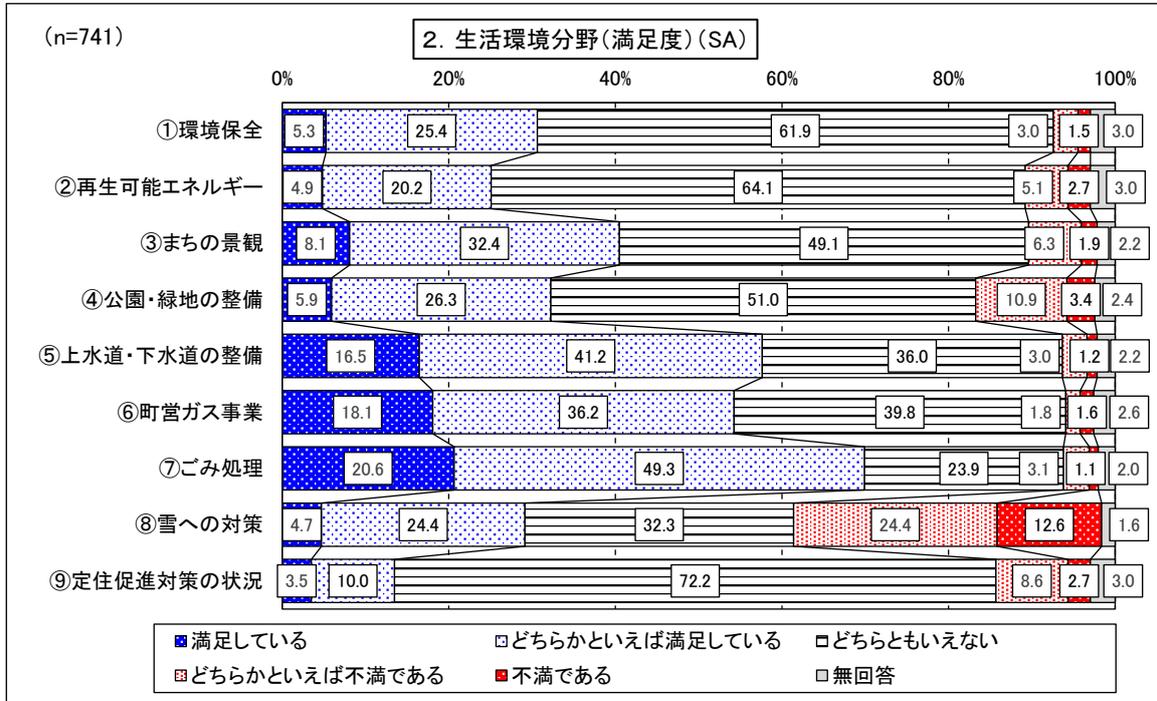
なお、「都市基盤・安全安心分野」の平均値は3.59となっています。



(2)生活環境分野

〔全体（満足度）〕

「生活環境分野」における9項目について「満足度」をお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下のとおりでした。



また、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”と、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた“不満”、及び“満足”と“不満”の差異は以下のとおりです。

単位：%

	“満足” (A)	“不満” (B)	(A) - (B)
①環境保全	30.6	4.5	26.2
②再生可能エネルギー	25.1	7.8	17.3
③まちの景観	40.5	8.2	32.3
④公園・緑地の整備	32.3	14.3	17.9
⑤上水道・下水道の整備	57.6	4.2	53.4
⑥町営ガス事業	54.3	3.4	50.9
⑦ごみ処理	69.9	4.2	65.7
⑧雪への対策	29.1	37.0	-7.8
⑨定住促進対策の状況	13.5	11.3	2.2

満足（“満足”－“不満”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的大きい項目は、

⑦ごみ処理	65.7%
⑤上水道・下水道の整備	53.4%
⑥町営ガス事業	50.9%

となっています。

一方、不満（“満足”-“不満”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的大きい項目は、

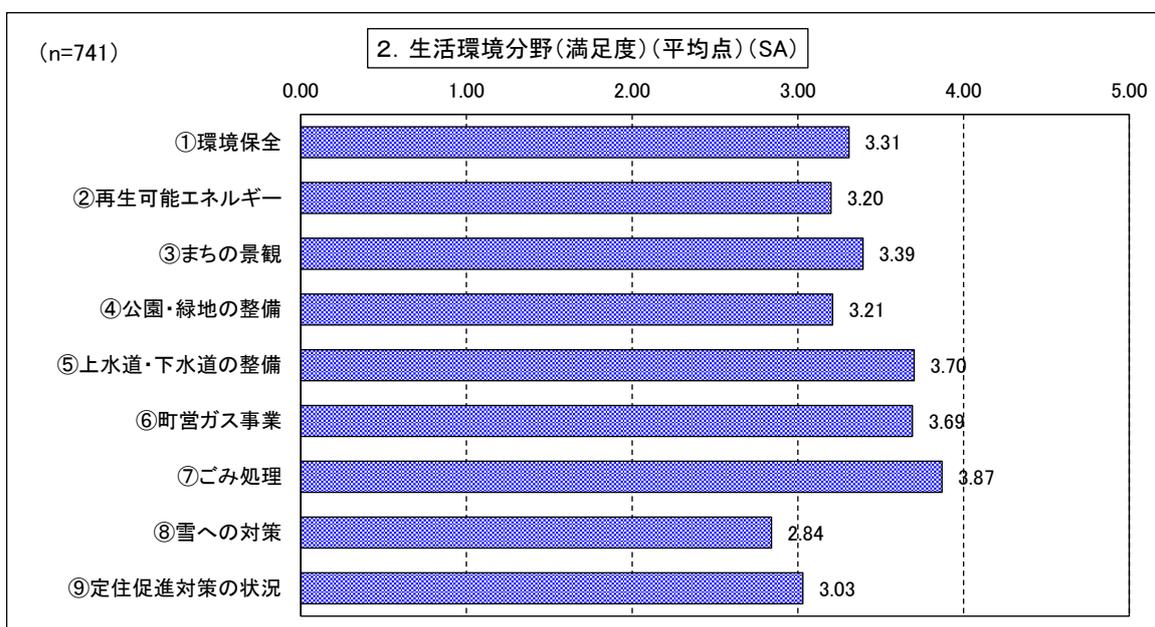
⑧雪への対策	-7.8%
--------	-------

となっています。

〔全体（満足度 平均点）〕

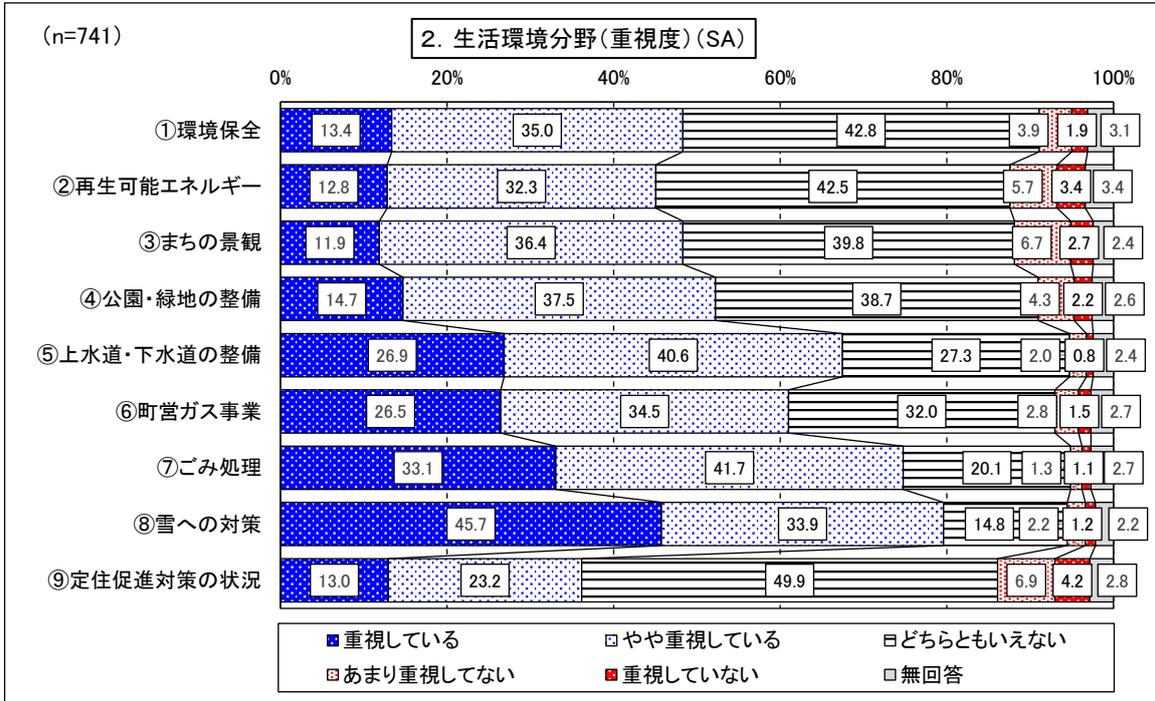
「満足している」を5点、「どちらかといえば満足している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば不満である」を2点、「不満である」を1点とし（加重をかけ）、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値（加重平均値）となります。

なお、「生活環境分野」の平均値は3.36となっています。



〔全体（重視度）〕

「生活環境分野」における9項目について「重視度」をお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下のとおりでした。



また、「重視している」と「やや重視している」を合わせた“重視”と、「あまり重視していない」と「重視していない」を合わせた“非重視”、及び“重視”と“非重視”の差異は以下のとおりです。

単位：％

	“重視” (A)	“非重視” (B)	(A) - (B)
①環境保全	48.3	5.8	42.5
②再生可能エネルギー	45.1	9.0	36.0
③まちの景観	48.3	9.4	38.9
④公園・緑地の整備	52.2	6.5	45.7
⑤上水道・下水道の整備	67.5	2.8	64.6
⑥町営ガス事業	61.0	4.3	56.7
⑦ごみ処理	74.8	2.4	72.3
⑧雪への対策	79.6	3.4	76.2
⑨定住促進対策の状況	36.2	11.1	25.1

重視（“重視”－“非重視”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的大きい項目は、

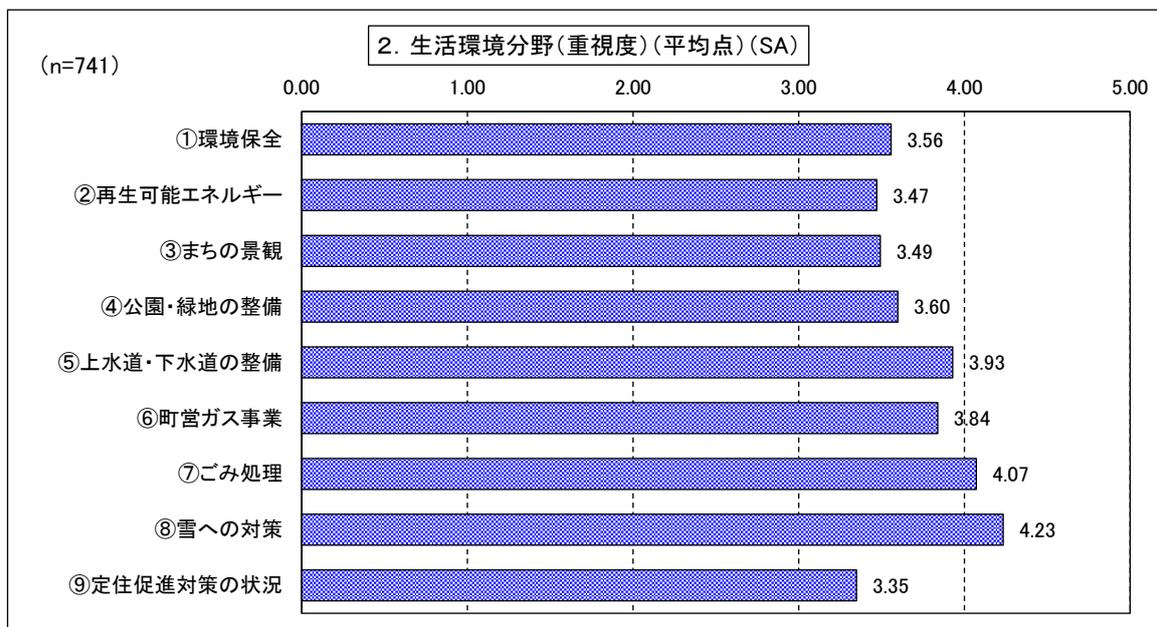
⑧雪への対策	76.2%
⑦ごみ処理	72.3%
⑤上水道・下水道の整備	64.6%
⑥町営ガス事業	56.7%

となっています。

[全体(重視度 平均点)]

「重視している」を5点、「やや重視している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重視していない」を2点、「重視していない」を1点とし(加重をかけ)、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値(加重平均値)となります。

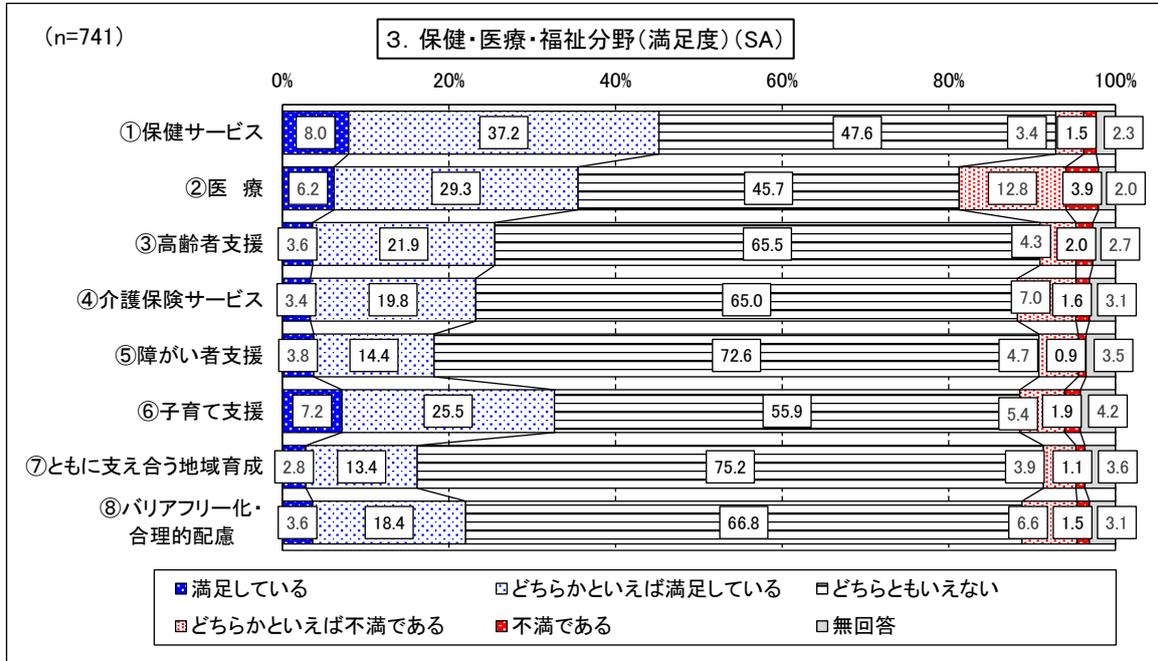
なお、「生活環境分野」の平均値は3.73となっています。



### (3)保健・医療・福祉分野

〔全体（満足度）〕

「保健・医療・福祉分野」における8項目について「満足度」をお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下のとおりでした。



また、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”と、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた“不満”、及び“満足”と“不満”の差異は以下のとおりです。

単位：％

	“満足” (A)	“不満” (B)	(A) - (B)
①保健サービス	45.2	4.9	40.4
②医療	35.5	16.7	18.8
③高齢者支援	25.5	6.3	19.2
④介護保険サービス	23.2	8.6	14.6
⑤障がい者支援	18.2	5.7	12.6
⑥子育て支援	32.7	7.3	25.4
⑦ともに支え合う地域育成	16.2	5.0	11.2
⑧バリアフリー化・合理的配慮	22.0	8.1	13.9

満足（“満足”－“不満”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的大きい項目は、

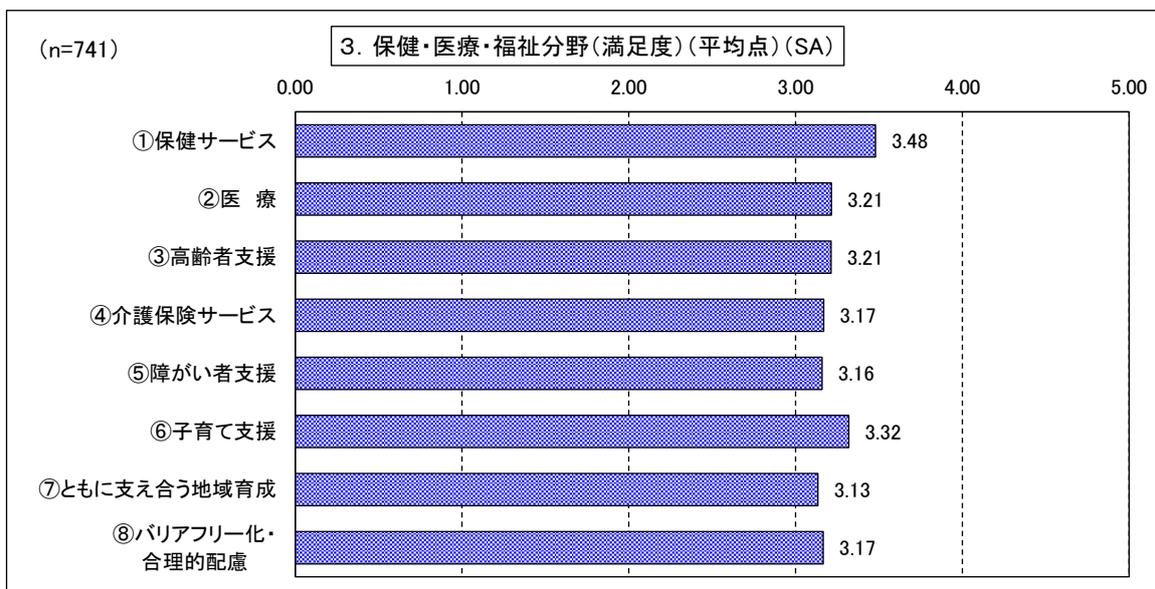
①保健サービス	40.4%
⑥子育て支援	25.4%

となっています。

[全体 (満足度 平均点)]

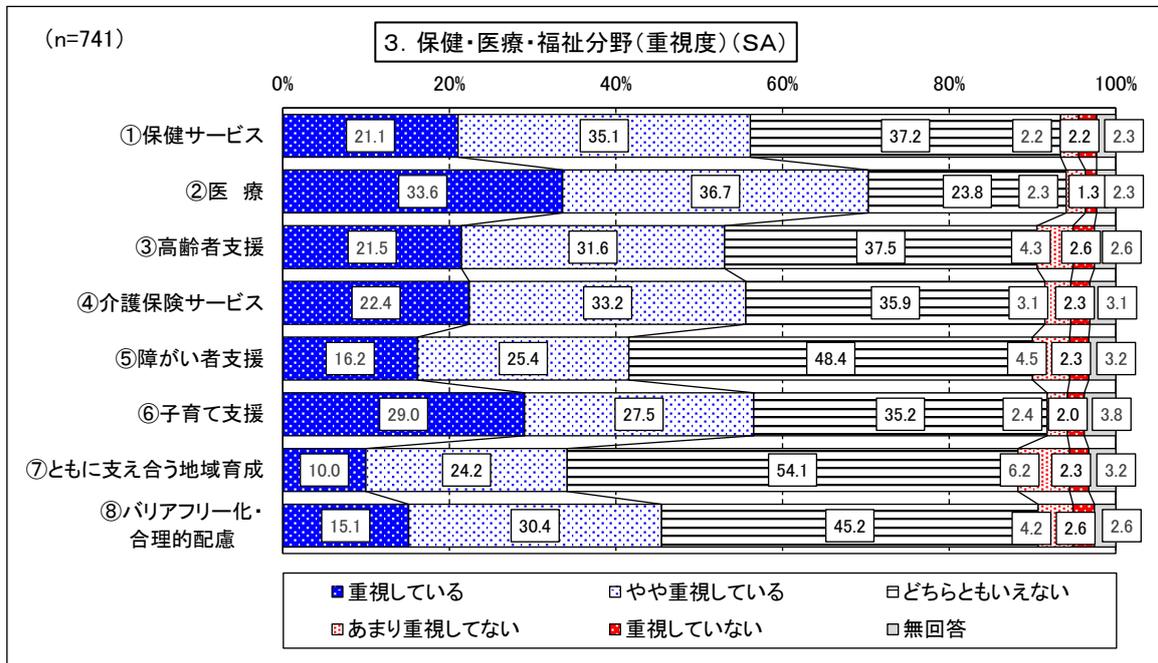
「満足している」を5点、「どちらかといえば満足している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば不満である」を2点、「不満である」を1点とし(加重をかけ)、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値(加重平均値)となります。

なお、「保健・医療・福祉分野」の平均値は3.23となっています。



[全体（重視度）]

「保健・医療・福祉分野」における8項目について「重視度」をお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下のとおりでした。



また、「重視している」と「やや重視している」を合わせた“重視”と、「あまり重視していない」と「重視していない」を合わせた“非重視”、及び“重視”と“非重視”の差異は以下のとおりです。

単位：%

	“重視” (A)	“非重視” (B)	(A) - (B)
①保健サービス	56.1	4.3	51.8
②医療	70.3	3.6	66.7
③高齢者支援	53.0	6.9	46.2
④介護保険サービス	55.6	5.4	50.2
⑤障がい者支援	41.6	6.7	34.8
⑥子育て支援	56.5	4.5	52.1
⑦ともに支え合う地域育成	34.1	8.5	25.6
⑧バリアフリー化・合理的配慮	45.5	6.7	38.7

重視（“重視”-“非重視”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的大きい項目は、

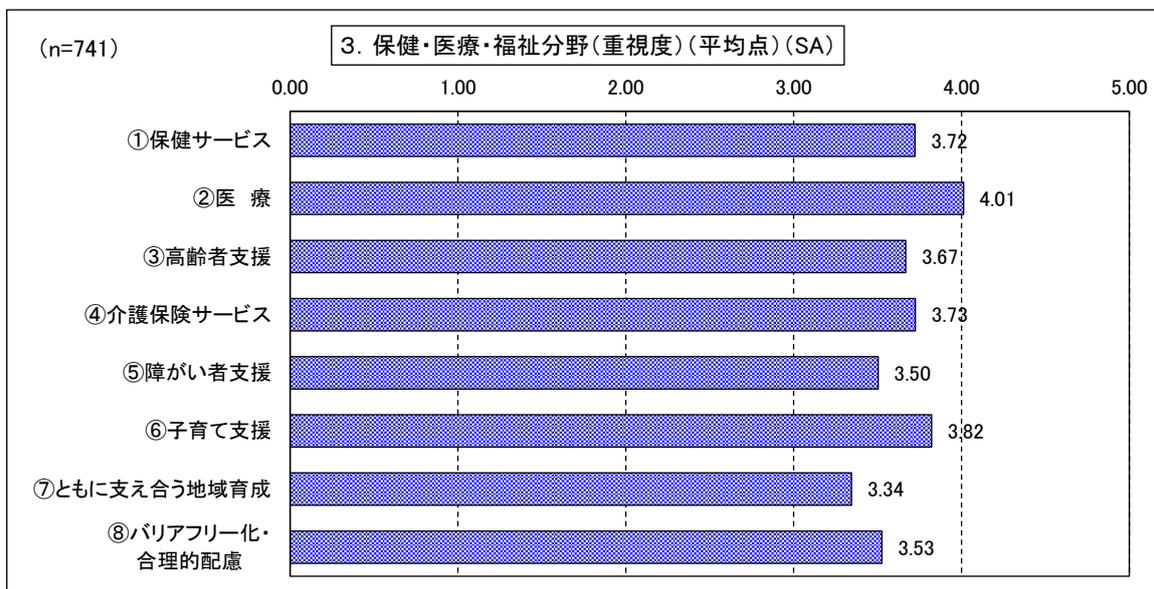
②医療	66.7%
⑥子育て支援	52.1%
①保健サービス	51.8%
④介護保険サービス	50.2%

となっています。

[全体 (重視度 平均点)]

「重視している」を5点、「やや重視している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重視していない」を2点、「重視していない」を1点とし(加重をかけ)、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値(加重平均値)となります。

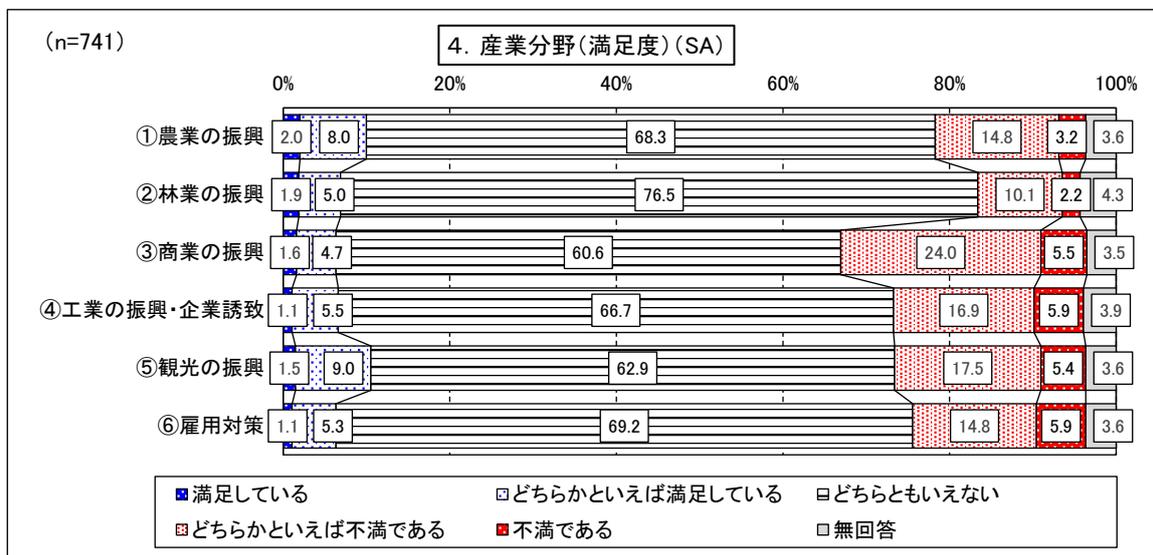
なお、「保健・医療・福祉分野」の平均値は3.67となっています。



#### (4)産業分野

〔全体（満足度）〕

「産業分野」における6項目について「満足度」をお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下のとおりでした。



また、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”と、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた“不満”、及び“満足”と“不満”の差異は以下のとおりです。

単位：％

	“満足” (A)	“不満” (B)	(A) - (B)
①農業の振興	10.0	18.1	-8.1
②林業の振興	6.9	12.3	-5.4
③商業の振興	6.3	29.6	<b>-23.2</b>
④工業の振興・企業誘致	6.6	22.8	<b>-16.2</b>
⑤観光の振興	10.5	22.9	<b>-12.4</b>
⑥雇用対策	6.3	20.8	<b>-14.4</b>

不満（“満足”－“不満”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的大きい項目は、

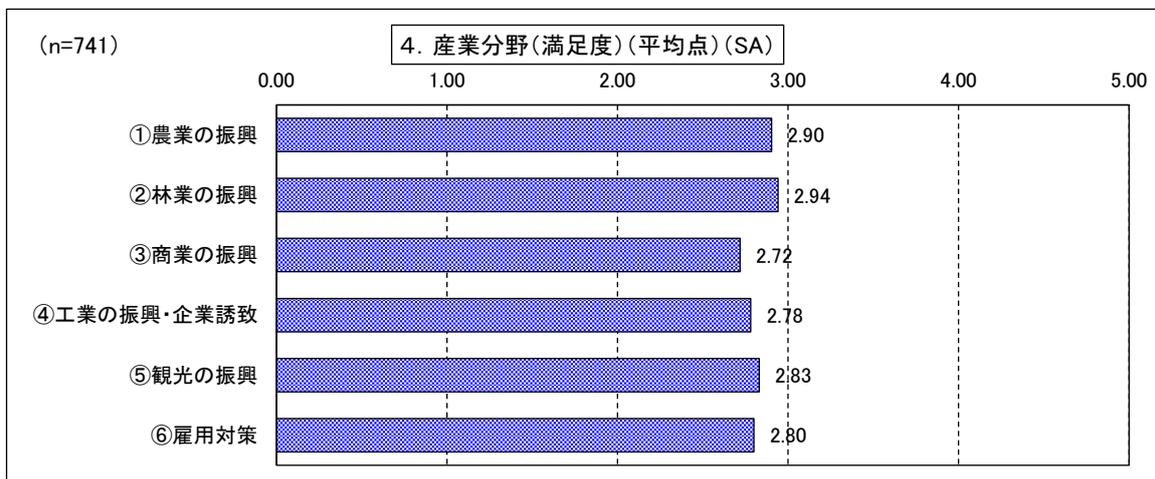
③商業の振興	-23.2%
④工業の振興・企業誘致	-16.2%
⑥雇用対策	-14.4%
⑤観光の振興	-12.4%

となっています。

[全体 (満足度 平均点) ]

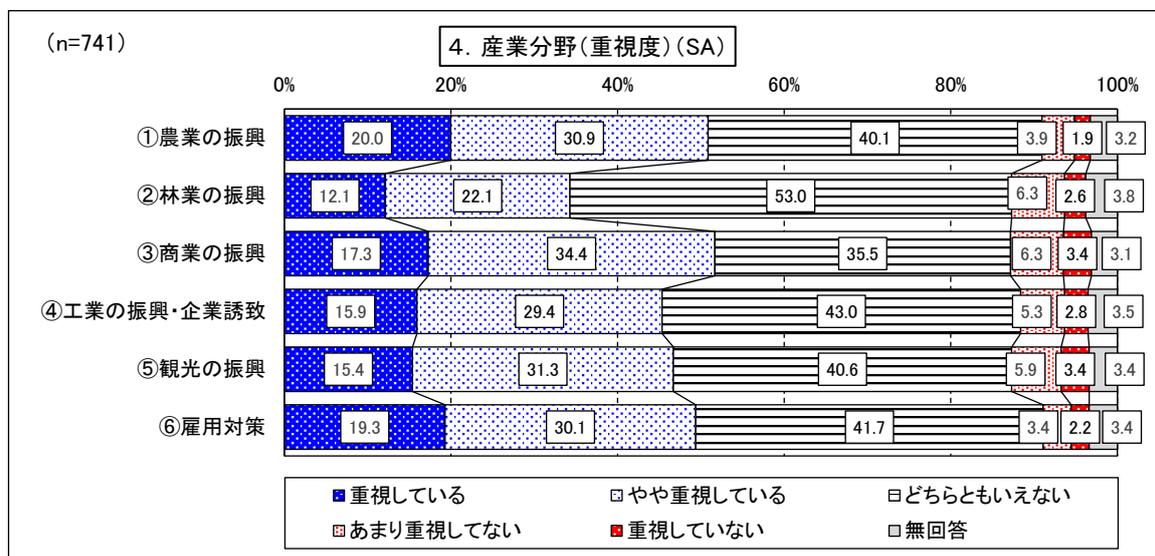
「満足している」を5点、「どちらかといえば満足している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば不満である」を2点、「不満である」を1点とし(加重をかけ)、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値(加重平均値)となります。

なお、「産業分野」の平均値は2.83となっています。



〔全体（重視度）〕

「産業分野」における6項目について「重視度」をお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下のとおりでした。



また、「重視している」と「やや重視している」を合わせた“重視”と、「あまり重視していない」と「重視していない」を合わせた“非重視”、及び“重視”と“非重視”の差異は以下のとおりです。

単位：％

	“重視” (A)	“非重視” (B)	(A) - (B)
①農業の振興	50.9	5.8	45.1
②林業の振興	34.3	8.9	25.4
③商業の振興	51.7	9.7	42.0
④工業の振興・企業誘致	45.3	8.1	37.2
⑤観光の振興	46.7	9.3	37.4
⑥雇用対策	49.4	5.5	43.9

重視（“重視”－“非重視”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的大きい項目は、

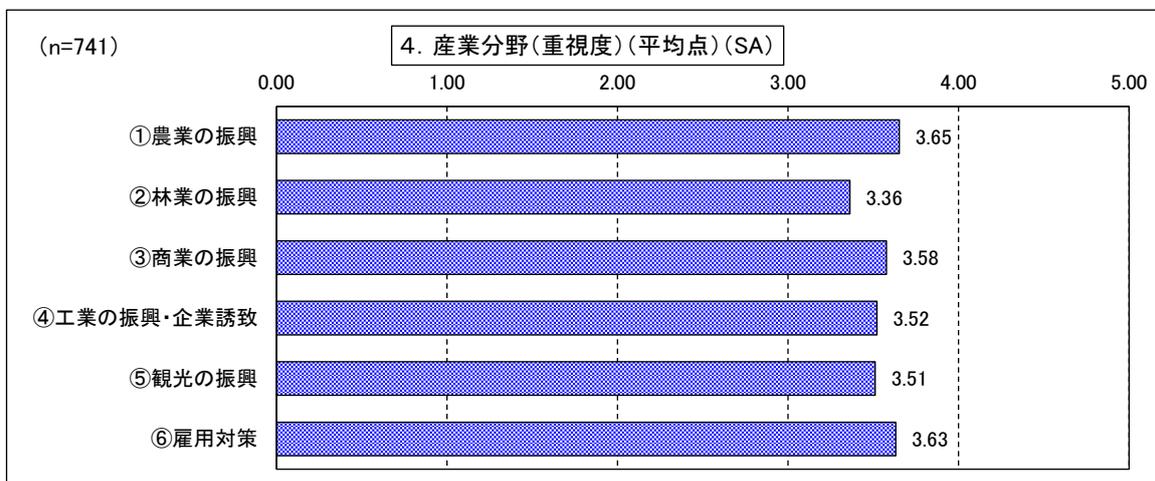
①農業の振興	45.1%
⑥雇用対策	43.9%
③商業の振興	42.0%

となっています。

[全体 (重視度 平均点) ]

「重視している」を5点、「やや重視している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重視していない」を2点、「重視していない」を1点とし（加重をかけ）、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値（加重平均値）となります。

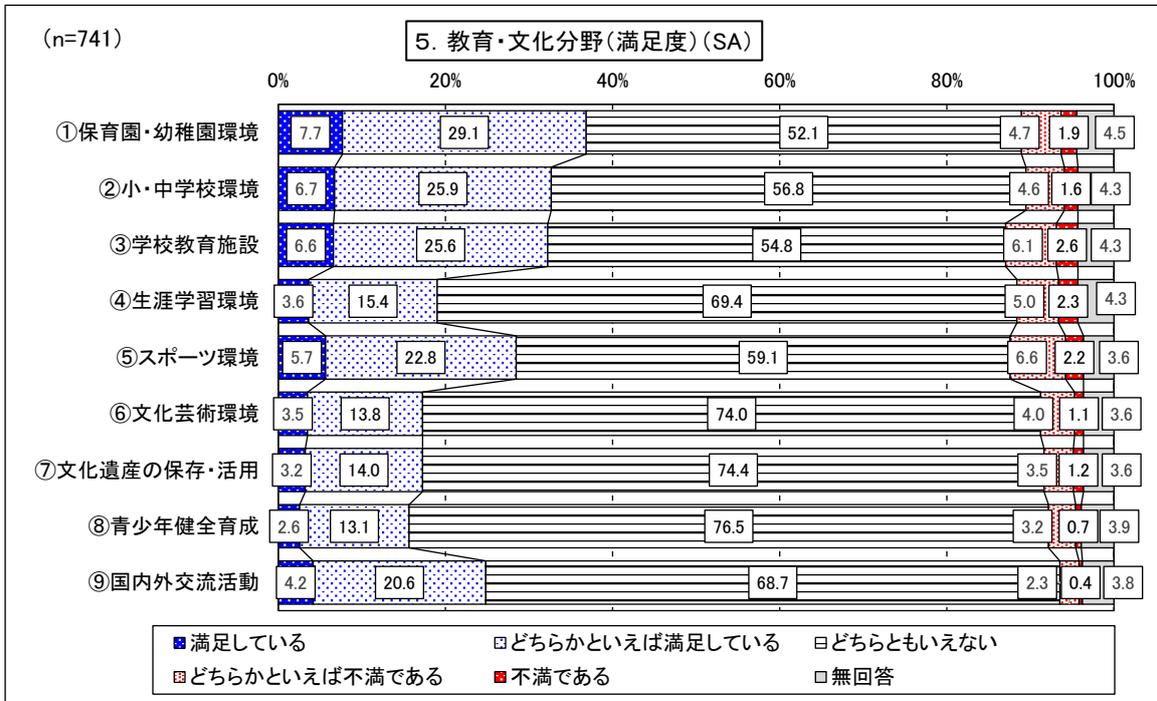
なお、「産業分野」の平均値は3.54 となっています。



(5)教育・文化分野

〔全体（満足度）〕

「教育・文化分野」における9項目について「満足度」をお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下のとおりでした。



また、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”と、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた“不満”、及び“満足”と“不満”の差異は以下のとおりです。

単位：％

	“満足” (A)	“不満” (B)	(A) - (B)
①保育園・幼稚園環境	36.8	6.6	30.2
②小・中学校環境	32.7	6.2	26.5
③学校教育施設	32.3	8.6	23.6
④生涯学習環境	19.0	7.3	11.7
⑤スポーツ環境	28.5	8.8	19.7
⑥文化芸術環境	17.3	5.1	12.1
⑦文化遺産の保存・活用	17.3	4.7	12.6
⑧青少年健全育成	15.7	3.9	11.7
⑨国内外交流活動	24.8	2.7	22.1

満足（“満足”－“不満”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的大きい項目は、

①保育園・幼稚園環境	30.2%
②小・中学校環境	26.5%
③学校教育施設	23.6%

となっています。

一方、不満（“満足”-“不満”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的小さい項目は、

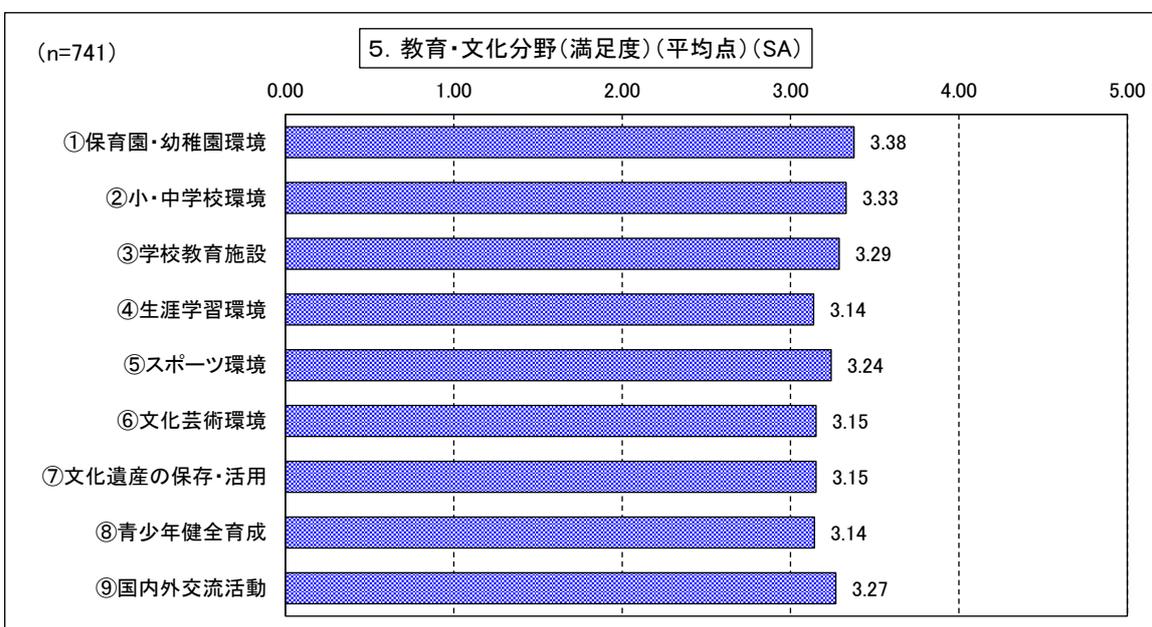
④生涯学習環境	11.7%
⑧青少年健全育成	11.7%

となっています。

〔全体（満足度 平均点）〕

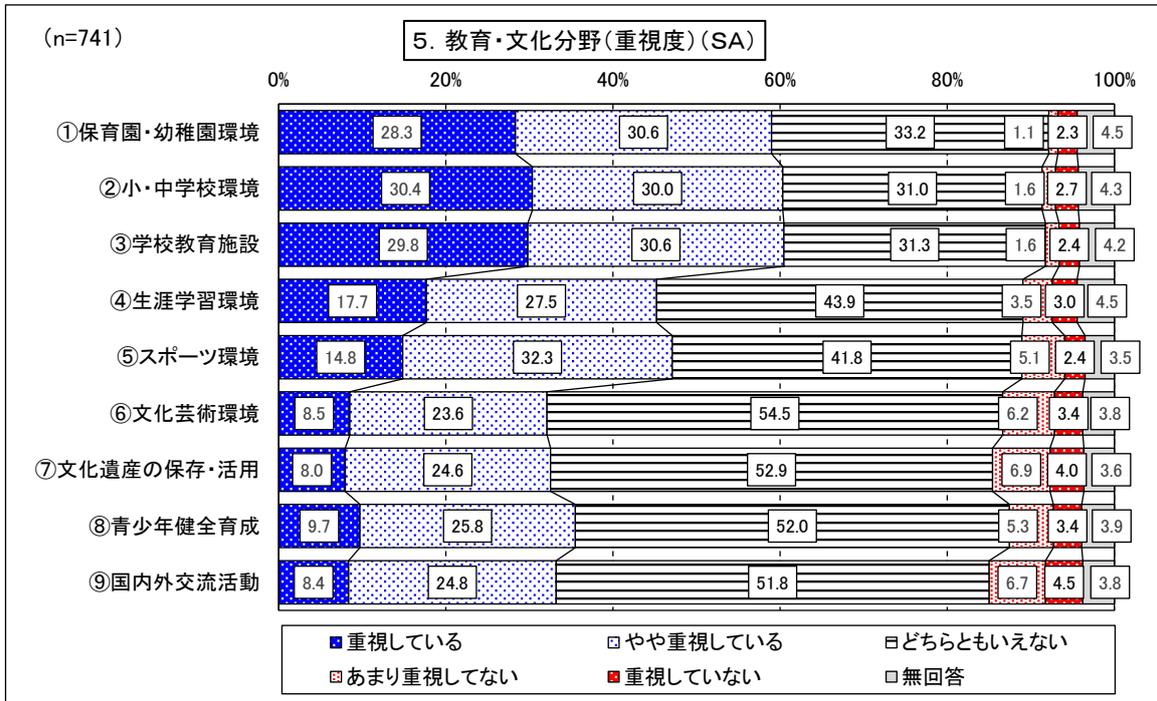
「満足している」を5点、「どちらかといえば満足している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば不満である」を2点、「不満である」を1点とし（加重をかけ）、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値（加重平均値）となります。

なお、「教育・文化分野」の平均値は3.23となっています。



〔全体（重視度）〕

「教育・文化分野」における9項目について「重視度」をお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下のとおりでした。



また、「重視している」と「やや重視している」を合わせた“重視”と、「あまり重視していない」と「重視していない」を合わせた“非重視”、及び“重視”と“非重視”の差異は以下のとおりです。

単位：％

	“重視” (A)	“非重視” (B)	(A) - (B)
①保育園・幼稚園環境	59.0	3.4	55.6
②小・中学校環境	60.3	4.3	56.0
③学校教育施設	60.5	4.0	56.4
④生涯学習環境	45.2	6.5	38.7
⑤スポーツ環境	47.1	7.6	39.5
⑥文化芸術環境	32.1	9.6	22.5
⑦文化遺産の保存・活用	32.5	10.9	21.6
⑧青少年健全育成	35.5	8.6	26.9
⑨国内外交流活動	33.2	11.2	22.0

重視（“重視”－“非重視”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的大きい項目は、

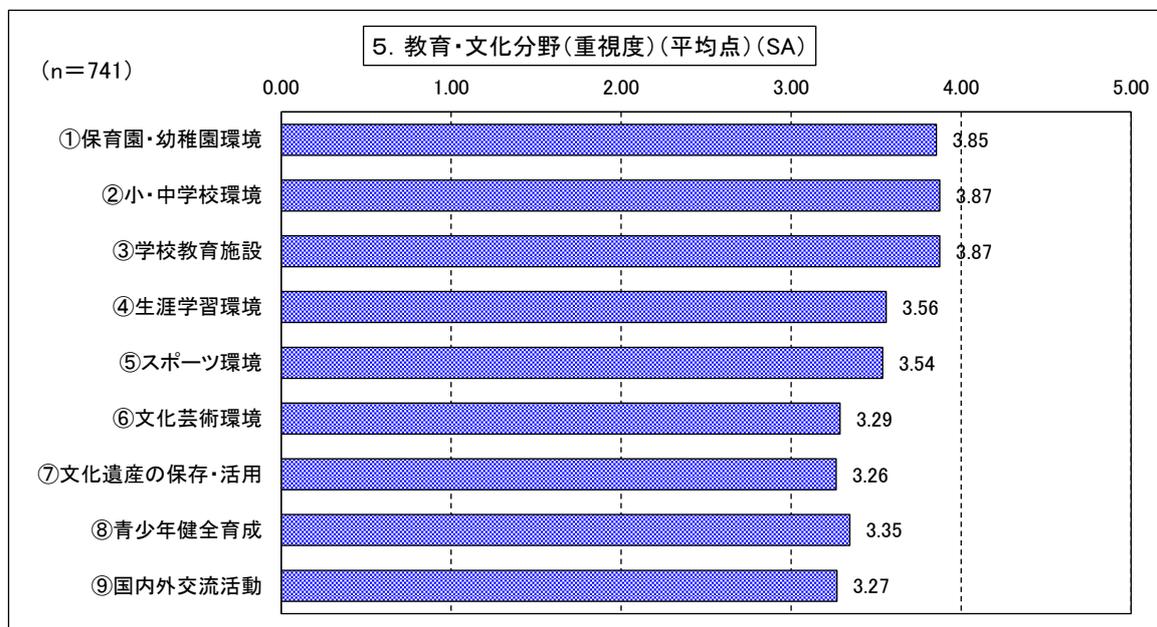
③学校教育施設	56.4%
②小・中学校環境	56.0%
①保育園・幼稚園環境	55.6%

となっています。

[全体 (重視度 平均点) ]

「重視している」を5点、「やや重視している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重視していない」を2点、「重視していない」を1点とし（加重をかけ）、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値（加重平均値）となります。

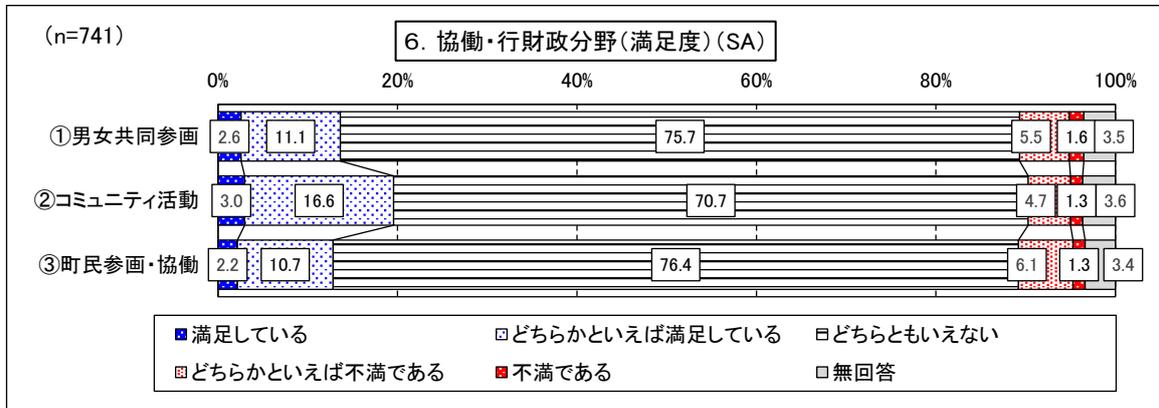
なお、「教育・文化分野」の平均値は3.54となっています。



(6)協働・行財政分野

〔全体（満足度）〕

「協働・行財政分野」における3項目について「満足度」をお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下のとおりでした。



また、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足”と、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた“不満”、及び“満足”と“不満”の差異は以下のとおりです。

単位：%

	“満足” (A)	“不満” (B)	(A) - (B)
①男女共同参画	13.6	7.2	6.5
②コミュニティ活動	19.6	6.1	13.5
③町民参画・協働	12.8	7.4	5.4

満足（“満足”－“不満”の差異）の割合が（他項目と比べ）比較的大きい項目は、

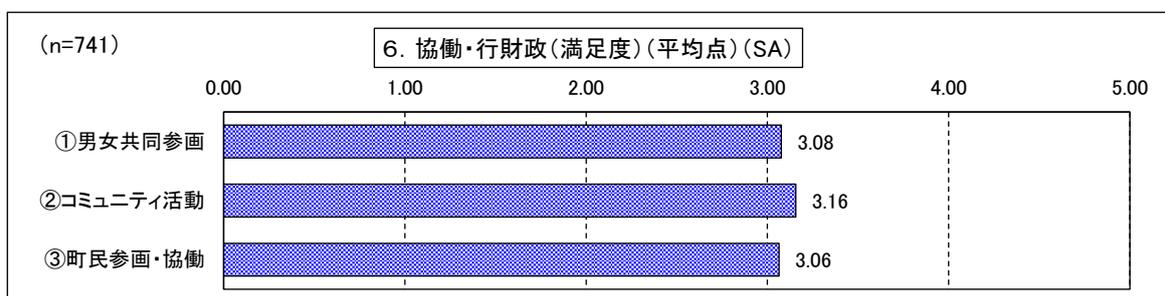
②コミュニティ活動	13.5%
-----------	-------

となっています。

〔全体（満足度 平均点）〕

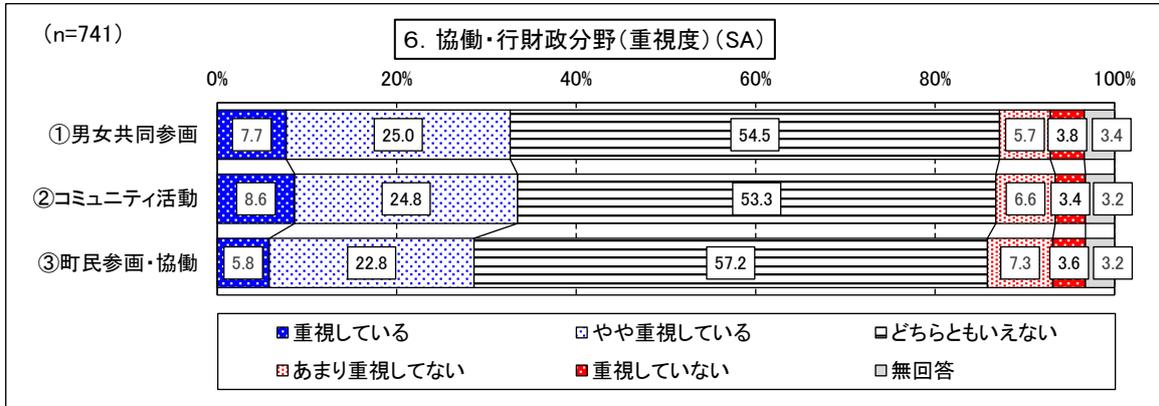
「満足している」を5点、「どちらかといえば満足している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば不満である」を2点、「不満である」を1点とし（加重をかけ）、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値（加重平均値）となります。

なお、「協働・行財政分野」の平均値は3.10 となっています。



[全体（重視度）]

「協働・行財政分野」における3項目について「重視度」をお聞きしたところ、各項目の回答割合は以下のとおりでした。



また、「重視している」と「やや重視している」を合わせた“重視”と、「あまり重視していない」と「重視していない」を合わせた“非重視”、及び“重視”と“非重視”の差異は以下のとおりです。

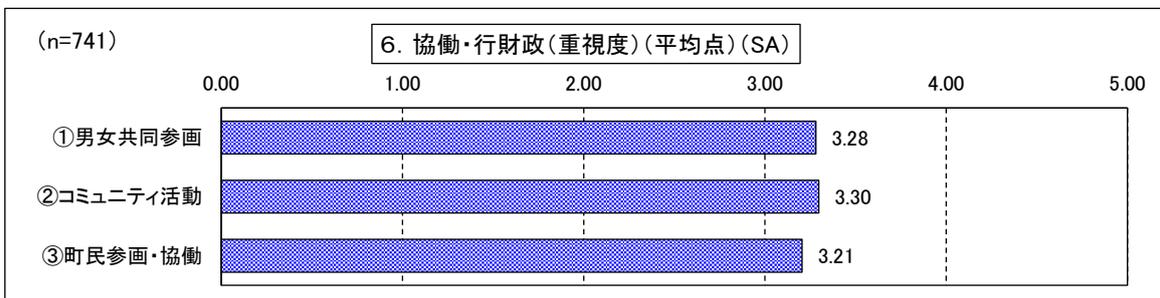
単位：%

	“重視” (A)	“非重視” (B)	(A) - (B)
①男女共同参画	32.7	9.4	23.2
②コミュニティ活動	33.5	10.0	23.5
③町民参画・協働	28.6	10.9	17.7

[全体（重視度 平均点）]

「重視している」を5点、「やや重視している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重視していない」を2点、「重視していない」を1点とし（加重をかけ）、それぞれの回答者数を乗じ、それを回答者数で除すると以下の値（加重平均値）となります。

なお、「協働・行財政分野」の平均値は3.26となっています。



## 4-2 まちづくりの取り組み(マトリックス分析)について

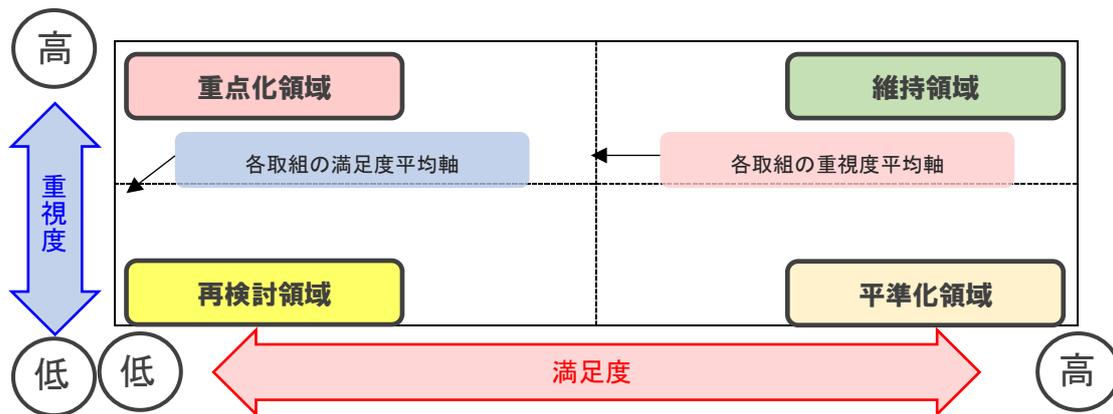
本調査の間 12 では、庄内町の取組に対して、住民（回答者）が現時点でどれほど満足しているのか、また、これから先どの程度重要と考えているのかを把握することを目的としています。

そのため、各項目における「満足度」及び「重視度」について、それぞれの回答選択肢に以下の点数を設定し、その平均値を算出しています。

得点	満足度	重視度
5点	満足している	重視している
4点	どちらかといえば満足している	やや重視している
3点	どちらともいえない	どちらともいえない
2点	どちらかといえば不満である	あまり重視していない
1点	不満である	重視していない

以上の平均点算出の結果に基づいて、満足度スコアを横軸に、重視度スコアを縦軸にとり、各調査項目の数値を座標点として、散布図により6分野ごとに示しています。

また、グラフ中の横軸、縦軸については満足度・重視度スコアの平均値をあらわしており、マトリックスグラフ（散布図）によって各取組を配置していくと、以下の4つの領域に位置づけられます。



上記4つの領域ごとに、施策の今後の取組は異なります。一般に、領域ごとに必要と考えられる対応は、以下のとおりです。

維持領域	重視度も満足度も相対的に高い領域であり、ここに含まれる施策は、現在の水準を維持すればよい項目と考えることができます。
平準化領域	満足度は高いが重視度は低い領域であり、その施策や事業の水準について改めて検討を行う必要がある項目であると考えられます。
重点化領域	満足度が低く、重視度が高い領域であり、ここに含まれる施策は、住民は重要だと思っているが、満足していない傾向にあり、今度積極的に対応すべき項目であると考えられます。
再検討領域	重視度も満足度も相対的に低い領域であり、その施策や事業のあり方を含めて、改めて検討することが必要であると考えられる項目です。

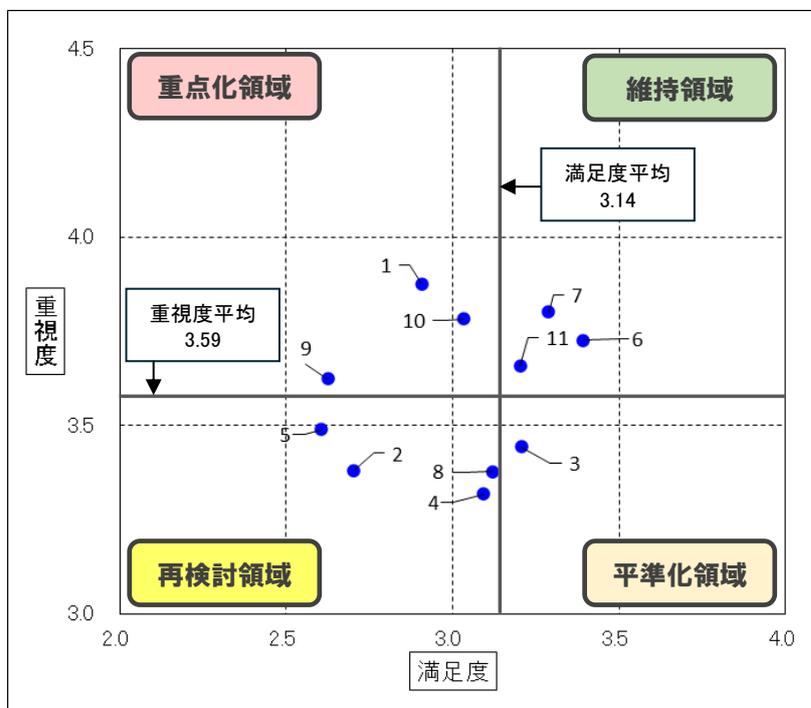
(1)都市基盤・安全安心分野

「都市基盤・安全安心分野」における 11 項目の「満足度」と「重視度」の平均点は以下のとおりです。

単位：点

項目	満足度 平均点	重視度 平均点
①高速交通網、道路の整備	2.91	3.88
②町営バス、路線バス等	2.70	3.38
③情報通信環境	3.21	3.44
④住宅整備	3.09	3.32
⑤中心市街地	2.61	3.49
⑥消防・救急体制	3.39	3.73
⑦防災・防犯体制	3.29	3.80
⑧消費者対策	3.12	3.38
⑨空き家対策	2.63	3.62
⑩治山・治水対策	3.03	3.78
⑪交通安全対策	3.20	3.66
「都市基盤・安全安心分野」平均点	3.02	3.59

また、各項目の「満足度」と「重視度」の平均点をクロスした結果をマトリックス図で示すと、以下のとおりとなります。（※図中の平均点ラインは、庄内町の取組として設定した全 46 項目の平均点（「満足度」3.14 点、「重視度」3.59 点）です。）



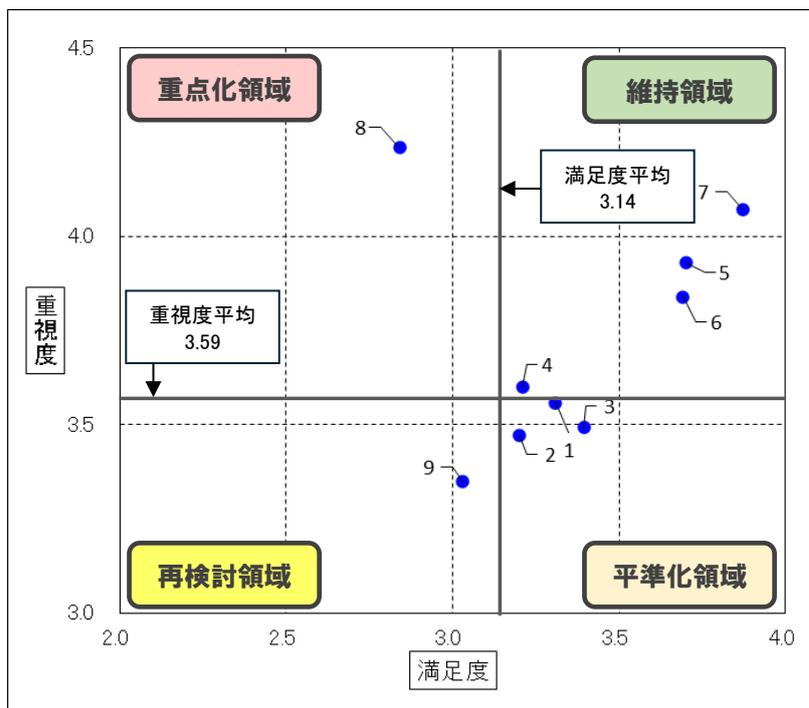
## (2)生活環境分野

「生活環境分野」における9項目の「満足度」と「重視度」の平均点は以下のとおりです。

単位：点

項目	満足度 平均点	重視度 平均点
①環境保全	3.31	3.56
②再生可能エネルギー	3.20	3.47
③まちの景観	3.39	3.49
④公園・緑地の整備	3.21	3.60
⑤上水道・下水道の整備	3.70	3.93
⑥町営ガス事業	3.69	3.84
⑦ごみ処理	3.87	4.07
⑧雪への対策	2.84	4.23
⑨定住促進対策の状況	3.03	3.35
「生活環境分野」平均点	3.36	3.73

また、各項目の「満足度」と「重視度」の平均点をクロスした結果をマトリックス図で示すと、以下のとおりとなります。（※図中の平均点ラインは、庄内町の取組として設定した全46項目の平均点（「満足度」3.14点、「重視度」3.59点）です。）



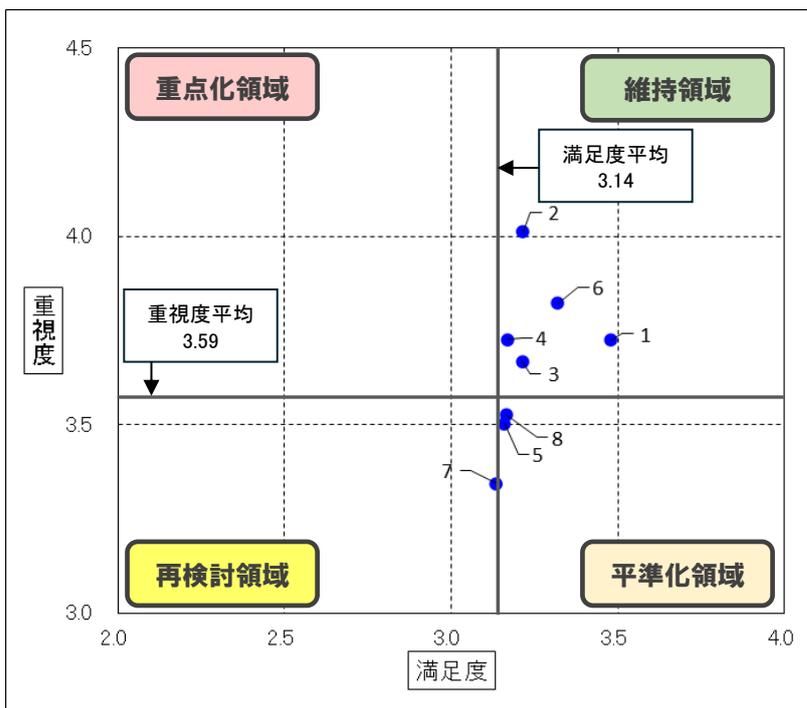
### (3)保健・医療・福祉分野

「保健・医療・福祉分野」における8項目の「満足度」と「重視度」の平均点は以下のとおりです。

単位：点

項目	満足度 平均点	重視度 平均点
①保健サービス	3.48	3.72
②医療	3.21	4.01
③高齢者支援	3.21	3.67
④介護保険サービス	3.17	3.73
⑤障がい者支援	3.16	3.50
⑥子育て支援	3.32	3.82
⑦ともに支え合う地域育成	3.13	3.34
⑧バリアフリー化・合理的配慮	3.17	3.53
「保健・医療・福祉分野」平均点	3.23	3.67

また、各項目の「満足度」と「重視度」の平均点をクロスした結果をマトリックス図で示すと、以下のとおりとなります。（※図中の平均点ラインは、庄内町の取組として設定した全46項目の平均点（「満足度」3.14点、「重視度」3.59点）です。）



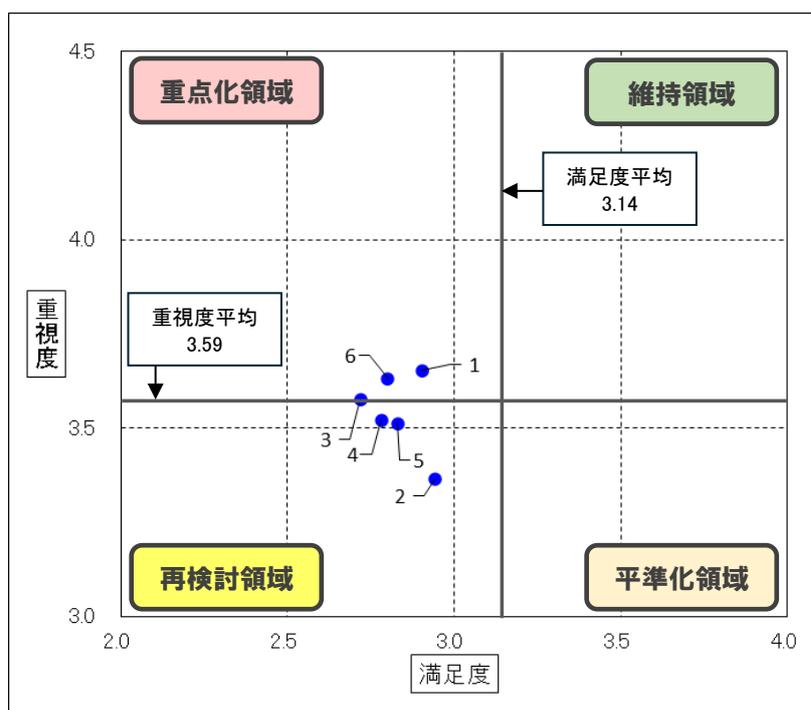
#### (4)産業分野

「産業分野」における6項目の「満足度」と「重視度」の平均点は以下のとおりです。

単位：点

項目	満足度 平均点	重視度 平均点
①農業の振興	2.90	3.65
②林業の振興	2.94	3.36
③商業の振興	2.72	3.58
④工業の振興・企業誘致	2.78	3.52
⑤観光の振興	2.83	3.51
⑥雇用対策	2.80	3.63
「産業分野」平均点	2.83	3.54

また、各項目の「満足度」と「重視度」の平均点をクロスした結果をマトリックス図で示すと、以下のとおりとなります。（※図中の平均点ラインは、庄内町の取組として設定した全46項目の平均点（「満足度」3.14点、「重視度」3.59点）です。）



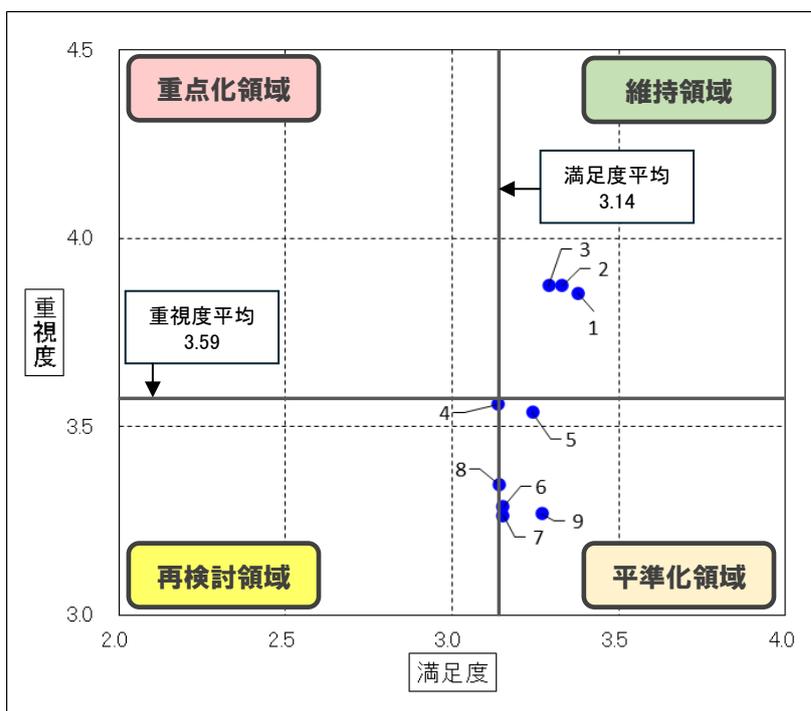
(5)教育・文化分野

「教育・文化分野」における9項目の「満足度」と「重視度」の平均点は以下のとおりです。

単位：点

項目	満足度 平均点	重視度 平均点
①保育園・幼稚園環境	3.38	3.85
②小・中学校環境	3.33	3.87
③学校教育施設	3.29	3.87
④生涯学習環境	3.14	3.56
⑤スポーツ環境	3.24	3.54
⑥文化芸術環境	3.15	3.29
⑦文化遺産の保存・活用	3.15	3.26
⑧青少年健全育成	3.14	3.35
⑨国内外交流活動	3.27	3.27
「教育・文化分野」平均点	3.23	3.54

また、各項目の「満足度」と「重視度」の平均点をクロスした結果をマトリックス図で示すと、以下のとおりとなります。（※図中の平均点ラインは、庄内町の取組として設定した全46項目の平均点（「満足度」3.14点、「重視度」3.59点）です。）



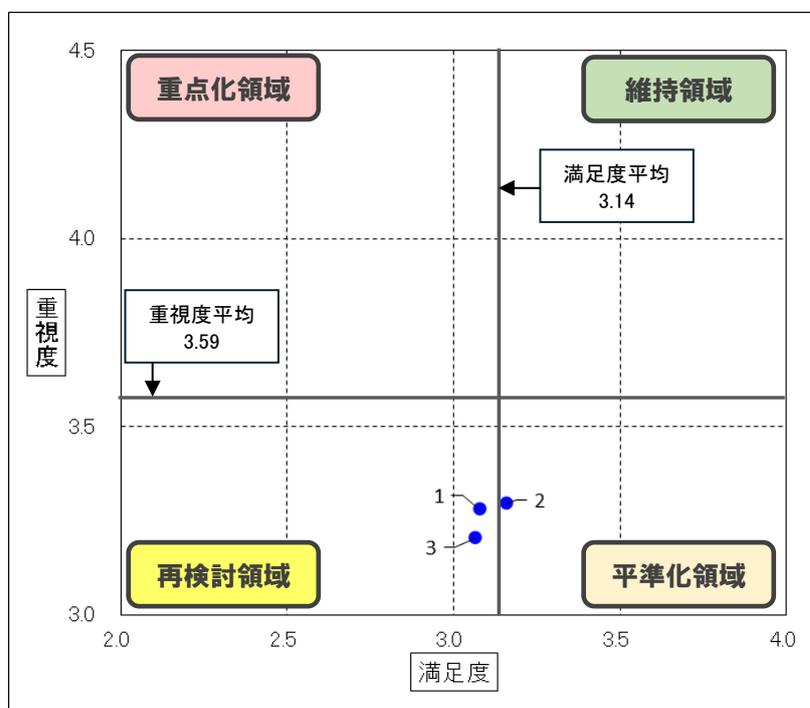
## (6)協働・行財政分野

「協働・行財政分野」における3項目の「満足度」と「重視度」の平均点は以下のとおりです。

単位：点

項目	満足度 平均点	重視度 平均点
①男女共同参画	3.08	3.28
②コミュニティ活動	3.16	3.30
③町民参画・協働	3.06	3.21
「協働・行財政分野」平均点	3.10	3.26

また、各項目の「満足度」と「重視度」の平均点をクロスした結果をマトリックス図で示すと、以下のとおりとなります。（※図中の平均点ラインは、庄内町の取組として設定した全46項目の平均点（「満足度」3.14点、「重視度」3.59点）です。）



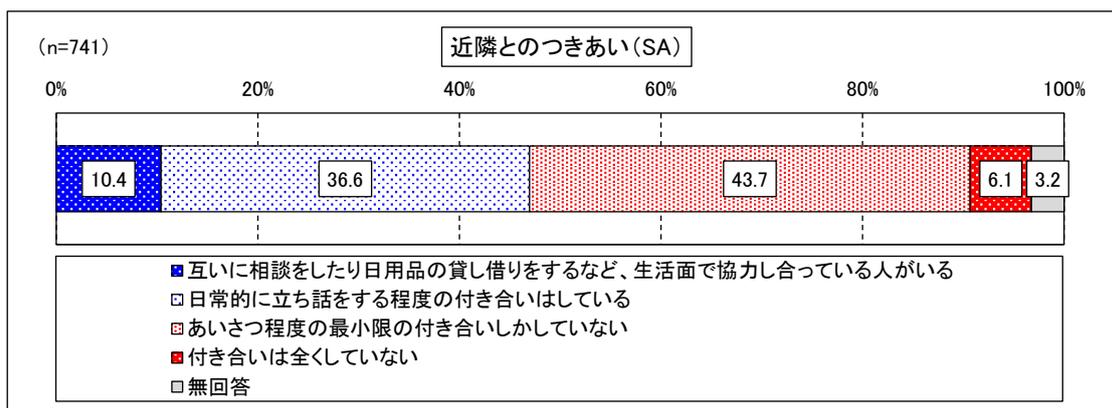
## 5 自身の活動等について

【問 13】 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。（1つに○印）

〔全体〕

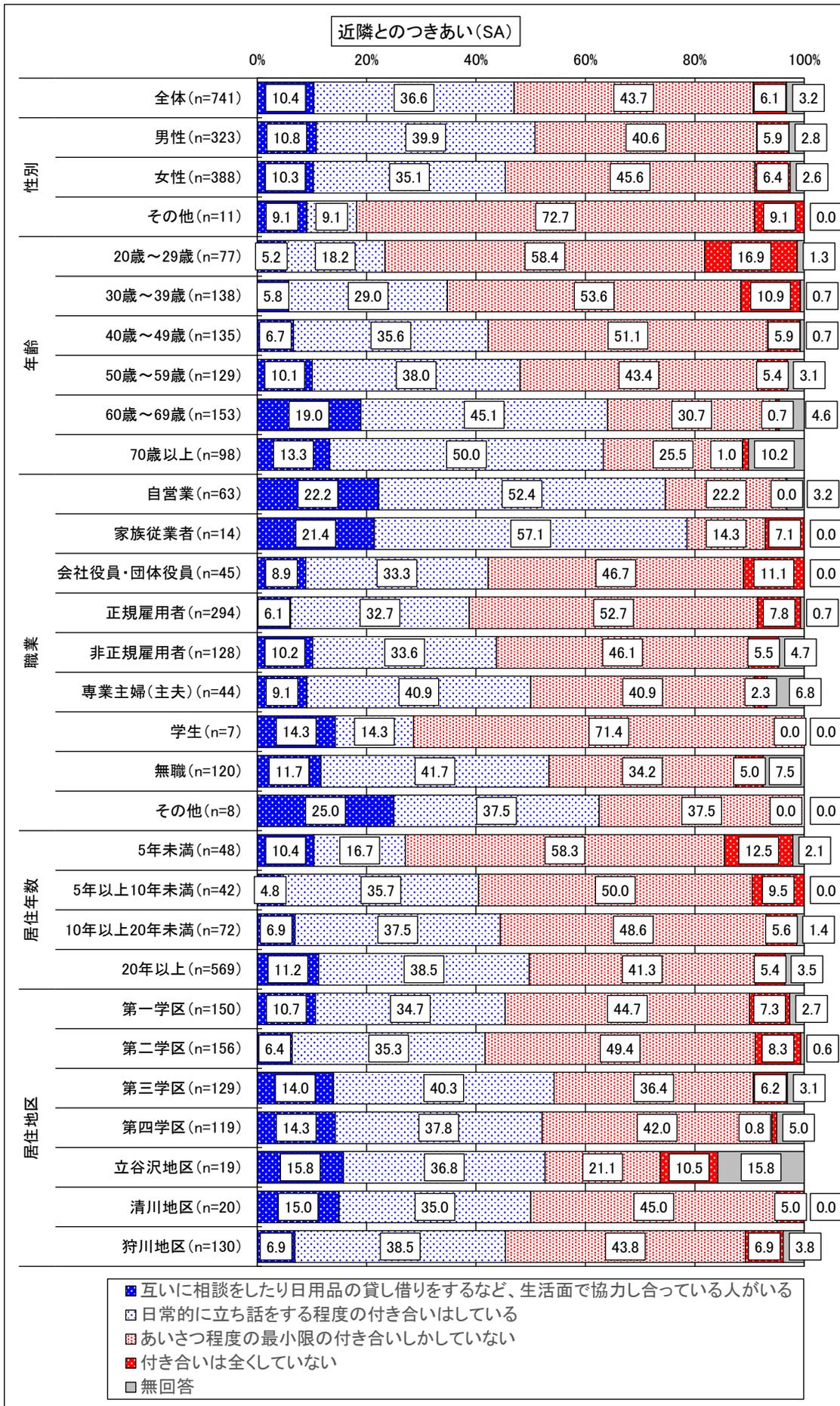
近隣の方とどのようなつきあいをしているかお聞きしたところ、「互いに相談をしたり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている人がいる」が 10.4%、「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」が 36.6%、「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」が 43.7%、「付き合いは全くしていない」が 6.1%でした。

なお、「無回答」は 3.2%となっています。



〔属性別〕

近隣の方とどのようなつきあいをしているかを属性別にみると、次頁のとおりとなっています。

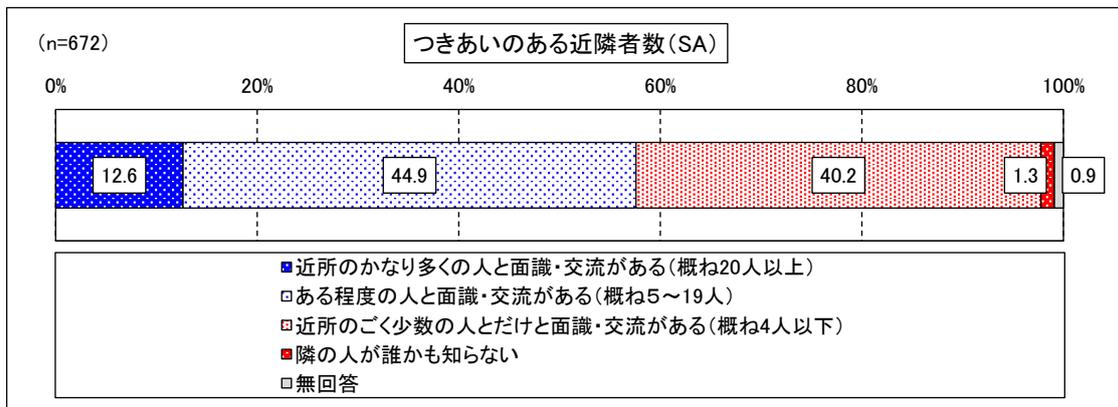


【問13】-2 【問13】で、「1」～「3」に○をつけた方にうかがいます。つきあっているご近所の方の数はどの程度ですか。(1つに○印)

〔全体〕

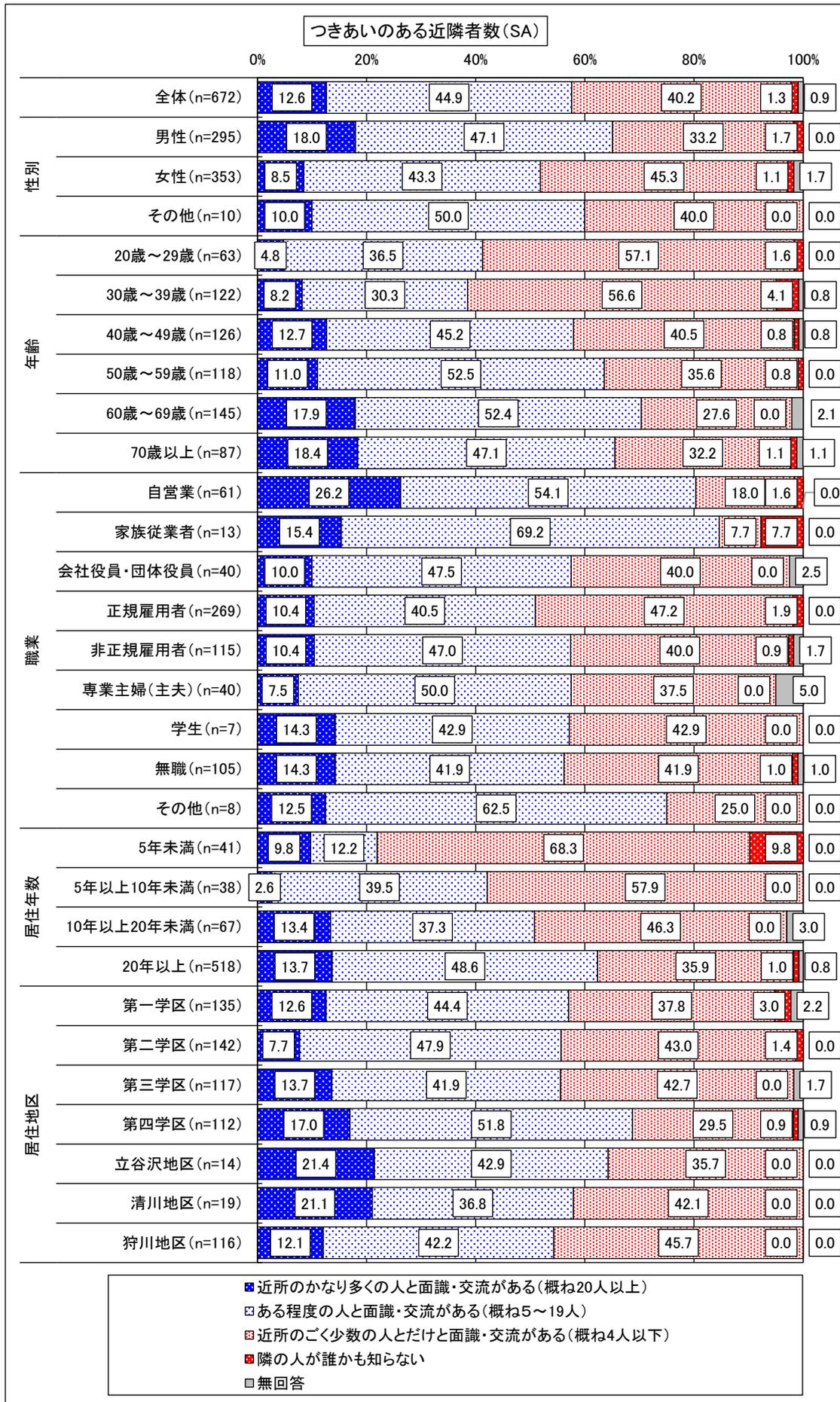
前問で多少なりともつきあいをしていると回答した人(672人)に、つきあっているご近所の方の数をお聞きしたところ、「近所はかなり多くの人と面識・交流がある(概ね20人以上)」が12.6%、「ある程度の人と面識・交流がある(概ね5～19人)」が44.9%、「近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある(概ね4人以下)」が40.2%、「隣の人が誰かも知らない」が1.3%となっています。

なお、無回答は0.9%となっています。



〔属性別〕

近隣の方と多少なりともつきあいをしていると回答した人を属性別にみると、次頁のとおりとなっています。



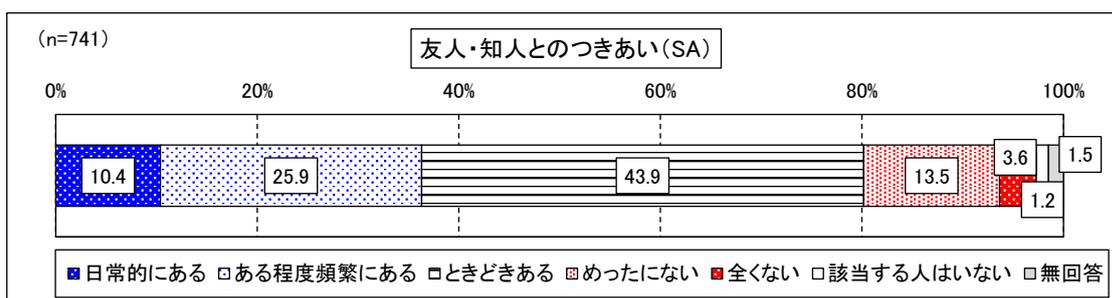
【問 14】あなたは、「①友人・知人」、「②親戚・親類」とどのようなおつきあいをされていますか。(各項目それぞれ1つに○印)

### ①友人・知人

〔全体〕

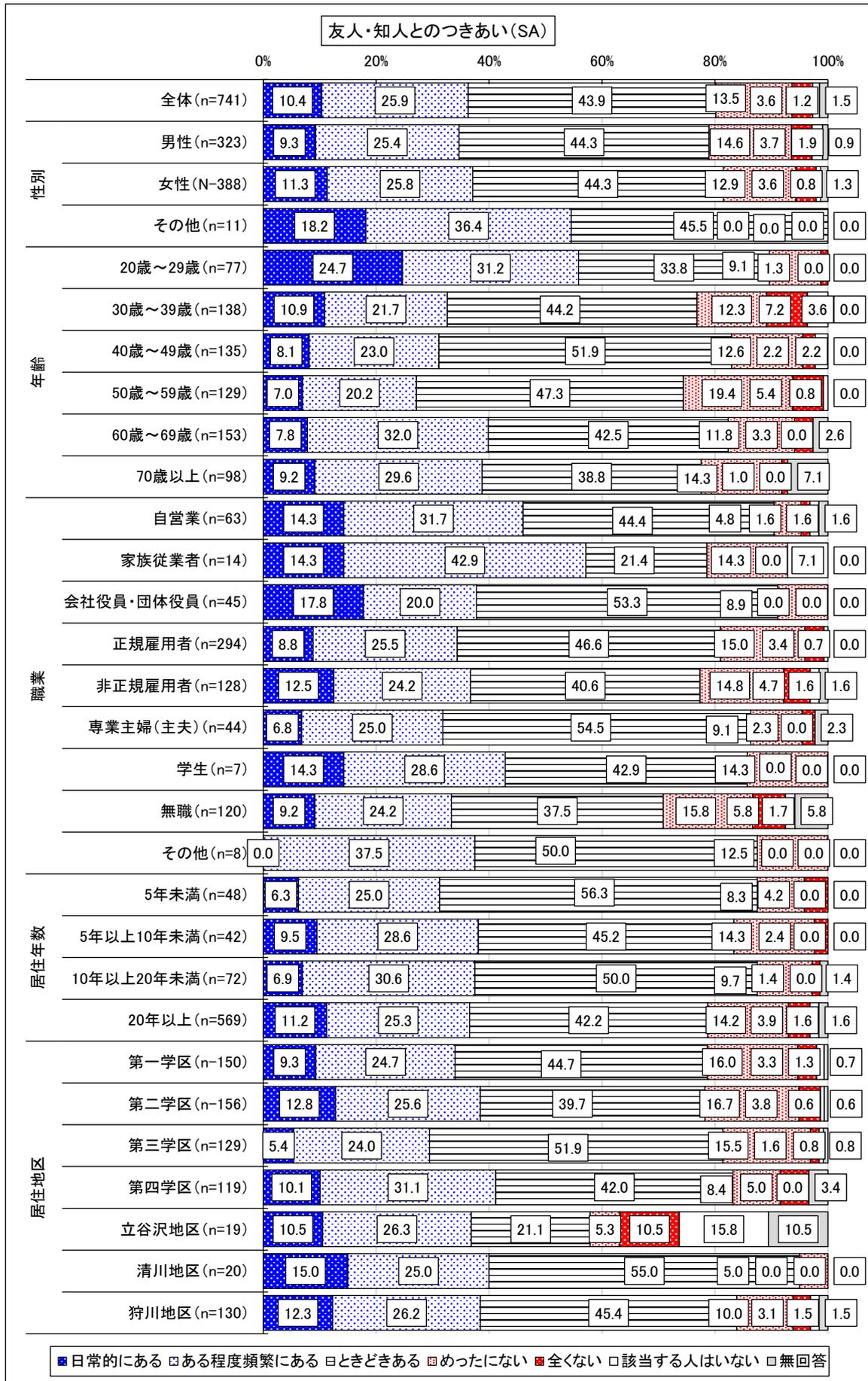
「友人・知人」とのおつきあいについてお聞きしたところ、「日常的にある」が10.4%、「ある程度頻繁にある」が25.9%、「ときどきある」が43.9%、「めったにない」が13.5%、「全くない」が3.6%、「該当する人はいない」が1.2%でした。

なお、「無回答」は1.5%となっています。



〔属性別〕

「友人・知人」とのおつきあいについて属性別にみると、次頁のとおりとなっています。

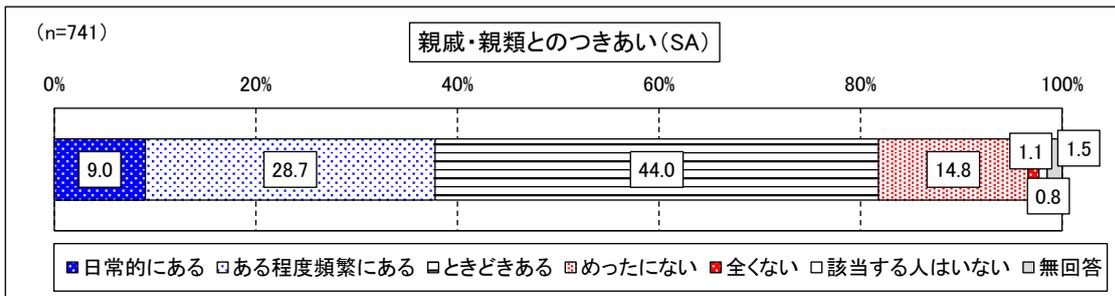


## ②親戚・親類

### 〔全体〕

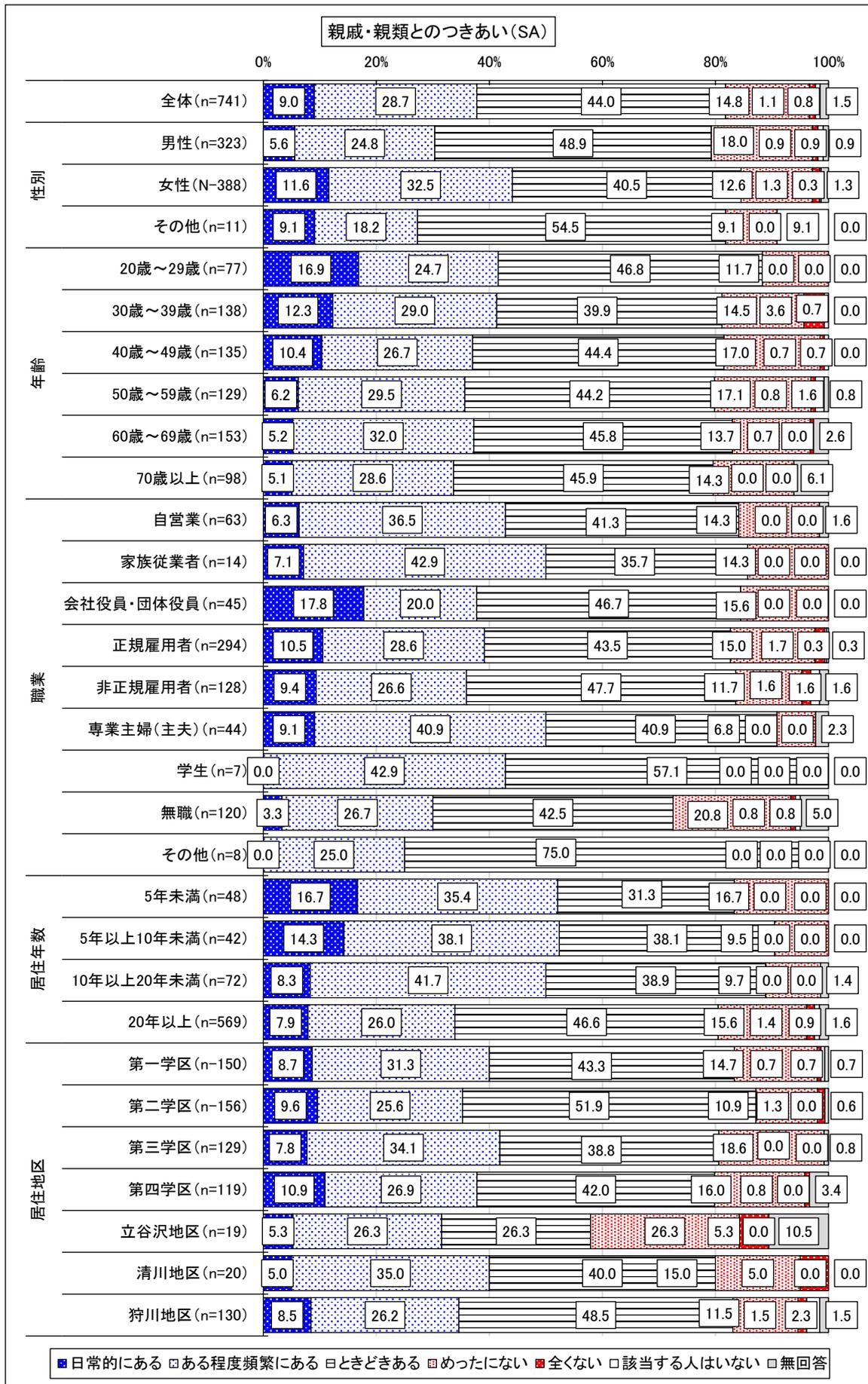
「親類・親戚」とのつきあいについてお聞きしたところ、「日常的にある」が9.0%、「ある程度頻繁にある」が28.7%、「ときどきある」が44.0%、「めったにない」が14.8%、「全くない」が1.1%、「該当する人はいない」が0.8%でした。

なお、「無回答」は1.5%となっています。



### 〔属性別〕

「親類・親戚」とのつきあいについて属性別にみると、次頁のとおりとなっています。



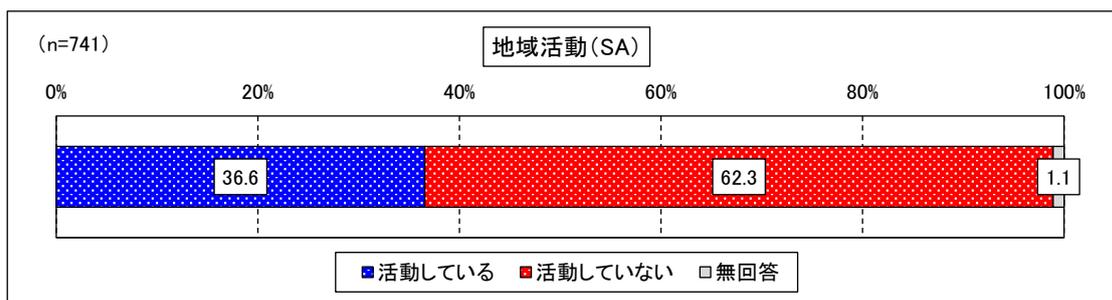
【問 15】あなたは現在、「①地域活動」、「②スポーツ・趣味・娯楽活動」、「③ボランティア・NPO・町民活動」をされていますか。(各項目それぞれ1つに○印)

### ①地域活動

〔全体〕

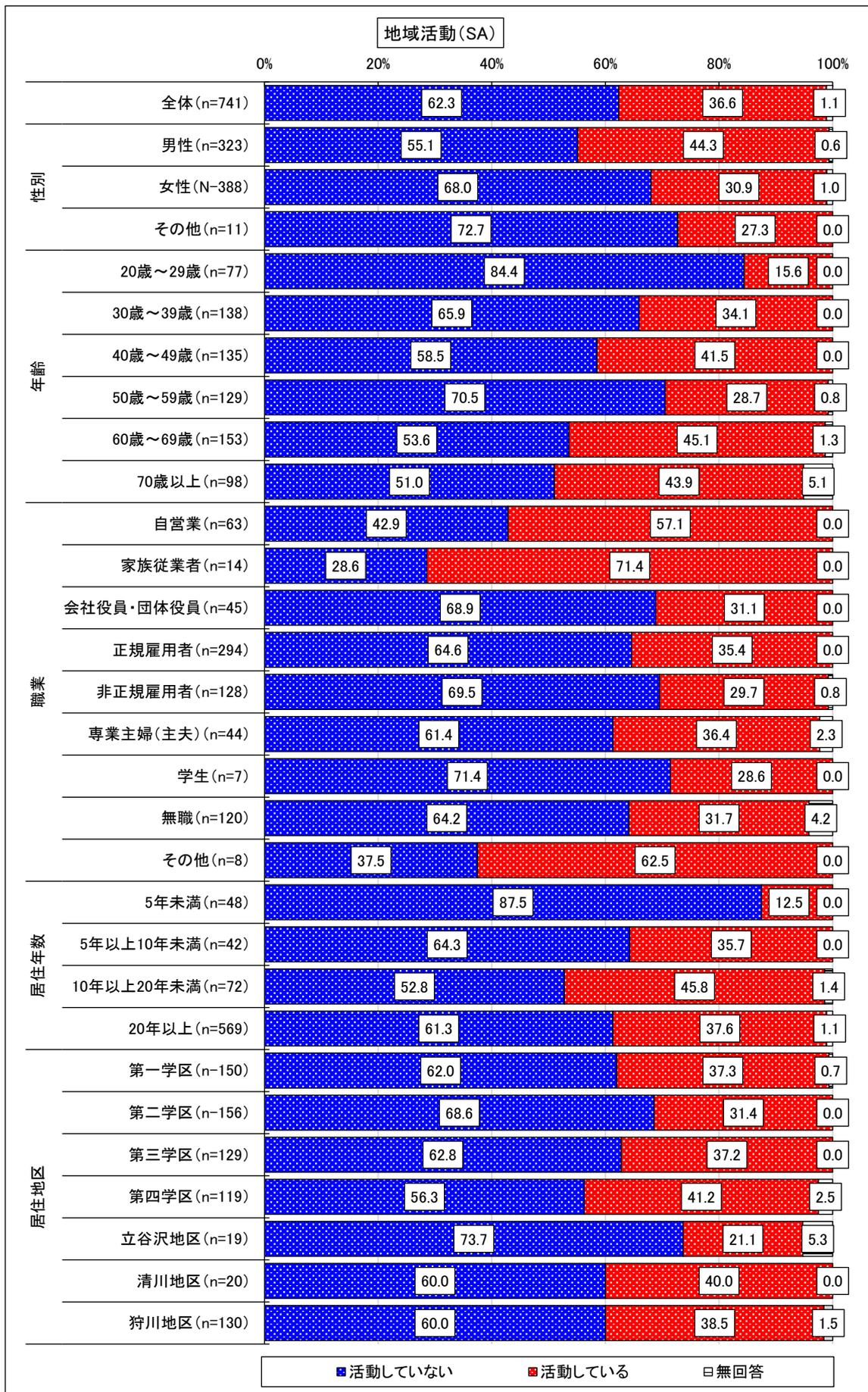
「地域活動」をしているかお聞きしたところ、「活動している」は36.6%、「活動していない」は62.3%でした。

なお、「無回答」は1.1%となっています。



〔属性別〕

「地域活動」をしているか属性別にみると、次頁のとおりとなっています。

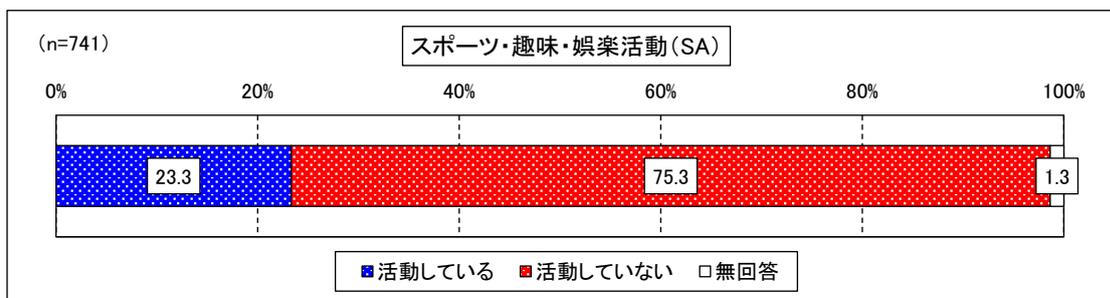


## ②スポーツ・趣味・娯楽活動

〔全体〕

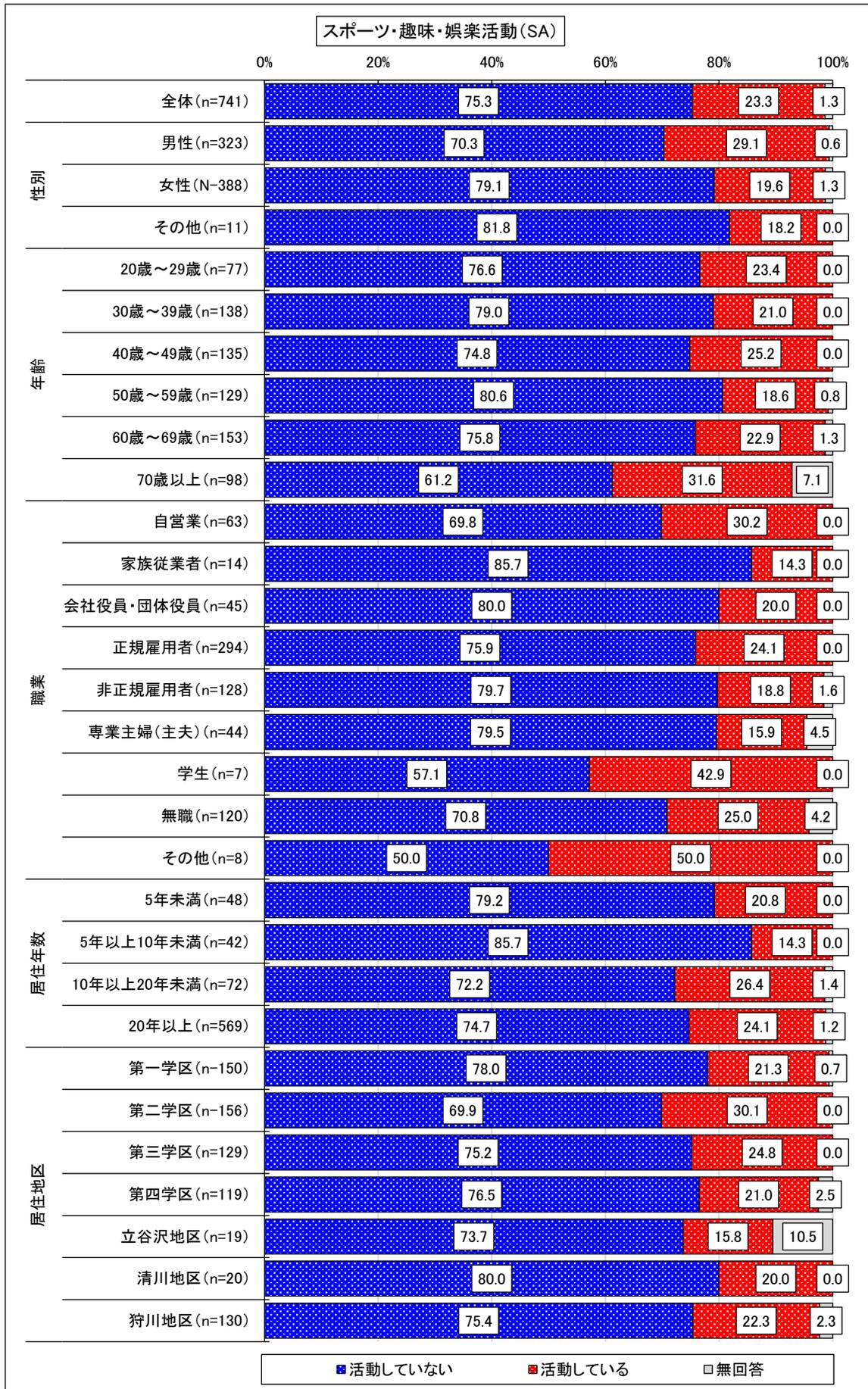
「スポーツ・趣味・娯楽活動」をしているかお聞きしたところ、「活動している」は23.3%、「活動していない」は75.3%でした。

なお、「無回答」は1.3%となっています。



〔属性別〕

「スポーツ・趣味・娯楽活動」をしているか属性別にみると、次頁のとおりとなっています。

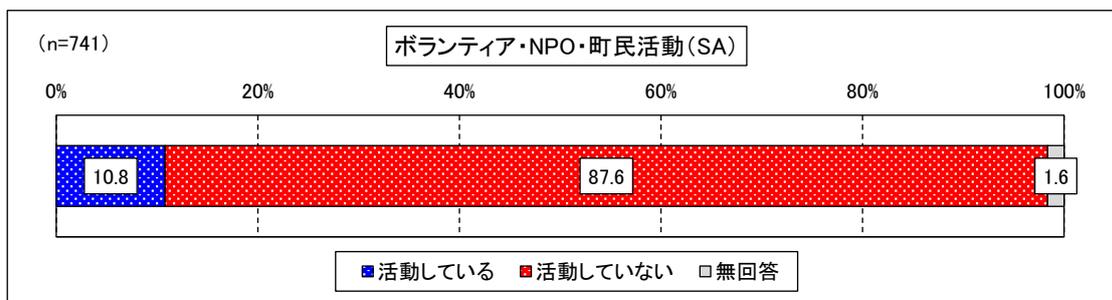


### ③ボランティア・NPO・町民活動

〔全体〕

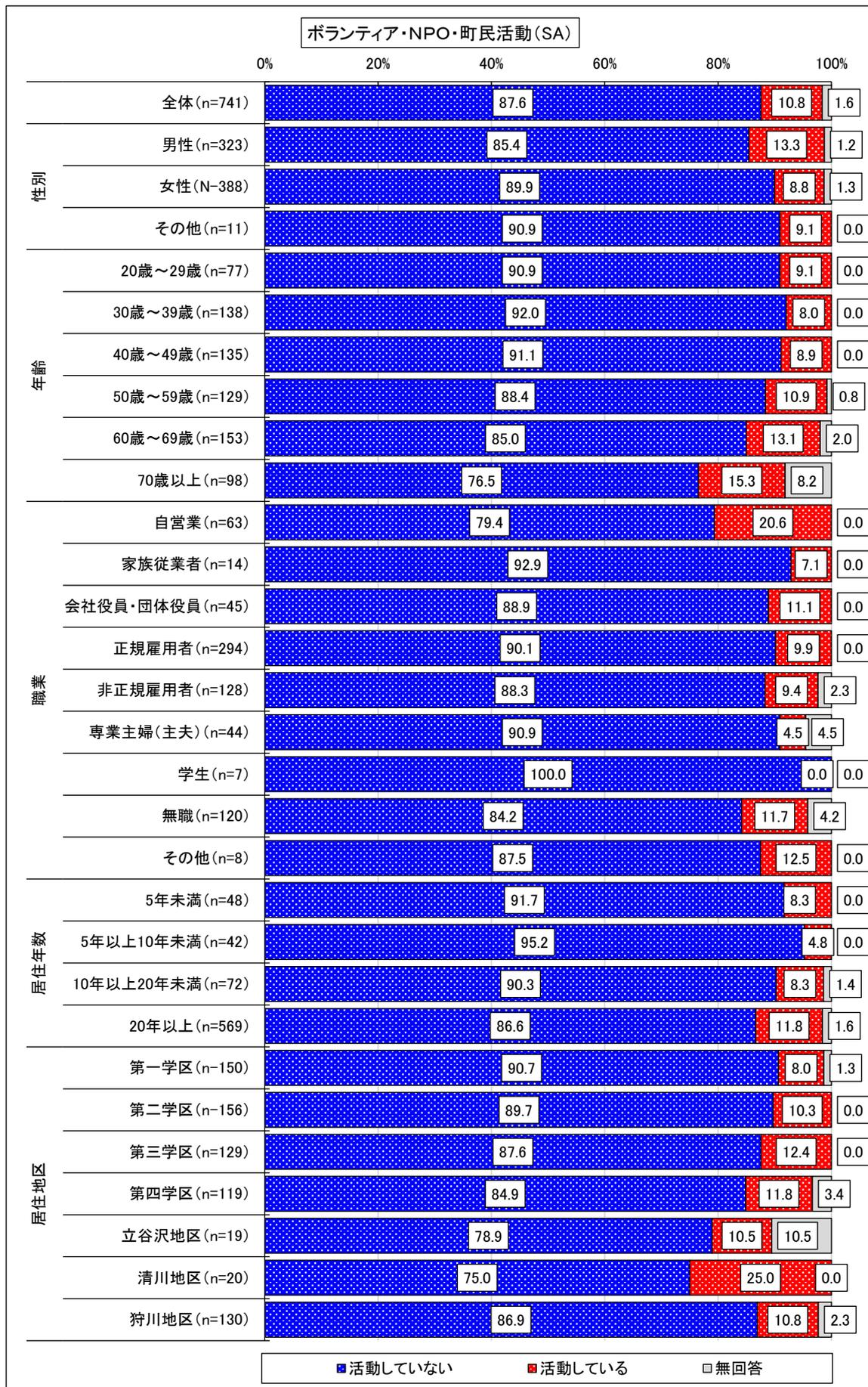
「ボランティア・NPO・町民活動」をしているかお聞きしたところ、「活動している」は10.8%、「活動していない」は87.6%でした。

なお、「無回答」は1.6%となっています。



〔属性別〕

「ボランティア・NPO・町民活動」をしているか属性別にみると、次頁のとおりとなっています。



【問 16】 あなたがお住まいの地域との関係についておたずねします。以下の、①～③の各項目について、あなたの実感に最も近いものはどれですか。（各項目それぞれ1つに○印）

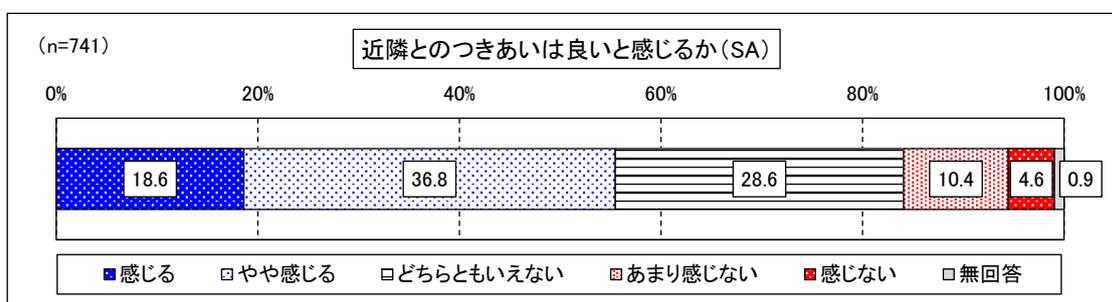
①近隣とのつきあい

〔全体〕

「近隣とのつきあい」は良いと感じるかお聞きしたところ、「感じる」は18.6%、「やや感じる」は36.8%となっており、「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”は55.4%でした。

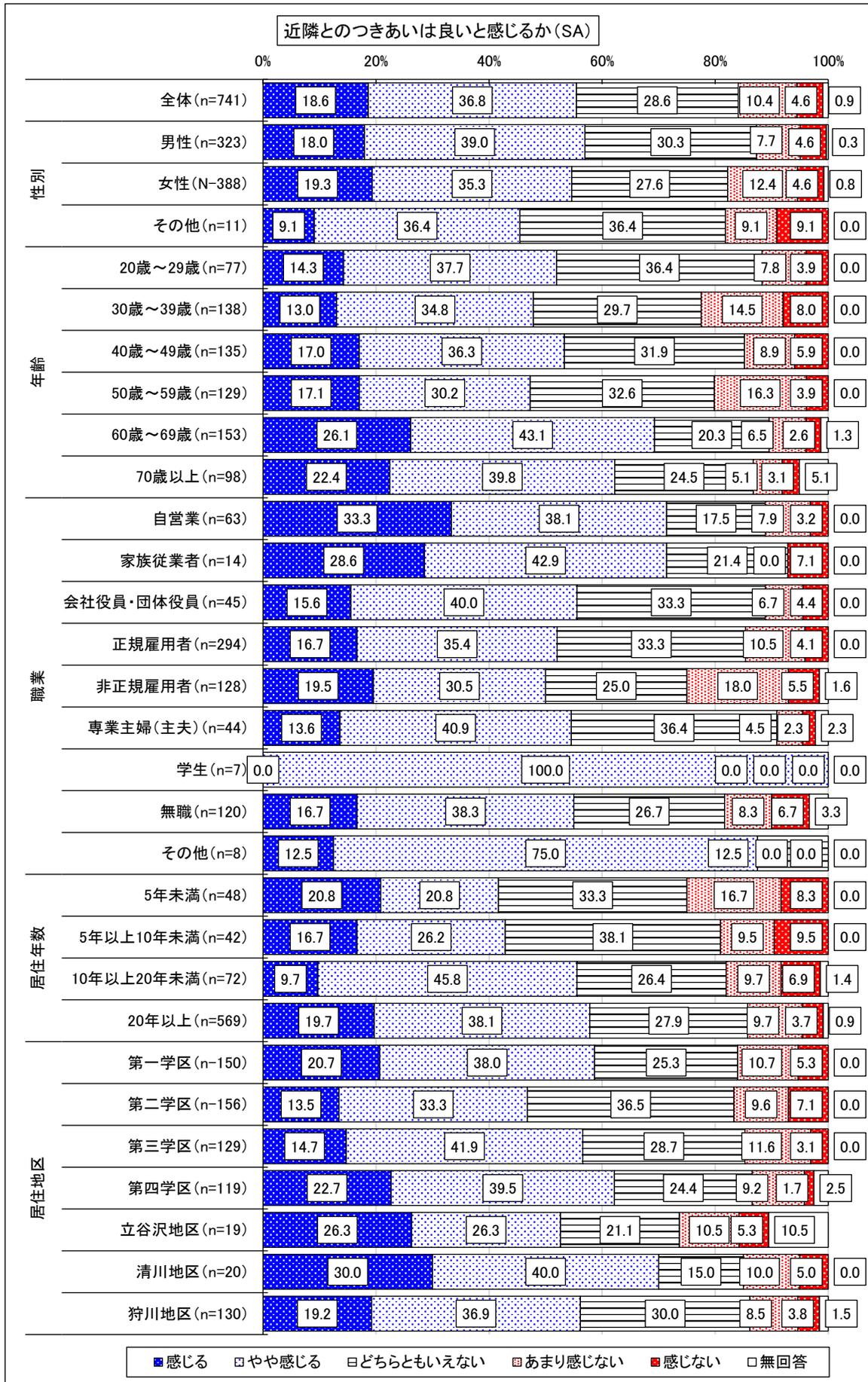
一方、「あまり感じない」は10.4%、「感じない」は4.6%となっており、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた“感じない”は15.0%でした。

なお、「どちらともいえない」は28.6%、「無回答」は0.9%となっています。



〔属性別〕

「近隣とのつきあい」は良いと感じるかを属性別にみると、次頁のとおりとなっています。



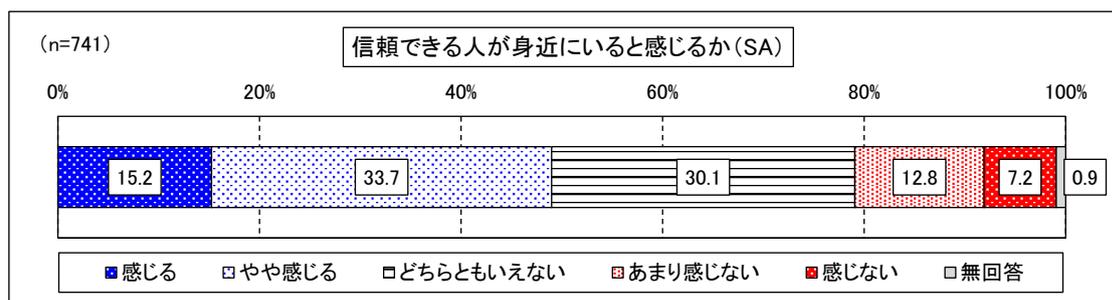
## ②信頼できる人の身近な存在

〔全体〕

「信頼できる人」が身近にいると感じるかお聞きしたところ、「感じる」は15.2%、「やや感じる」は33.7%となっており、「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”は48.9%でした。

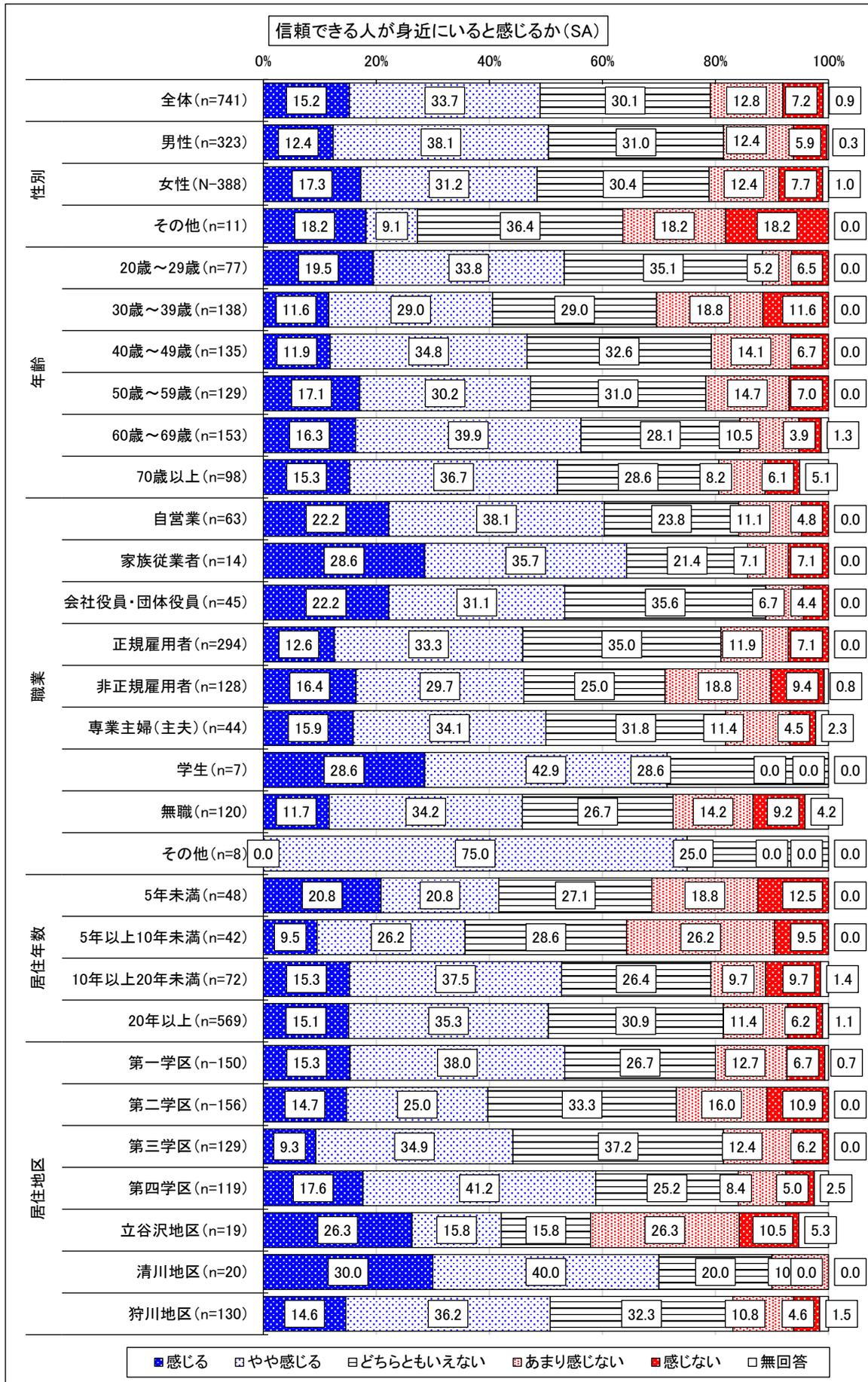
一方、「あまり感じない」は12.8%、「感じない」は7.2%となっており、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた“感じない”は20.0%でした。

なお、「どちらともいえない」は30.1%、「無回答」は0.9%となっています。



〔属性別〕

「信頼できる人」が身近にいると感じるかを属性別にみると、次頁のとおりとなっています。



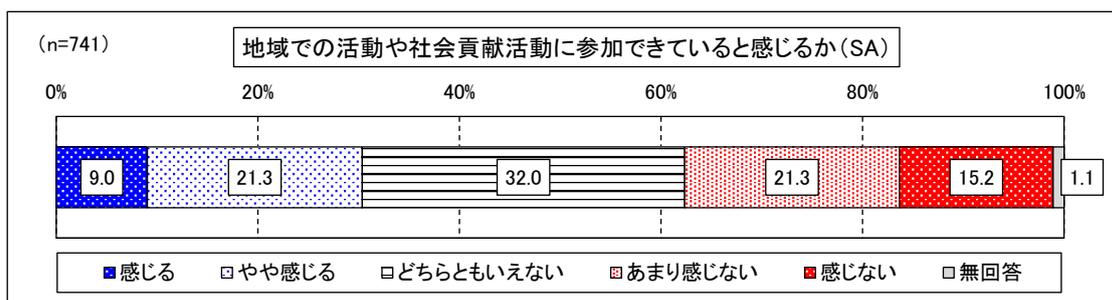
### ③地域での活動や社会貢献活動への参加

〔全体〕

「地域での活動や社会貢献活動」に参加できていると感じるかお聞きしたところ、「感じる」は9.0%、「やや感じる」は21.3%となっており、「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”は30.3%でした。

一方、「あまり感じない」は21.3%、「感じない」は15.2%となっており、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた“感じない”は36.5%でした。

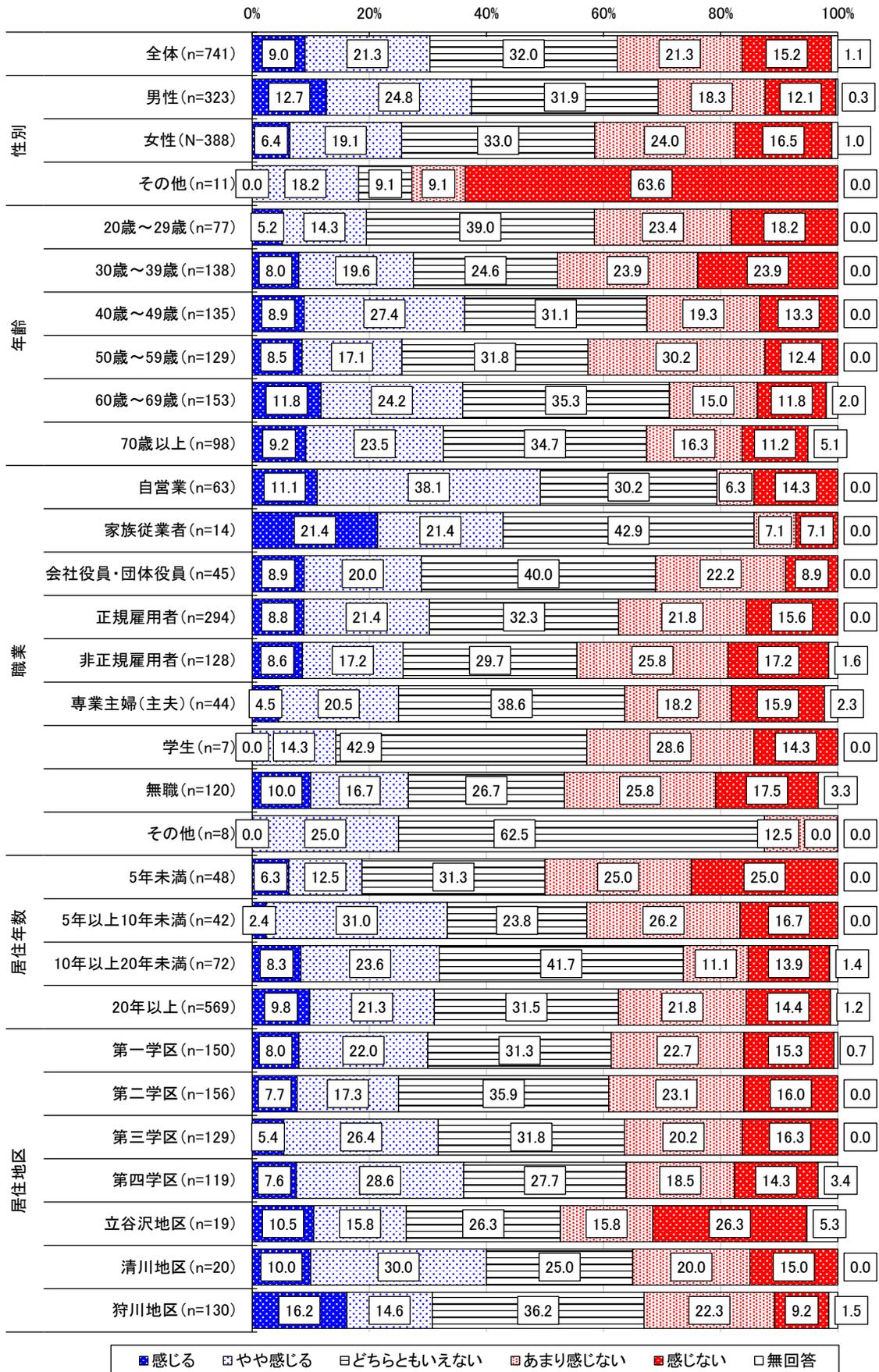
なお、「どちらともいえない」は32.0%、「無回答」は1.1%となっています。



〔属性別〕

「地域での活動や社会貢献活動」に参加できていると感じるかを属性別にみると、次頁のとおりとなっています。

地域での活動や社会貢献活動に参加できていると感じるか(SA)



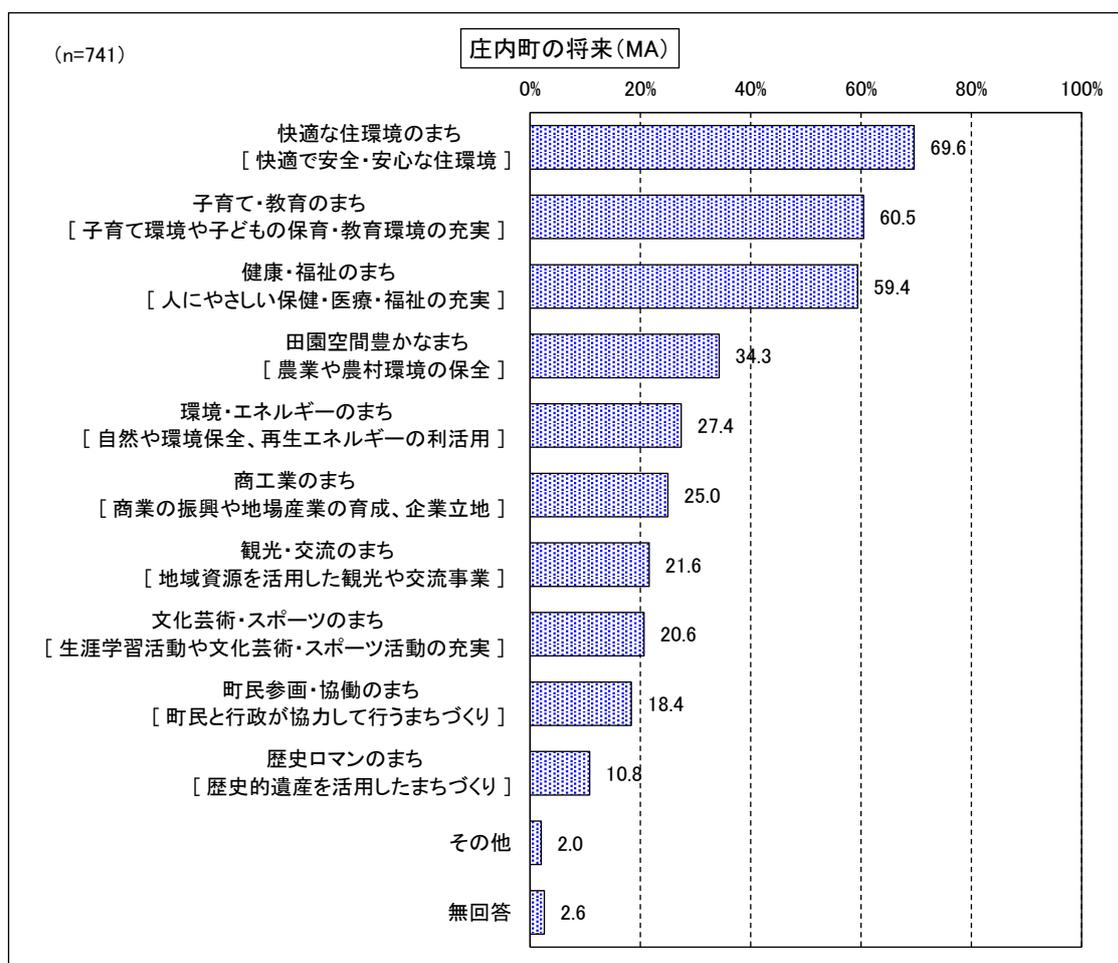
## 6 庄内町の今後について

【問 17】 あなたは、今後のまちづくりにおいて、庄内町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。(あてはまるものすべてに○印)

〔全体〕

庄内町をどのような特色のあるまちにすべきかについてお聞きしたところ、「快適な住環境のまち[ 快適で安全・安心な住環境 ]」への回答割合が最も高く 69.6%となっています。

次いで、「子育て・教育のまち[ 子育て環境や子どもの保育・教育環境の充実 ]」が 60.5%、「健康・福祉のまち[ 人にやさしい保健・医療・福祉の充実 ]」が 59.4%、「田園空間豊かなまち[ 農業や農村環境の保全 ]」が 34.3%と続いています。



〔属性別〕

①性別

性別では、男女ともに「快適な住環境のまち [ 快適で安全・安心な住環境 ]」への回答割合が最も高くなっています。

次いで、「男性」では「子育て・教育のまち [ 子育て環境や子どもの保育・教育環境の充実 ]」への回答割合が、「女性」では「健康・福祉のまち [ 人にやさしい保健・医療・福祉の充実 ]」への回答割合が続いています。

なお、「その他」は、回答者数が少ないため参考値としています。

	快適な住環境のまち 「快適で安全・安心な住環境」	環境・エネルギーのまち 「自然や環境保全、再生エネルギーの活用」	健康・福祉のまち 「人にやさしい保健・医療・福祉の充実」	子育て・教育のまち 「子育て環境や子どもの保育・教育環境の充実」	田園空間豊かなまち 「農業や農村環境の保全」	商工業のまち 「商業の振興や地場産業の育成、企業立地」
全体 (n=741)	69.6	27.4	59.4	60.5	34.3	25.0
男性 (n=323)	69.0	29.1	47.7	54.8	35.0	23.8
女性 (N=388)	70.4	26.0	69.1	66.0	34.0	25.3
その他 (n=11)	72.7	45.5	63.6	63.6	36.4	36.4
	観光・交流のまち 「地域資源を活用した観光や交流事業」	文化芸術・スポーツのまち 「生涯学習活動や文化芸術・スポーツ活動の充実」	歴史ロマンのまち 「歴史的遺産を活用したまちづくり」	町民参画・協働のまち 「町民と行政が協力して行うまちづくり」	その他	無回答
全体 (n=741)	21.6	20.6	10.8	18.4	2.0	2.6
男性 (n=323)	20.7	22.6	11.1	18.9	2.5	3.1
女性 (N=388)	22.2	19.1	10.3	17.5	1.3	1.3
その他 (n=11)	27.3	27.3	9.1	9.1	18.2	0.0

②年齢

年齢別では、「20歳～39歳」では「子育て・教育のまち [子育て環境や子どもの保育・教育環境の充実]」への回答割合が最も高くなっており、「40歳～70歳以上」では「快適な住環境のまち [快適で安全・安心な住環境]」への回答割合が最も高くなっています。

	快適な住環境のまち 「快適で安全・安心な住環境」	環境・エネルギーのまち 「自然や環境保全、再生エネルギーの活用」	健康・福祉のまち 「人にやさしい保健・医療・福祉の充実」	子育て・教育のまち 「子育て環境や子どもの保育・教育環境の充実」	田園空間豊かなまち 「農業や農村環境の保全」	商工業のまち 「商業の振興や地場産業の育成、企業立地」
全体 (n=741)	69.6	27.4	59.4	60.5	34.3	25.0
20歳～29歳 (n=77)	66.2	20.8	48.1	70.1	26.0	24.7
30歳～39歳 (n=138)	62.3	23.9	47.8	77.5	31.2	25.4
40歳～49歳 (n=135)	71.1	26.7	60.0	62.2	34.8	23.7
50歳～59歳 (n=129)	76.7	26.4	62.0	51.9	34.9	27.1
60歳～69歳 (n=153)	70.6	32.0	67.3	51.0	37.9	22.2
70歳以上 (n=98)	72.4	33.7	70.4	54.1	36.7	27.6
	観光・交流のまち 「地域資源を活用した観光や交流事業」	文化芸術・スポーツのまち 「生涯学習活動や文化芸術・スポーツ活動の充実」	歴史ロマンのまち 「歴史的遺産を活用したまちづくり」	町民参画・協働のまち 「町民と行政が協力して行うまちづくり」	その他	無回答
全体 (n=741)	21.6	20.6	10.8	18.4	2.0	2.6
20歳～29歳 (n=77)	22.1	18.2	7.8	15.6	1.3	1.3
30歳～39歳 (n=138)	21.0	15.9	15.2	13.8	1.4	0.7
40歳～49歳 (n=135)	25.9	25.2	8.9	11.1	1.5	0.0
50歳～59歳 (n=129)	20.2	17.1	9.3	16.3	2.3	3.1
60歳～69歳 (n=153)	18.3	22.9	9.8	22.9	2.6	3.3
70歳以上 (n=98)	20.4	25.5	13.3	31.6	1.0	6.1

### ③居住地区

居住地区別では、「第三学区」では「子育て・教育のまち [子育て環境や子どもの保育・教育環境の充実]」への回答割合が最も高くなっており、それ以外の居住地区では「快適な住環境のまち [快適で安全・安心な住環境]」への回答割合が最も高くなっています。

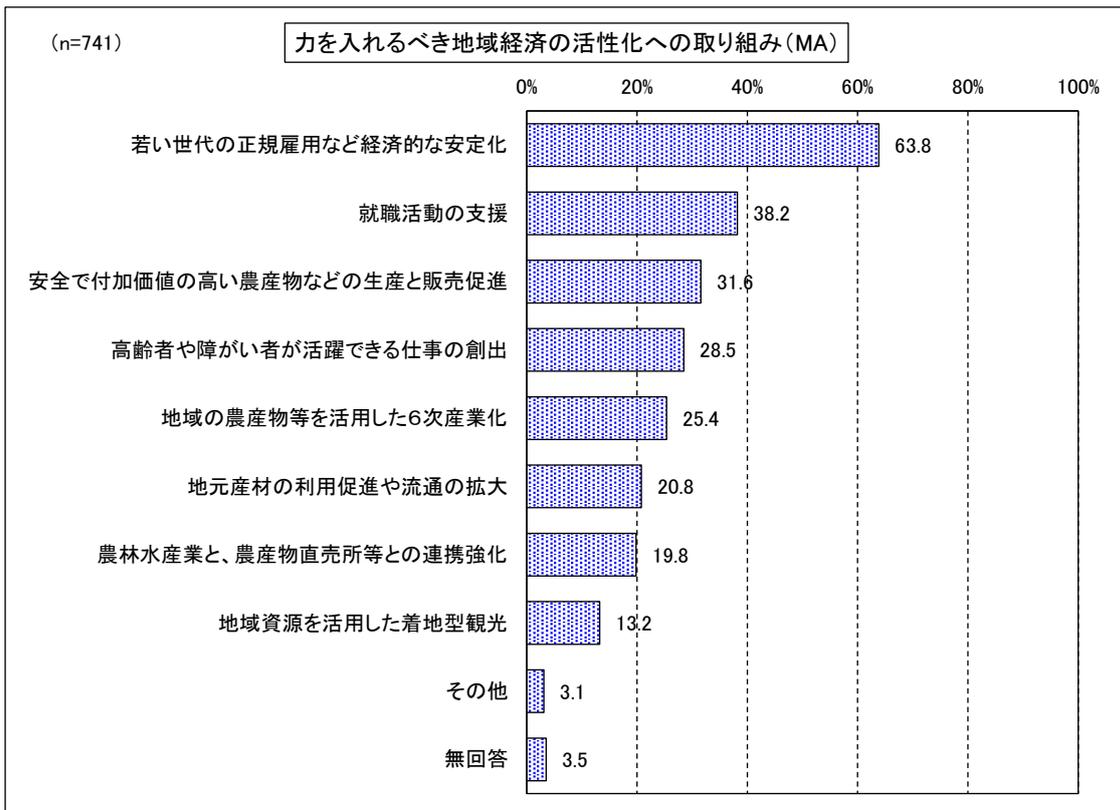
	快適な住環境のまち 「快適で安全・安心な住環境」	環境・エネルギーのまち 「自然や環境保全、再生エネルギーの活用」	健康・福祉のまち 「人にやさしい保健・医療・福祉の充実」	子育て・教育のまち 「子育て環境や子どもの保育・教育環境の充実」	田園空間豊かなまち 「農業や農村環境の保全」	商工業のまち 「商業の振興や地場産業の育成、企業立地」
全体 (n=741)	69.6	27.4	59.4	60.5	34.3	25.0
第一学区 (n=150)	65.3	21.3	62.0	58.7	32.7	26.7
第二学区 (n=156)	75.0	25.0	62.8	62.2	31.4	27.6
第三学区 (n=129)	69.8	21.7	62.8	74.4	32.6	24.0
第四学区 (n=119)	66.4	31.9	58.8	63.0	47.1	24.4
立谷沢地区 (n=19)	73.7	31.6	42.1	42.1	52.6	10.5
清川地区 (n=20)	75.0	35.0	65.0	50.0	20.0	30.0
狩川地区 (n=130)	70.8	36.2	53.1	51.5	29.2	22.3
	観光・交流のまち 「地域資源を活用した観光や交流事業」	文化芸術・スポーツのまち 「生涯学習活動や文化芸術・スポーツ活動の充実」	歴史ロマンのまち 「歴史的遺産を活用したまちづくり」	町民参画・協働のまち 「町民と行政が協力して行うまちづくり」	その他	無回答
全体 (n=741)	21.6	20.6	10.8	18.4	2.0	2.6
第一学区 (n=150)	23.3	20.7	8.7	16.0	2.0	2.7
第二学区 (n=156)	20.5	23.1	8.3	17.3	1.3	1.3
第三学区 (n=129)	17.8	22.5	6.2	20.2	1.6	1.6
第四学区 (n=119)	16.0	18.5	11.8	19.3	2.5	1.7
立谷沢地区 (n=19)	21.1	15.8	15.8	21.1	10.5	5.3
清川地区 (n=20)	35.0	10.0	45.0	25.0	5.0	0.0
狩川地区 (n=130)	26.9	20.8	13.1	16.9	0.8	3.8

【問 18】 地域経済の活性化に向けて、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。  
 (あてはまるものすべてに○印)

〔全体〕

力を入れるべき地域経済の活性化への取り組みについてお聞きしたところ、「若い世代の正規雇用など経済的な安定化」への回答割合が最も高く 63.8%となっています。

次いで、「就職活動の支援」が 38.2%、「安全で付加価値の高い農産物などの生産と販売促進」が 31.6%、「高齢者や障がい者が活躍できる仕事の創出」が 28.5%、「地域の農産物等を活用した6次産業化」が 25.4%、「地元産材の利用促進や流通の拡大」が 20.8%と続いています。



〔属性別〕

①性別

性別では、男女ともに「若い世代の正規雇用など経済的な安定化」への回答割合が最も高くなっており、次いで、「就職活動の支援」への回答割合が続いています。

なお、「その他」は、回答者数が少ないため参考値としています。

	就職活動の支援	若い世代の正規雇用など経済的な安定化	安全で付加価値の高い農産物などの生産と販売促進	6次産業化	地域の農産物等を活用した	観光	地域資源を活用した着地型の拡大	地元産材の利用促進や流通の拡大	農林水産業と、農産物直売所等との連携強化	高齢者や障がい者が活躍できる仕事の創出
全体 (n=741)	38.2	63.8	31.6	25.4	13.2	20.8	19.8	28.5		
男性 (n=323)	37.5	61.3	30.3	24.8	13.0	18.3	19.5	23.8		
女性 (N=388)	39.9	66.8	32.5	24.7	12.9	21.1	19.8	30.9		
その他 (n=11)	18.2	54.5	18.2	36.4	18.2	27.3	9.1	27.3		

	その他	無回答
全体 (n=741)	3.1	3.5
男性 (n=323)	4.0	2.5
女性 (N=388)	2.6	3.4
その他 (n=11)	0.0	18.2

②年齢

年齢別では、各世代ともに「若い世代の正規雇用など経済的な安定化」への回答割合が最も高くなっており、次いで、「就職活動の支援」への回答割合が続いています。

	就職活動の支援	若い世代の正規雇用など経済的な安定化	安全で付加価値の高い農産物などの生産と販売促進	6次産業化	地域の農産物等を活用した観光	地域資源を活用した着地型の拡大	地元産材の利用促進や流通の拡大	農林水産業と、農産物直売所等との連携強化	高齢者や障がい者が活躍できる仕事の創出
全体 (n=741)	38.2	63.8	31.6	25.4	13.2	20.8	19.8	28.5	
20歳～29歳 (n=77)	39.0	74.0	24.7	16.9	6.5	11.7	9.1	18.2	
30歳～39歳 (n=138)	36.2	63.8	25.4	21.7	10.1	18.8	14.5	16.7	
40歳～49歳 (n=135)	41.5	57.8	28.9	25.2	14.1	19.3	22.2	27.4	
50歳～59歳 (n=129)	39.5	62.0	27.9	21.7	14.7	21.7	16.3	32.6	
60歳～69歳 (n=153)	35.9	60.1	35.3	26.8	15.7	22.9	24.2	34.0	
70歳以上 (n=98)	37.8	72.4	45.9	38.8	15.3	25.5	27.6	36.7	

	その他	無回答
全体 (n=741)	3.1	3.5
20歳～29歳 (n=77)	3.9	1.3
30歳～39歳 (n=138)	2.2	2.2
40歳～49歳 (n=135)	3.7	1.5
50歳～59歳 (n=129)	3.9	3.9
60歳～69歳 (n=153)	2.6	4.6
70歳以上 (n=98)	2.0	7.1

### ③居住地区

居住地区別では、各地区ともに「若い世代の正規雇用など経済的な安定化」への回答割合が最も高くなっています。

次いで、「第二学区」では「安全で付加価値の高い農産物などの生産と販売促進」への回答割合が続いていますが、その他の居住地区では「就職活動の支援」への回答割合が続いています。

なお、「第四学区」では「安全で付加価値の高い農産物などの生産と販売促進」への回答割合も高く、「立谷沢地区」では「安全で付加価値の高い農産物などの生産と販売促進」、「地域の農産物等を活用した6次産業化」及び「農林水産業と、農産物直売所等との連携強化」への回答割合も高くなっています。

	就職活動の支援	若い世代の正規雇用など経済的な安定化	安全で付加価値の高い農産物などの生産と販売促進	6次産業化	地域の農産物等を活用した	観光	地域資源を活用した着地型の拡大	地元産材の利用促進や流通の強化	農林水産業と、農産物直売所等との連携強化	高年齢や障がい者が活躍できる仕事の創出
全体 (n=741)	38.2	63.8	31.6	25.4	13.2	20.8	19.8	28.5		
第一学区 (n=150)	36.0	60.0	24.7	24.0	12.7	21.3	17.3	30.7		
第二学区 (n=156)	32.1	68.6	35.9	25.0	12.8	25.0	17.3	31.4		
第三学区 (n=129)	44.2	68.2	31.0	27.9	8.5	20.9	22.5	29.5		
第四学区 (n=119)	41.2	63.0	41.2	25.2	11.8	16.0	23.5	26.1		
立谷沢地区 (n=19)	26.3	47.4	26.3	26.3	15.8	10.5	26.3	15.8		
清川地区 (n=20)	35.0	50.0	20.0	30.0	20.0	15.0	25.0	30.0		
狩川地区 (n=130)	41.5	63.1	27.7	23.8	18.5	18.5	16.2	20.8		

	その他	無回答
全体 (n=741)	3.1	3.5
第一学区 (n=150)	3.3	4.7
第二学区 (n=156)	1.9	2.6
第三学区 (n=129)	1.6	1.6
第四学区 (n=119)	3.4	2.5
立谷沢地区 (n=19)	5.3	15.8
清川地区 (n=20)	5.0	5.0
狩川地区 (n=130)	4.6	3.1

【問 19】最後に、あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案などがありましたら、ご記入ください。

〔全体〕

1.第一学区

年齢	性別	意見等
20 歳代	女性	交通網が良くなく、車必須の状況であるため、公共交通機関の充実を計って欲しいです。また、新図書館の雰囲気がとても良いと感じたため、そのままカフェを隣接させ、庄内町民がふらっと集まれる場所になる（町外の人の取り込みも期待できる）と感じました。
20 歳代	女性	小中学校の合併を早めに進めてほしい。ゆっくりできるような飲食店、カフェ等がほしい。低価格帯のスーパーがほしい。駅周辺や商店街をもっと活性化したら、町外から人がくると思う。小さな子どもが遊べる場所を増やして欲しい。
20 歳代	女性	景観の美しさは保っていてほしい。田園風景や建築物など。
20 歳代	女性	住みやすい町にするために、議員の人数を減らすなど検討をしてほしい。町長をはじめとして、努力してほしい。
20 歳代	女性	・小学校へ進学する際に町からランドセルのプレゼントがあると聞きましたが、選べる色を増やしてほしいです。（ピンク、水色など） ・子供が“のびのび”と遊ぶことができる公園の整備をしてほしい。近所の公園は雑草が“大人のひざ丈”まで伸びていて、とてもじゃないですが子供を連れて行けません。 ・保育料（保育園）が酒田市と比べると1万円程お安く、とても助かっています。本当にありがたいです。 ・若い世代でも働らきやすい会社が増えると嬉しいです。
20 歳代	男性	アンケートが長い
30 歳代	女性	若者が魅力的だと思える企業の誘致を行なってほしい。住居環境の面は今のままでも良いと思うので、優良企業が増えれば良いなと思います。
30 歳代	女性	住宅の近くに街灯がなく、地区の方々とも自分達でつけるのは問題ないが助成してくれると助かるよねと話をしています。若い子や高齢者が安全に過ごせるよう、安全な環境整備は必要と考えます。
30 歳代	女性	1 小学区の学童保育所を利便性のある位置に移動して欲しい。冬の除雪を丁寧にして、安全に通行出来るようにして欲しい。
30 歳代	女性	子育て支援の充実。0 歳からの保育料の無料化。
30 歳代	女性	子育てのまちを目指すために、小児科（個人医院）がいくつかあるといいと思った。（内科さんは多いが）子供が産まれたり、子育てするにあたって、手当てが出る時がありありがたいことだが、年収などの区分なく分けへだてなく子供に対して行き渡るようになるといいと思った。
30 歳代	女性	・皮ふ科や耳鼻科がないのが不便。医療を充実してほしい。 ・出産祝いで町から商品券をもらったが、おむつやミルクを買えるドラッグストアが対象外でがっかりした。現金で支給したほうが使いやすい。 ・雨の日でも遊

		べる子ども用の施設があればいいと思う。・第一学区だけ小学校が遠すぎる。学区の見直しをしたほうがいいと思う。
30 歳代	女性	小学校を合併するはなしがありますが、“各学区”があることによるイトコロ（地域の密着や特徴など）もあるので反対です。スポ少も町全体で行っているわけではない団もあり、どのようにするか疑問です。幼稚園の運動着廃止は、経済的な負担をなくすためとのことでしたが、実際は、“汚れていい服”を準備しなければならず、統一されていないため困乱しているように思います。運動着はしょうぶで、よごれもおちやすく、洗たく後もすぐにかわき、とてもいいものだと思います。何より集団としての意識の位置づけにもなります。医療機関が少ないです。余目病院では予約等のしょうかいがないと2000円ほど費用がかかります。婦人科、産科をはじめとした、余目にはない科が多く、近隣に通院するのは大変負担と思っています。特に高齢者は車もない方も多く、家族の送迎がとても大変です。
30 歳代	女性	・第一小学校と余中卒業しましたが、立川地区との合併には反対します。双方の地区にはそれぞれの歴史がありますし、合併に伴っての閉校もストレスを感じる住民も多いのではないかと考えるからです。人が少々すくなくとも行政の方で誘致推進して頂き今までの“余目の良さ”を継承しながらも次世代に向けて更に良い町になればと願います。
30 歳代	女性	町内行事の案内を回覧板ではなくLINEなどアパート在中者にも周知できるようにしてほしい。共働き世帯で核家族でも行事に参加しやすい環境にしてほしい。
30 歳代	女性	素人考えで、検当違いでしたら申し訳ないですが、とにもかくにも若い人20代に住んでもらって、結婚して子どもを産んでもらうことが町の発展につながるはずですので、若い人が住みやすい町づくりを重視していただきたいです。税金の納入においても、世帯納入だけでなく、個別を選択できるようにしてほしいです。年寄りのデリカシーのなさにも嫌気がさします。年齢的にしかたないのもあるでしょうが、不妊治療中の人に子どもはまだか、次は男か女か、「子どもの作り方知らないのか、教えてやるか」と酒の席で言っていた老人もいました。昔はそれでも良かったのですが、きいているこっちが不愉快でした。そんな町に若い人が住みたいと思うかどうか。これまで町を支えてきてくれた人たちなんだろうが、町づくりのガワよりも、内に住む人たちへの“教育”も少し考えていただきたいと思います。
30 歳代	男性	非常に面倒なアンケートだと感じた。入力するのに指も疲れた。途中から考えることを辞め、後半はテキストに回答した。もっと気軽に回答できるものに変えてもらいたい。
30 歳代	男性	今後、人口減少が懸念される中、子育て応援日本一のまちづくりを目指すことは若い世代にとって住みたいと思う町になるものと思います。ランドセル贈呈など、庄内町ならではの長く続く取り組みはぜひ続けてほしいと願います。また、カートソレイユ最上川も町民としてぜひ維持してほしいです。町民料金が設定されていることが嬉しいですし、レンタルのスポーツカートを使ったレースイベント等が開催されることを楽しみにしています。
40 歳代	女性	町医者が少ない。皮膚科、整形外科があれば良いと思う。
40 歳代	女性	町民全体の経済的豊かさが実現できるまちづくりで、町外からの移住者も増えるような政策を実現してほしい

40 歳代	女性	子育て支援、教育環境支援は、公的な責任のもと、ぜひ、子ども目線を 1 番に考え、行っていただきたい。人をつくるのが、将来の希望になると思われる。また、子ども時代だけでなく生涯にわたって、文化、芸術、スポーツ、社会参加など、心豊かに過ごせるモノに触れられる環境が備わっていることは、町の魅力になるのではないかと思う。安心安全な町づくりへのご尽力ありがとうございます。
40 歳代	女性	三川町のような大きな商業施設（イオン）があればよい
40 歳代	女性	地区運動会の見直しをしてほしい。→地区によってあるところとないところがあつていやだ。
40 歳代	女性	庄内町は住みやすく好きですが、町内会での温度差が大きい。行事など、仕事を理由に断ると無視・嫌がらせ、家へ来て文句を言い、参加の強要。年配の方々と考えの差が縮まりません。町内会は任意の団体だという事を周知してほしいです。隣組等、昔ながらの付き合いがあるようですが、〇〇さん家はこの辺のボスだから絶対服従しろ、仕事より町内会が優先だ！など意味がわかりません。嫌がらせが怖くて大人しくしている家庭もあるようです。働く人にとって、私が住んでいる学区の町内会は負担でしかなく、ウツになりそうです。若い人達も将来、いなくなりそうなので、改善してほしいです。町内会を廃止し、民営化してはいかがでしょうか？
40 歳代	女性	いつも大変お世話になっております。課が違うかもしれませんが、庄内町のLINEを使用していて、追加してほしい項目があります。・熱中症警戒アラート庄内町編。環境省のアプリを入れているのですが、酒田、鶴岡と周辺地域の情報でピンポイントの情報がほしいと感じました。よろしくお願ひ致します。・近年暑くなっているので、今年中でなくとも、来年には始動していただけるとありがたいです。
40 歳代	女性	町独自の制度が少ない気がするので、国や県でおこなうあたり前の制度の他に、庄内町民が使いやすいニーズにあった政策をいろんな面で考えてほしい。
40 歳代	女性	余目病院近くの十字路に信号機を設置してほしいです。交通量も多い、見通しが悪い、通学路にもなっていて、子供達も歩くので、安全に歩いていけるよう、お願いします。
40 歳代	男性	人口減少が進むので、余目の街中に住宅開発、道路整備、学校集積、商業施設集積でコンパクトシティ化に特化した政策。
40 歳代	男性	昔子育て日本一目指すとか聞いたが何が日本一なのか分からない。防災放送が、聞こえずらくて意味が無い。設備投資の無駄使いだと思う。災害時の避難先の受け入れ体制や整備がどの程度されているのかが分からなくて安心できない。自分は3人も子供を育てたが、少子化が身近に感じるので小学校とか減る将来が不安でならない。町民が年々減ってきて将来に不安を感じる
50 歳代	女性	道路（歩道等）の街灯が少なく、中学生や高校生の自転車通学では道路が見えづらく、遅い帰宅の時は危険が及びますので、街灯を増やして頂きたいです。先日の大雨では冠水箇所が多く、集落の周辺全てが通行止めになってしまいましたので、そのような大雨時でも排水が追いつくようにして頂けると有り難いです。
50 歳代	女性	なし

50 歳代	女性	アンケート長すぎ
50 歳代	女性	庄内町へ移住して3年になります。体調不良の為精神的に疾患を抱えながら生活しています。勿論60才を前にして車の免許も返納せざるを得なくなりました。買い物行くにも徒歩、病院へ通院するのにデマンドタクシーを利用しています。凄く有り難く感じますが高齢者だけが免許を返納した時にタクシー券を頂ける状況ですが高麗でもないので何もありません。就職を探すにしても全てタクシーで当然金額もかかります。町内のバスで一日何本か酒田までの交通があればとても便利です。車を活用している方は不便でないかと思いますが町内にこのような人がいるという事を覚えておいて下さい。今後希望がもてる日がくることを願っています。
50 歳代	女性	安全で安心できる町になれたらうれしいです。
50 歳代	男性	2路線が乗り入れ接続駅となっている余目駅や自然豊かな月山などの特色を生かしたまちづくり。全国の同様な地域を参考とし進める。
50 歳代	男性	庄内町も高齢化が進んでいると思います。車が運転できない方も増えてきます。無料にはならなくても低価格で庄内町の病院やスーパーなどを回る巡回バスがあるとよいのではないかと考えます。
50 歳代	男性	すべての世代が安心して暮らすことができること。災害等に強いまちづくりをお願いしたい。若い人がいないと町に発展はない。ありふれた魅力ではな、庄内町はこれがというものを作るべきである。
60 歳代	NA	全国的に言えることですが、高令化がすすみ、医療、介護の問題は非常に切迫している問題だと思う。どこの市町村でもそれぞれ対策を練っていると思うが、地域性が濃く、他地域で支援を受けたいと思う時に、除外されるようなことがある。医療、介護の充実は本当にお願したいことである。在宅で介護したくても開業医も少なくどこに頼ればいいのかどう支援にたどりつけばいいか見えにくくわかりにくいことが多く、大変なことが多々ある。庄内町にも病院はあるが、酒田や鶴岡の病院のような公共性があまり感じられず、病院の対応に不安が増すことがあるので。
60 歳代	女性	子育てには力を入れているようですがこれからますます高齢者が増えて来る時高齢者が安心して生活できるような行政をお願いしたいです
60 歳代	女性	核家族化で高齢者の一人暮らしが、更に多くなると思います。買い物や医療機関へ行く為の交通網を深く考えて欲しい。(デマントタクシー、町営バス等の充実)
60 歳代	女性	庄内地域の「庄内町」なので、もっと庄内町の特徴・良さ・名前をPRしてはどうでしょうか。そのためにははっきりした特徴・良さを決めて出してはいかがでしょうか。あれもこれもでは、何も印象に残らないと思います。
60 歳代	女性	・視力低下し、免許返納したら病院へ行くのに交通費がかかるのでよろしくをお願いします。
60 歳代	女性	若い人達が、この町で暮らしたいと思うような働く場所や収入が得られるような町を望みます。若い人達が多く居るだけでエネルギーのある町になると思います。
60 歳代	男性	冬季間の交通路吹雪対策を考えてほしい
60 歳代	男性	大雨が降る度に床下浸水、本年7月の豪雨はあわや床上浸水寸前。町内会長が以前町に要望してくれたが、他人事で土嚢袋渡されてがんばれとのこと。あまり公助には頼りたくないが、個人では限界がある。昨年役場職

		員と話す機会があったが、やはり他人事回答で改善は難しいとのこと。ならば、基本は自助共助公助と理解しているので、何もやる気がない行政は、個人でやっている防衛策に一切口出ししないで欲しい！
60 歳代	男性	小学校校舎耐震対応および少子化による統合校舎の新築について 今春、第1町センで行政側の説明会がありました。◎第1～第3小⇒統合、新たな場所に新築と認識しています。新築にあたり土地代は未定との説明でした。新築により、現状では1日1小～3小の跡地再利用計画は未定とのこと。3つの廃校により建物経年劣化による小動物の住家となったり、グラウンドが草ボウボウの心配はないのですか？ この負の遺産による近隣の民家に迷惑にならないようにネガティブコストが累積する心配はないのですか？ 2小と3小は周辺に民家があり、土地の再利用が難しいのは理解できますが、1小は周辺が田園です。1小の土地の再利用により、負の遺産のネガティブコストと新築の土地代を軽減すべきと思います。以上
60 歳代	男性	・よく解らないことは「どちらとも言えない」になってしまいました。・若い人達にたくさん住んで貰う工夫をもっとできないでしょうか、若い家族が増える、つまり就業人口が増えれば税収も上がり、高齢（化）率も下がると思いますが……。東京の江戸川区の様に。でも、外国人がたくさん来すぎると治安が悪くなります。そこは難しいですが……。・介護世代にも出来る仕事の情報が身近にならないかなと思っています。
70 歳以上	NA	年よりが1人でも（かいてき）に住める住家、借家などあってほしいです。借家、アパートなど、ことわれます。……。行く所ありません。パソコンやインターネットなど使えません。全くわかりません。
70 歳以上	女性	現在自分の用事で車を運転していますが、いつまで運転できるのか、免許を返納した後の不自由さをついつい考えてしまいます。買い物をしようとすると30分以上かかり、重い買い物など。デマンドタクシーもあるようですが、利用する方法を詳しく知りたいと思います。庄内町が若者から年寄りまで、住み良い町であってほしいものです。
70 歳以上	女性	庄内町は何1つ観光につながる物がありません、人口減少と言うまに、どうしたら、沢山の人が、集まってきてくれるか、町内の人喜んでくれるか、夏は町民グラウンドで盆踊り大会をすとか、若者が参加してくれる事が何も無い。龍人祭りと言ってもただ走り回るだけ。老若男女が一体となって出来る事が、何も無いじゃないですか。商工会は何の為にあるのですか。活性化のない、死んでいる庄内町です。立川でやるのもよいのですが、そこまでわざわざ足をはこんでいきません。無駄な事にお金をかけるのではなく、生きるものにして下さい。若い人達の意見を聞き、年齢関係なく、集い、話し合いをしてみてもどうでしょうか。町民グラウンドをもっと活用して見てはどうですか。
70 歳以上	女性	☆再生エネルギーの利活用について 風車を立てることにより自然破壊につながっているのではないかと思います。風車が月山方向に増え続けて自然景観をそこない、動植物の生息域を荒しているのではとと思っています。同時にでんき代の個人負担につながっているのでは！！風車をこれ以上増やさないで頂きたい。太陽光も後処理に未解決の課題がありますよね！！ ☆学童について 小学校敷地内に学童を作って欲しい。親子さん達も安心すると思います。 ☆日本一長寿の町、日本一住みやすい町等と命名ありますが何をもって日本一としているのか良く解りません。△歩道

		などの草芥りをお願いしたいです。△松陽町の様に外灯を増やし道路を明るくして頂きたい。△日本一長寿の町といっても寝たきりの長寿では介護保険料もあがる一方なので1人でもねこむ人を減らす工夫介護保険料を減らす工夫をして頂きたい。(各個人の意識も大切ですが～。) ☆みどり自然豊か。庄内町全体を見れば緑豊かですが。子供達、孫達を安心して遊ばせられる手入れのされた広い公園は八幡公園以外ないです。新庄、つる岡、夏室川などの様に芝生を広く、木々もありなど作って頂けたら若い方々も喜ぶと思います。ひびきホール周辺などに是非ご検討をお願い致します。
70歳以上	女性	広い平野をながめるのが好きです。農業が充実して若い人たちが継続し、家庭も子育てが楽しく出来る庄内町でありますように、若い人たちが町内に村内で生活出来るようになりますように。なればと思います。子育て世代の方が交通の便のよい町中に移り村の伝統行事等、継続できなくなる事もあり少し残念です、若い人たちが楽しく生活出来る庄内町になってほしいです
70歳以上	男性	子育てが楽な町にしてください。
70歳以上	男性	安全安心な町づくり 1. 交通安全 歩道と車道の分離。2. 治安 防犯カメラの設置。3. 庄内余目病院があって安心である。教育に力を！幼・小・中は将来の人財である。学問、スポーツ。景観を守る、整備をし、美しい町に。

## 2.第二学区

年齢	性別	意見等
20歳代	女性	奨学金の返還が大変です。何かいい制度あれば教えてください。
20歳代	女性	水遊びスポットが欲しい。
20歳代	女性	小児科の時間をもう少し長くしたり、土曜日もやってほしい。かかりつけにしたいが、時間や平日のみな所があり不便。遊べる所がこっころのみなのが残念。大型プールしせつや学生も遊べるラウンドワンとかがあってもいいと思う。葬儀場ばかりだなと感じたので、若者(学生～20代、30代)にも目を向けてほしい。保育園は小学校入学前までではだめなのか。送迎が大変。
20歳代	女性	賃貸に暮らしています。大家さんはいい人で今まで沢山修繕していただきましたが、壁がうすく断熱もできておらず夏も冬も外気と変わらない所ですごしています。冬は鍵穴が凍り、家に入れません。電気代も当然高く家計を圧迫しています。修繕を大家さん(不動産)が費用負担するのではなく、内容によっては町が負担してくれたら・・・と思います。賞金、ギフト券有のオンラインゲーム大会などしたら楽しそうと思いました！eスポーツ大会
20歳代	その他	・冬期時の道路整備(特に除雪)にやる気が一切感じられないのは何で？生活道路すらまともに走行できない。融雪剤等を早目に散布する、除雪を行う頻度を増やすといった事をしてほしい。本当に。・インターネットを誰でも使用できる時代となっているため、適切に使いこなし犯罪に巻き込まれることがない様、子どもの頃から情報リテラシーを持たせる取組を継続

		させてほしい。・娯楽施設が少ない様に感じるため、増やすことで観光、交流のまちがより形成されていくのではないかと。
20 歳代	男性	・新幹線を敷き、庄内の交通をよくする。・船便税関所の設置・スペース X の打ち上げ基地・教員を増やす・庄内総合高校を職業訓練所にする・トルコ風呂の再建・リモートワーク者への支援・アニメーターの保護・JA の支配から IT 活用で自由農業化へ・パソナグループの追い出し・ガソリン値下げ・カーテストコースの設置
20 歳代	男性	職場の確保は必要と感じる。人が住む理由を作るには、働く場所、学ぶ場所は作らなければならないため、企業や大学（高等学校）を町内に導入することができれば若者が住む、家族が住める理由となるので人口減少の対策も行えると考えている。
30 歳代	女性	町内バス停が近くにないので公共交通機関を利用して駅まで行けるようになったらいいと思います。近所の歩道がとても狭く車との距離が近いので子どもを連れて歩くのが不安です。
30 歳代	女性	夜遅くても外食できるよう、飲食店のチェーン店があると助かります。
30 歳代	女性	娯楽施設や、ファストフード店など夜遅くにも集まれる場所があるとよい。梵天の跡地を何かに利用してほしい。
30 歳代	女性	鶴岡や酒田では毎月クーポンなどが配布されているが、庄内町は何もないので庄内町しかない特典を付けたほうがいいと思う。子育て支援にもっと力を入れた方がいいと思う。ランドセルプレゼントだけでは子育て支援にならないと思う。子供手当だけでは正直家計的にも厳しい。高齢化、過疎化が進む中で、やはり力を入れるべきは次世代が住みやすい環境作りだと思う。今の庄内町環境だと 2 人目、3 人目を産もうとは思えない。
30 歳代	女性	今はインターネットでほしい情報を得たり、オンラインでの学びの場もあるので、大人になってからの学びの機会については不満はないが、子供においては教育の機会が田舎のほうが不利だと感じる。学習塾の選択肢、またスポーツの選択肢やレベル、習う場所など子供がチャレンジする機会が少ないと感じる。進学や就職の自己実現においても、選択肢の少なさから、都会に人が流れていくのは仕方がないと思うし、自分が年を取ったとき、雪かきを行うだとか、吹雪の中運転して遠くまで通院したりだとかここで暮らすことに対してポジティブな面が見えないので、リタイヤをしたら都会に住むことを検討している。
30 歳代	女性	「子育てといったら庄内町！」と言われていたのが、今では、「子育ての町っていつてるけど、そうでもないよね」と言われるくらいになっている。せめて鶴岡・酒田にはない庄内町ならではのことはしてほしい。（ランドセル以外にも）
30 歳代	女性	子育て世代がもっと住み安い町にしてほしいです。室内の遊び場（小学生が遊べる施設の充実。）など。こっころは特に小さい子向けになっており、夏の暑い時、遊びに連れて行く場所が近くにない。水遊びもできて、遊具もいっぱいあり、1 日中遊べるような所がほしい。欲を言えば、宮城のみちのく公園のような。ラウンド 1 みたいな所もあったら最高です。小さい子たち（おむつをはいているような子）を連れて行ける飲食店も少ない。おむつ替えの心配や、子供用イスあるか、畳なのかとか親はいろいろ考えます。上の子はアクアに通っていて、なくなってから酒田に行ってますが、アクアなくなってからプールをやめる子が多かったです。このまま

		だと、庄内町の子たちは泳げない子が多くなると思います。年中から通えるアクアがあったおかげで泳げる子がけっこういました。今、2才の下の子が大きくなったら水が苦手な子が増えるんじゃないのかなあとと思います。学校でのプール授業も屋根などつけて、泳げる日を増やしてほしいです。せっかくのプール授業、暑いせいで、入れなくて、子供たち残念がってました。
30 歳代	その他	アンケート依頼があったため回答しますが、居住集落が小さくて住人も少ないため、性別や職業、郵便番号等の個人の特定に繋がりがやすい項目は回答したくないです。申し訳ございませんが、いくつかの空欄にご理解いただけますと幸いです。
30 歳代	男性	公園の遊具の劣化が多々見られます。危険な為、点検の強化をして欲しいです。子育てに力を入れているのであれば、保育園料は年齢や所得関係なく無償化にすべきだと思います。共働き世代が多く、それに伴い学童利用者も多いが場所やスタッフの数が少ないので増やして欲しいです。
30 歳代	男性	私は現在消防団員です。新しく移住してくれる方々は増えているがやはり団員担ってくれる方はほぼいません。現在の消防団員も非常に高齢化しているので立谷沢地区などはそのまま、旧余目町内は消防団をなくしてもいいんじゃないでしょうか？現在はただの延命期で将来的には消防団という制度は運営できない時がくると個人的に思っています。
30 歳代	男性	引き続き市街地への居住誘導を進めてほしい。近年、街の郊外部からの若者世帯の移住が増えていると感じる。身近に同世代の夫婦が家を新築することも少なくなく、近隣だけを見れば地域コミュニティの将来は明るい。これをさらに促進するために、市街地内の空き家の撤去をより迅速に進めるべきだと考える。また、併せて転入者がコミュニティの中で役割をもてるような仕組みづくりを行政には期待したい。現状では、コミュニティ内の重鎮が自治組織の運営をしきる場面が多くある(ありがたくも感じるが)が、新しい世代が積極的に地域運営に関わることが長期的なコミュニティの維持・発展に繋がると考える。また、個人的な要望になるが、身体づくりが趣味なので、公共の運動施設の充実や、スポーツジム等の関連する民間事業者の誘致などに力を入れて欲しい。
30 歳代	男性	通学路が危険で、子どもを通わせるのが不安です。雪道や横断に配慮した整備をお願いします。出産祝い金も、プレゼント引き換え券や商品券ではなく、現金支給にしていただけると活用しやすいです。高齢者の運転にも危険を感じる人が多いです。運転免許を返納してもらえような交通整備・支援をお願いします。
30 歳代	男性	○大きな空き施設にギャンブル以外の娯楽施設がほしい。(アミューズメント、ゲーセンなど、若い人が好む物) ○一部の地域において、小売施設が偏っていると感じる。(スーパーなどドラッグストアの設置箇所) ○身近に室内で個人でも入れるような運動施設がない。○新余目農協が遠い。
40 歳代	女性	除雪は特に力を入れてほしい。誰にでも手伝いしてくれる体制を作してほしい。
40 歳代	女性	若い人達が定住しやすい環境を作っていくことが重要だと思う。就職活動の充実、労働環境、適正な賃金等をしっかり確保していくことで結婚、子育て、定住へつながっていくことにもなり町づくりの基盤だと思う。

40 歳代	女性	<p>・人情味や地域の連帯感は、他の市町村から比べると庄内町はあると思う。学区で行われたモルック大会などは、小さな子から高齢者が一緒になって盛り上がり、普段関わることのない方とも接することが出来る場となり、顔見知りになり、そこから豊かなまちづくりへとつながっていくことになり、いい機会だった。町民が集まれる場の提供は大切だと感じる。・交通の便では、町中から離れている地区としては、酒田市のるんるんバスのようなバスを何便か走らせたり、高齢者に不自由なく対応してもらえたら嬉しい。小学校も距離ではなく、少子化で子どもの人数も減っていることから、防犯の面からも、通年バス登下校をお願いしたい。・公園や子どもが楽しくあそぶことができる施設など開設されたら嬉しい。</p>
40 歳代	女性	<p>多目的運動場の料金をもう少し安くしてもらえるとうれしいです。中学校の施設も、部活をやっていない時間帯で貸し出ししてもらえるとありがたいです。今は自分で運転して出掛けられるので不便はないのですが、自分が運転できなくなってしまった時の事を考えたら、宅配サービスや、タクシー、バス等の充実していただろうと思います。子育ては、かなり安心して、保育園→幼稚園→小学校・・・と預けることができました。ありがとうございました。産業分野、全くわかっていないので満足度がつけられず・・・すみません。</p>
40 歳代	女性	<p>・住みやすい町ではあると思う。・近所の方々とのコミュニケーションはある程度できている方だと思う。・若い人の意見も尊重してくれるような行政であってほしい。→そうぎ屋さんが増え、若者が集える場所がない。例えばカフェに、ちょっとした図書ブースがあるような施設など・・・ツタヤ書店みたいなのがあればと思う。(庄内町以外の地域の人でも利用できると思うので、共有できる場所が欲しい。)</p>
40 歳代	その他	<p>何をもって庄内町は日本一の子育てしやすい町と言っているのか分からない。特別子育て支援が十分にしているとは思えない。役場の職員は守秘義務をきちんと守った方が良い。役場の手続きで得た情報を第三者にべらべら言いふらす様な方が職員として働いているのはおかしい。“つて”を使い大きな顔して働いているのはおかしい。庄内町・特に余目は“つて”がないと役場では働けないのですか？どの位の人がまともに公務員試験を合格したのか記載して欲しい。議会を見に行った事があるが、ねてる議員がいたりするのはなぜなのか？それで給料をもらっているなんておかしい。意見を言っている人を小ばかにする様に遇らう態度で、それで町内議員でございませぬ。なんて言われても・・・庄内町はおかしな町ですね。</p>
40 歳代	男性	<p>質問がわかりにくい 空き家対策にもう少し鋭く対応してほしい。</p>
50 歳代	女性	<p>・50代の自分にとって、今現在の高齢者福祉サービスや介護サービスがどのようなものか実感が無いので、将来スムーズにサービスを受けられるのか考える時がある。広報等で、実情を知らせる頻度を増やしてほしい。・防災無線は風向き等により、全く聞きとる事ができません。高齢者の1人暮らしでも、情報が伝わるようにしてほしい。・健康診断を公民館だけではなく、個人のかかりつけ医院でもできるようにしたらどうでしょう。</p>
50 歳代	女性	<p>道の駅がいまいち もう少し活気がほしい 人が集まるような特長的なものがあればいいと思う</p>

50 歳代	女性	・不要になった物（※服・物）を、災害等で困っている方にゆずることができたらいいと常々思っています。（使用した物でも、ある程度キレイでまた使えるなら、お役に立ててほしいし、捨てるのがもったいないため）窓口があればいいなと思いました。災害が増え、誰もが他人でなくなった今、物を有効活用するシステムが必要かと感じます。ボランティアも、更に、できる人が、できる時間に気軽に参加しやすいようになれば・・・。願い、理想です。（※服、タオル、寝具、頂き物で眠っていた食器等、生活必需品中心に。）
50 歳代	男性	災害に強い安心して暮らせる街づくり
60 歳代	女性	余目駅の利用で困るのが階段です。身体の不自由な人は本当に大変。何か解決策はないでしょうか？年に何回も利用する私には、とても辛い階段になってます。町の協力をいただきながら改善できないものでしょうか？他県の人達もこのような駅では乗降はしなくなると思います。庄内町の活性化にも繋がるはずです。検討して頂けたら幸いです。
60 歳代	女性	このアンケートで何かしら役に立てればと思います。若い人の意見（子育てだけでなく）これからの町づくりに反影されることを希望します。高令化がすすむ中、皆様が交流出来る「生きる楽しみ」が見い出せるとよいと思います。
60 歳代	女性	このアンケートについて 問1の段階でどこのだれかわかりますよね。実際調べる様な事はないと思うのですが、何となく本根で解答できない気持ちになってしまいます
60 歳代	女性	子どもたちは関東に住んでいる。現在2人ぐらし。今後、車の運転ができなくなると、買い物、通院の交通手段に不安がある。町内は、ハッピーバスで何とかかなるかなと思うが、町外へはどうしたらよいか。動けなくなった時、施設は順番待ちだというしどうすごせばよいかなど、老後が心配。老後の生活に安心感がほしい。
60 歳代	男性	○免許返納の後、外出時の足となるタクシーの不足不満。高令者が負担に感じない料金で利用できる交通の便の充実。○買い物難民といわれる地域の高令者が利用出来る食品等を積んだ「買物トラック」を町で考えて欲しい。○特定の業者名を出して悪いが、「余目タクシー」の乗務員の態度には失望する。横柄な物言い、せめて優しい口調で話をしたい。→町に対しての要望としては適切な回答ではありませんが、この前も、それ以前から感じていたので記入させていただきました。
60 歳代	男性	・雪が無ければ暮し易い町。除雪が重要。除雪だけでは不十分出来ればダンプで捨てる事も予算に検討願う。
70 歳以上	女性	人口を増加させるためには、現在いる若い人の働く場をふやすこと、（企業誘致）これがむずかしいのであれば介護施設を増加させ、給料も上げる方策を取り、とにかく若者が地元で働き生活出来るようにすることが出来ればと思う。又月山山頂は庄内町なので羽黒山とともに観光に出来ないか。サケ、アユ、ヤマメ、イワナ等の内水魚の産業化。等を推進し、とにかく若者の働く場を確保することが重要と思われる。介護施設が増えると介護保険料が上がると、危惧されるが消滅自治体になるよりましと思う。
70 歳以上	女性	・防災の時何かあったら部落公民館に集まる事は知ってて一度町よりの指令で予備練習一度だけした事があります。今年8月末の敬老会で公民館？クーラーもないのに！と思ってたら幸な事に天気が心配なくて良かったで

		すが家族との話合で避難場所にクーラーがないのはおかしいのでは？町の方で各避難所の点検等してるのかな？と私も同じに感じました。助成等にクーラーの件も考えるべきでは？・小・中学校の通学何年前からも話して「どうせだめだなんけ」とずーと言われてきたのですが子供達も少なくなってきたるしもっとスクールバス利用範囲広くするべきと思います。夏の暑さも前と違い徒歩、自転車通学は大変です。結局送り迎えしてる現状知ってほしい（女子中学校は特に夕方心配です）話合で親ならお金出しても、と思っているのでは？※ `何かあったら考えるのや、と話してる現状ですが・・・・・・大きい町村は100才体操色々あるようですがほんとうに小さい部落では何もありません。幸、畑仕事してるので行き帰り出会った人との話はありますが前は保健センターで運動に行ったり、料理講習に友人と行ったりしましたが今は何もなく第1公の大人の映画に行くようにしてます
70歳以上	女性	今は、自分で車を運転して自由に行動ができ不便さをそれほど感じませんが、年令が進むにつれて、こうなったらいいのにと思うことがでてくると思います。
70歳以上	男性	公園の管理が行き届いていない。草がのびほうだいの公園で子供達ものびのび遊べない。直々に草刈等適時にやってほしい。
70歳以上	男性	人口の減少化にいかん歯止めをかけるかが鍵になる。町内の人口の増加は難しいとしても減少数を下げるためにも全国の自治体の人口増加事例に学び、行政施策として取り入れるべきではないでしょうか。子育ての町としては、今や他県や他自治体先進地に比して劣ってしまったように感じる。また、雇用環境が充実していない。特に賃金が安い状況があり、他市に流れているように感じている。能力のある人材を雇用するための行政施策を考える必要がある。（例えば、学童保育の職員の雇用体制が充足されていないように聞く。幼稚園・学校職員と同等の職務に従事している実態に対する雇用条件の改善が大事なのではないか。）町職員の町民に対する接遇態度は良好だと思えます。挨拶もとても良いと感じています。

### 3.第三学区

年齢	性別	意見等
20歳代	女性	保育園について、同法人であるのに関わらず余目保育園とすくすく保育園での預かりルールが違いすぎるように感じる。
20歳代	女性	鶴岡市や酒田市のように若い世代が気軽に遊べるような場所があまりにも少ないと思います。空き家の商店街もあるため有効に活用して欲しいです。また、交通に関しても隣市へ行き来するにしても常に交通機関の時間を気にしなければならず、思うように楽しめません。東京等のように数分に一本電車がある状態とまでではありませんが、せめて30分に一本電車があることや、土日は終電?終バスが12時ぐらいまでであると暮らしやすいと思います。
20歳代	女性	無痛分娩への助金制度があれば出産したいと思う
20歳代	男性	家族と幸せに暮らすことです。新築で楽しく仲良く、笑顔あふれる家族でいます。

20 歳代	男性	1. 人口減少対策について 1. 空家対策について 1. 農村公園の活し方について
30 歳代	女性	若い世代・子育て世代が長く暮らやすく、庄内町らしい魅力的な町が存続すればと思います。
30 歳代	女性	保育園はカードキーが一応ありました。幼稚園にあがるとありませんでした。防犯上非常に心配でした。(学童もありませんでした。)何か対策された方が良くと思います。
30 歳代	女性	保育園に行くところの十字路が危険、信号つけるべき
30 歳代	女性	これから子供を育てていく上で住みやすさ、心地やすさを良くしていくのは大人のつとめだと思っております。若い世代も、発信してつとめたい気持ちは少なからずあります。でもそれができる環境がうすい、周知してない現状であります。もう少し気軽に(アンケートなど紙だと子育て世代は日々おわれしない可能性高い)できたらと思います。LINE 投票やなにか案があればいいなと思いました。
30 歳代	女性	・冬の除雪した際に駐車場の入口に置いてかれるのが困る。(特に家の除雪終わったあとに置いていかれる)・八幡公園にある動物を見ることができるところで動物がいるゲージ?のところにネズミがいたりして子供達が見学できるのはありがたいが不衛生に思えてしまう
30 歳代	男性	持続可能な街づくりを求めます。今後、少子高齢化が必然的に進み、税収が減り福祉に割り当てる予算が増える見込みの中で、いかに最低限な事業(上下水道老朽化処置等)をしつつ、この町で住民が生活するために必要な事業を優先順位つけて実施していくかをやってもらえればよいかとおもいます。
30 歳代	男性	住宅費軽減措置や子育て支援金を拡充してほしい。
30 歳代	男性	若い人がどんどん酒田等に流出していつている状況だと思うので、酒田ほどの魅力を持つのは難しいかもしれないが、何か酒田等の地域にはない特色を生かすような方向で人口減少(特に若い人)を押さえるような政策をしていった方が良くのではないかと思います。遊ぶところ、発展度で勝負しても敵うはずもないので、独自の政策というか。
40 歳代	女性	Web 回答が長すぎて面倒くさかった
40 歳代	女性	・医療機関の充実 ・日常・非日常の楽しめる場所 ・巨大ショッピングモール ・町の魅力のアピール
40 歳代	女性	アンケートの項目が多い。若い世代も魅力に感じるような町にしてほしい。
40 歳代	女性	少子化が不安だ。今の70才以上の方が減っていったあとの税金がとても心配。30~40代の収入はその世代の方よりも少ないのに税金が増えていくのはとてもツライ。町の問題ではなく、全国の、国の問題ではあるが10~20年後、今のような状況よりも大変になるのは目に見えるので不安しかない。子どもは3人いるが、世の中を見てもらいたいのので一度家から出そうと思っているが(自分はそれで戻ってきた身だが)、戻ってきたい町、としてずっと続けてほしい。自分はここで子育てができてとても良かったです。私も長くいい町にしたいと思っています。
40 歳代	女性	発達障害児の相談施設、放課後の受け入れ施設を増やして欲しい。

40 歳代	男性	・田園風景を残してってもらいたい。
40 歳代	男性	私は第三学区だが、四学区や狩川地区の知り合いが買い物が不便だと言っていた。一、二、三学区に色々集中しているので私は不便ではないが、郊外の利便性も重要だと思った。カートソレイユや北月山のバイク場等他の市町村に無い資源をもっと活性化できないか。とてももったいないと思う。月山の山頂は庄内町だが、山頂に行くのに他の市町村を通らないと行けないのが残念。観光資源を活かしきれていないと思う。
40 歳代	男性	「どちらともいえない」という回答が多く、現状自分が興味を持っていないことや知らないことが多いのだなと感じました。現在、町に望むこととしては、町内に住む者として「空き家対策」とそれも含めた「区画再整理」の必要性を強く認識いただきたいということです。近年も雪害や火災等で更地になった場所に特定業者の売れ残りそうな建売住宅が建っていますが、近隣の居住地状況も調査の上、未来の町作りを視野に入れて、区画の再整理をしたうえで大規模宅地開発を主導してほしいと思います。特に町の中心部は消防車も入れないような区画も多く、安全安心な状況ではありません。現状の区画で解体→更地となれば、その土地単独での売買にストップをかけその一帯で開発できないか検討する機会があってもよいと思います。その結果、商工業の活性化や若年世代の移住、高齢者の見守りといった社会課題の解決につながるのではないのでしょうか？これは町の魅力を高める（生活の質を向上させる面で）方策になりうると思います。
40 歳代	男性	空き家が多いので犯罪や害獣被害、建物の老朽化の心配。数十年後、百年後、法律はありますが、跡継や親族がいない空き家は備蓄庫、防災倉庫にする。人通りのない道にはゴミの不法投棄、特に空き缶ペットボトルが多い。タバコの吸い殻もありますが、解決策がありません。商店の駐車場が道路を挟んであるのが不便。横断道路のない店の場合、親と買い物に来てる子供が追いかけて飛び出して危ない。アンケートを通して庄内町の知らない事がまだまだあった事自分自身の考えを知る事ができました。ありがとうございます。
50 歳代	女性	車がないと孤立してしまう地域をなんとかしてほしい。
50 歳代	女性	現在は仕事もしていますし、車も運転できていますが、将来は（今後20年後ぐらい）どちらもできなくなると思います。特に冬場の除雪、歩行者には大変困難な状況の時があります。対策をお願いしたいと思います。
50 歳代	女性	実家に帰ると〇〇〇ちゃんと近所の人部落の人誰と会っても覚えていてくれて声かけやあいさつをしてくれるのでホッとしますが、今住んでいる所は私が他の町から引越してきた時は、いろいろ相談したり話を聞いたりそうじ当番の時に行ききして交流ができていましたが今は、全く近所の人と会う事がほとんどなく、かいらんばんも「ピンポン」とならして、げんかんの外に置いて行くだけなので、おどろきでいっぱいです。
50 歳代	女性	すいません、汚れてしまいました。気龍祭の様なイベントもっとあれば他市町村からも庄内町に来てくれるのでは？花火もあつたらいいですね。
50 歳代	男性	今の所庄内町は、住みやすい町だと思いますが、冬の雪対策がダメだと思います。夜中も、昼間もしっかり除雪をしてもらいたい。ふぶきの時

		の電柱などに多くの反しゃ板を付けて自分の位置がもっとわかりやすくしてもらいたい。町中の空き地、古い家など、行政が入りキレイにしたらいいと思います。若い人が土地、家など手にする事が出来るようにしたらいい。
60 歳代	女性	将来、自分自身介護が必要になった場合の事を想像する事があります。現在は特別老人養護施設への入所が困難で「順番待ち」と言う話しをよく聞きますが、今後ますます高齢者増になったらどうなるのだろうか、と不安になります。もっともっと高齢者向けの施設が増えて入所が必要な人が「待たずに、入所出来るような環境になることを強く希望します。
60 歳代	女性	社会福祉協議会費の納入をコンビニで出来るようにしていただきたい
60 歳代	女性	一人ぐらしの人がふえる中、移動や買い物の心配。その人たちの精神の心配。大学等で都会に出た子供達を庄内町でも仕事ができる環境がほしい。人がふえる事、望みます。
60 歳代	女性	身近に感じる問題として ・これからもふえるであろう空き家対策（空き地）・農業従事者の高齢化・生涯未婚率の増加 他人事とは思えない
60 歳代	女性	☆医療関係で耳鼻咽喉科、皮膚科などが町内にはない為、他市に行っている。町内に有れば良いと思います。
60 歳代	女性	・高齢化に向けて ・自家用車がなくても、日常生活に不便を感じることの少ない町に！免許証を返納すると、とたんに行動範囲がせめられ、急に年老いていく高齢者を見てきている。食料の買い物も十分にできない現実。今後、過疎化があちらこちらで進んでいくことも考えると、現在の取り組みだけでは足りない。（例）移動販売車の巡回（町主体で町農協など、他の小売店との協力を得て）「無印」とのコラボなど ・移動手段の確保（デマンドタクシー e t c） ・交流の場の設定（参加しやすい内容、団体） ・冬場の道路事情の安全確保（（例） ・通称スーパー能動の除雪は、隣の市の除雪より、上手でない。 ・うもれている有能な人材の活用を ・町の中央に居ても、端に居ても、同じ（平等）に居ごちの良い町にぜひして欲しい。
60 歳代	その他	・町長さんはじめ町の職員の方は小学校の子供達が現在どのような歩道を歩いて通学されているかご存知でしょうか？ 歩道でも雑草が繁り歩きにくい歩道があるのを知ってほしいと思います。一日でも早く整備して頂き安全な通学路にしてほしい ・役場庁舎のカウンターにはベルが設置されています そのベルに気付かない町民もいるはずなのに誰一人「今日はどうされましたか？」などと声掛けする人←町職員 を今まで見た事がありません。業務が多忙でお声掛けできないからでしょうか・・・。カウンターに近い人が席をたって接すれば良いのにの空気がある様に思います。「役場に行って困っていたら町職員の方が優しくしてくれて助かった」と言う声が満ちあふれる日を願っています。
60 歳代	男性	役場は、町民の役にたつ場になってほしい。退職金で住宅を建てるのは良いが、地元工務店を使って欲しかった。
60 歳代	男性	・近年、温暖化、気候変動などで、自然災害が増えています。河川の防災対策が不十分だと感じています。・少子化にともない、小学校の通学時にも不安を感じます。少人数で通学させるのにも疑問を感じます。バス通学にしたらどうでしょうか

60 歳代	男性	観光で町に来ていただける施設、企画等 たとえば、内陸地方から庄内に入る時、最上川舟下りをして R 4 7 通って酒田市へ又 R 4 7 を通って立川から鶴岡方面へ出て加茂水族館、湯の浜温泉、あつみ温泉になります。庄内町中心部に入りません。又、たとえばですがひびきホールの側に「ふぶきミュージアム」夏、冬、オールシーズンで「ふぶき」がたいけんできるとか？
60 歳代	男性	冬季の除雪について 村内及びそれに通ずる道路の除雪体制もっと丁寧 に除雪 お願いしたい。村内で雪にはまってしまうようです。
60 歳代	男性	1. 議員、町職員等がもっと積極的に、もっと質の高いものと創出して！ 2. 移動手段の新たな創出を！ 3. 町民が劣勢、劣化しないように、本業のつながりを！（人、言葉や像、町づくり、異業種連携） 4. 町づくりは別々にするのでなく、1）一括してできないか（産業別でなく） 2）町づくりが町民施策の上位概念に！ 5. 「町づくりコンテスト、アイデアコンテスト」等主張を表現したら！
60 歳代	男性	分からない事は行政で分かりやすくいつも説明して貰えるのでありがたく 思っています。
70 歳以上	女性	学区となると広範囲になるので近くの 2 部落位の規模で簡単なお話を きいたり、歌ったりのなにかを作ったりとなるといやがる人が多いいま す。以前（50 年前）と比べるとなんの楽しみもなくなってしまいました。 それよりそれぞれの方が家から出たがらないのです。このアンケート にはお答え出来ない事たくさんありました。子育て、教育孫達もすっ かり大きくなり親もいるので年寄り自分の事だけ考えていればいいか らです。これからの人達の声が一番大切と思いました。
70 歳以上	女性	住み良いまちづくり、あき屋の利用。
70 歳以上	女性	ゴミの対策の強化 コンポストの利用を推進する。枝などは、消防署に 連絡して、燃やしていいことをもっと、普及するなどゴミ軽減につとめ る。近年、木々が多くなり、というより大きくなって、ゴミ集積場をみ ても、多量に持ちこまれている。もっと、軽減できるように皆が気をつ けた方がいいことを、自治会長会などで話合っしてほしい。大切な税金を ゴミに使われたくないと日頃思っている。
70 歳以上	男性	庄内町の良い所はなにか・・・よく考えることがあります。子育て日本 一、住みやすい町など、いろいろ町では行なって来たのですが、今は （令和 6 年 8 月 2 2 日現在）、庄内町でなにをしているのか良くわかり ません。富樫町長の考えている町の将来が見えないですよね 他にない 庄内町を作る・・・大きな目標がほしいですよね 他の市町村にないイ ベントや運動会や・・・これこそが庄内町だと、ほこれる物が。目標は でかくて良いのでは、無理難題でも、夢は大きく年 1 回で良いので数千 人、数万人を集めてのイベント開催するなど！庄内町をして頂く！！ どうでしょうか。気球大会 最上川を使用したイカダ下り。← 20 年前 に行なった。ドローンに乗車体験など夢は大きく
70 歳以上	男性	庄内町は災害等治安の面でも今まで安心して生活が出来ていた町と認識 しておりました。今回の大雨での被災者の方々には、本当にお見舞いを 申し上げたいと思います。でも今回は、酒田市、鶴岡市の住民及び被災 者への対応は、被害の大小はあったと思うが庄内町がいち早く対応して いると感じました。職員の皆様も慣れない災害に対してどの様に対応す

		るべきか日頃からの教育が生きているからこそだと思います。私の身近にも、酒田市で被災した人がいますが、同じ役所の中で、何回も自宅に足を運び、り災の状況を聞いたり、一回で済むものを何回も同じ事をきかれたり、行政の動きに、うんざりしていた人も多くいました。とても難しい事とは思いますが、こんな時に町や市の行政がどの位、機能しているかが問われます。今後共頑張ってください。（年寄りの一人言でした。）
70歳以上	男性	町のスピーカー、何を話ししてるか、わからない、こまっている。なんとかしてもらいたい。

#### 4.第四学区

年齢	性別	意見等
20歳代	男性	みんなが他人のことを少しでも思って優しく 毎日がいい日だったと思える地域にしていきたいです。
20歳代	男性	少子化が進む中、今後どのように対策していくのか具体的に町で示してほしい。町議会の方々は日頃どのような活動をされているのですか？議会に参加して意見を提示しているだけでしょうか？選挙時に掲げた公約をはたしているようには思えません。
30歳代	女性	地域には考えが古い、昔ながらの人が多。文句ばかりいうのではなく多方面からの話等をまずは受け止め、協力していくことが必要ではないかと感じる。また庄内町にはこれといった推せるものがない(インパクトが薄い)。庄内町と言ったらこれ！と誰もが言える推せるもの(食材やイベント、子育て、介護等…)があれば活性化に繋がるのではないか。
30歳代	女性	小児科が近くにあればよい。
30歳代	女性	・子供たちが楽しく遊べる遊具が少ないと思うことがあります。学校も統合する様なので子供たちが学びやすい環境・施設ができるといいなと思います。・たまに小出沼農村公園に遊びに行きますが沼も汚く草だらけ、遊具もなくせつかく広くて自然豊かな場所ですが残念な気持ちになります。もう少しきれいに設備（管理）してくれたらもっと良い所になるのではと思いました。この炎天下の中ひつじさん達はちゃんとした屋根のある家があるわけでもなくかわいそうでした。なんとかしてあげてほしいです。学校で使う運動服やくつなどの助成金があるとたすかります。お金も高いですし、すぐ成長して何回も購入するのはかなり出費です。
30歳代	女性	庄内町に限ったことではありませんが、少子高齢化が進み消滅可能性自治体になっていることは大きな問題だと思います。高齢者が多いため、そこに対するサービスや金銭面の充実は大事だとは思いますが、庄内町で育った子供たちが進学等で一度離れても「また戻ってきたい」「ここで子供を育てたい」と思えるまちづくりをしてほしいです。
30歳代	女性	・アンケートに回答すると何か特典とかあればいいと思う。質問が多くすぐ回答できないのに何も無いのはどうかと思う。・みんなにアンケートを配り紙の無駄使いだと思う。今後は、ネットでの回答にかえたほうがいいと思う。
30歳代	女性	商業施設を増やしてほしい。

30 歳代	男性	助成金、補助金等の勉強を町役場の方にしてもらいたいです。会話がスムーズにいかない事多いです。町役場の助成金、補助金をもっと見やすく、検索しやすい様にして下さい。（インターネットの事です。）
30 歳代	男性	消防団に入っているのですが、入る人がいなく抜けられなく困っています。仕事にも支障があるのでもっと小規模にするか、ある程度年数所属すれば退団などあればいいのかと思います。
30 歳代	男性	個人が困っているのにたらいまわしにしないでほしい！！
40 歳代	女性	あまり将来に期待していない。
40 歳代	女性	高校生等が遊べる所を作ってほしい。（ラウンドワンとか）子供会などでも利用できるような楽しい施設があると良い。
40 歳代	女性	少子化が進む中で余目中、立川中を1つにする話が進んでいると聞きますが、もし、統合された場合に立川中をシュタイナー教育や野外学習等を取り入れた、新たな学校づくりに活用してみてもどうかと考えています。今は学校に行けない子や、発達に凸凹のある子達の数も増えてきており、昔のように全体に合わせさせる型にはめる教育でない個性を伸ばしサポートする教育をはじめすることで、町外からも移住者を呼び込むきっかけになるのではないかと思います。北月山荘でのサウナやキャンプ場なども連携して野外アウトドア施設にしてゆくのも良いのでは。4小学区に建てた子育て支援住宅はとても良い成功例だと思います。子育て期の住居費負担が軽減されることは移住を決断する大きな材料です。庄内町で子供時代をすごした子達が、またここで子育てしたいと思えるような環境は親だけでなく、地域全体でやるべきことです。第3公民館でやっているこども食堂もすばらしい取り組みです。行政からの支援もあって良いと思います。ふるさと納税による収入源を町のどの部門に使ったのかを町民や納税者にしっかりと発表して、町が何に力を入れているのか、町民がどう良くなったのかわかるようにしてもらいたいです。自然エネルギー、風車のまちですので、ゴミを出さないリサイクルの考え方をもう一度町全体で考えても良いと思います。徳島県上勝町に視察に行ってみると良いと思います。
40 歳代	女性	現在、小中学校の合併が計画されており、今の少子化を考慮すると、効率的にも、様々な活動を行う上でも避けられないことだと感じている。しかしながら、使用されなくなった建物、土地が野ざらしになり、地域に荒廃した様な印象を与え続けるようなことは何とか避けて頂きたいと思う。箱物の維持管理は費用の面でも大きな負担であるが、建物に限らず、使われなくなったグラウンド、草だらけの敷地・・・そういった所の近くに、若い人が積極的に住みたいとは思えない。全国的に様々な例があると思うので、他の所からも学びを得て、是非とも有効に活用して欲しいです。期待しています。
40 歳代	男性	総合体育館の施設環境の充実と整備 教育施設への送迎の充実と情報配信 若者が住みやすい街づくりを期待します。
40 歳代	男性	農業に携わる人が多い町だと思うので、観光農園など農業に結び付けた、観光を売りに人の集まる活気の有る町にして頂きたいと思います。
40 歳代	男性	地域での年功序列等強い傾向にある様な気がする。これからの若者が意見しにくかったり必要以上に気を使う時がある気がする。昔ながらの～というのが強い地域もあると思うがこれから若者が少数しかいない所は

		そういうのがつらいと思うのでもう少し自由な地域作りが出来ればと思う。
50 歳代	女性	・道路が暗い（夜の街灯が少ない・特に冬がこわい・暗すぎるため）・道路のアスファルトが凸凹が多すぎる（部落の中がひどい、広い道路のみ重視していないだろうか）
50 歳代	女性	いつも、誰もが感じている、少子化と高齢化をどのような形で、見据えていくのか。庄内町独自の対策も大切ですが、他市町村との協力、交流も大事だと思います。町自体が良くなる事は、もちろんですが、周りを見る目を多く持ち、今住んでいる人が、心地良く居られる庄内町であってほしいです。☆温暖化により雪の量は少なくなっていますが、除雪については近隣市町とも差が多く見られます。人員不足等大変だとは思いますが、すみやかな除雪の対応を希望します。（事故につながるので）
60 歳代	女性	人口減少、少子高齢化は避けられない現実と捉えて、地元の良さ、大事にしていくべき自然などを保全していく必要があると考えます。次の世代につなげて行くために、特続可能な視点を町全体で検討してその中から、農業、産業と取り組んで行けたらと思います。米、花、山菜、野菜、それらを使った料理、加工品、お土産品作り、ふるさと応援寄附金返礼品の充実盛りに盛り込んでの関係人口の拡大等有機肥料等有機生産物で頑張っている方々への支援、それらの取り組みのPRも含めて全国的な発信も良い事と考える。美田、庄内平野、豊かな自然、水、水田の広がる景観、若い人たちがそれらに興味を持つ人が一定数いると思うので、そんなつながりを大事にまちづくりへの参画を呼びかける等つながりを作っていく、よそ者を受け入れ、大事と一緒に「ウエルカムよそからの人々」まず地元の人たちの寛容さが問われます。大人がまずウエルカムの姿勢を示す、守りでなく外に働きかける気運を作っていく事大事と思う大人が楽しく生きる姿を示さなければ、若者達も残らない。頑張らない。
60 歳代	女性	医療機関の拡充。庄内余目病院に整形外科があっても初診料が高くなっていると聞きます。レントゲン設備のあるクリニックは近隣の市町まで行かなければならず不便です。
60 歳代	女性	・郵便番号入力（記入）は、地域がわかる やめてほしい ・アンケートをするのは良いが、実際どのような結果になったのもわからず、何がかわったかわからない ・これからの若い人にアンケートを取った方がいろんな意見が出ると思う。シニア世代にアンケートを取っても介護、福祉ばかりになるのではないか
60 歳代	男性	幹線道路につながる町道への防雪柵の設置を希望。・下吉方の西側を通る町道が吹雪の際に吹きだまりが出て、通行車が身動きできない事が多くある為。
60 歳代	男性	集落内・周辺の路上標識の拡充。制約や慣例に捉われない自由な若者の定着。町からの配布文書の簡略化。
70 歳以上	女性	・除雪ですが、私が（私の家が1番はずれなので）電話して役場の方にそれから除雪になる日が多いので、ちゃんと除雪してほしいと思います。・ペットボトル回収の月1回は、少ないと思います。せめて月2回にしてほしいです。・防災無線放送ですが、何を話しているのかわから

		ないので意味がないと思います。・アンケートむずかしいです。私は自由意見で良かったです。
70歳以上	女性	・高齢化が進むなかで、通院や買い物などに不便を感じる事が多くなると感じています。車がないと困る生活環境の中でいかに生活を維持していけるかと考えた時に不安を感じます。福祉バスの充実がさらに求められたりするのではないかと思います。地域の過疎化も気になるところです。農業地帯に住んではいますが、なり手不足が進んでおり、どうなるのか不安でもあります。会社（法人）方式にして、進めて行く方法もあるのかと思います。目先のことでなく、50年、100年後の庄内町のことを考えて行って欲しいです。
70歳以上	女性	最近空き家も多く見受けられ、すでに倒壊され動物の住み家になってる所も見受けられます。危険が伴います。家主も亡くなり現状を変える事は、出来無いのでしょうか？これから益々増え続けると思います。町では把握出来無いのでしょうか。環境の良い生活送る事が一番の願いです。

## 5.立谷沢地区

年齢	性別	意見等
30歳代	女性	子育てしやすい町だと聞きますが、私には子どもはおらず独身です。働く世代の人にも何かあればうれしいです。（アクティブな事は望みません）両親、自分も高齢になった時に、今の生活環境では不安が多すぎます。医療福祉の事、住宅の事、買い物や外出……。へき地でも高齢者一人で安心して暮らしていけるようになれば最高です。無理だと思いますが、良い方向に変わる事、大いに期待します！！
30歳代	男性	通学路に段差があり転んで怪我をする子供が居るので段差などをなくして欲しい！スケボーパークやバスケットリング、ベンチ自動販売機などを設置して、地域の人が体を動かせて、コミュニケーションを取れる場所が欲しい。そうすれば相乗効果も望めると思う。立川小学校が人数が少なくてぜひ合併してほしい。余目の子供と立川の子供の交流会をたくさん作ってほしい。
50歳代	女性	雪が降っても、道路など走りやすくして、季節に応じた、きがるに参加できる行事があればいい。食事する所が、立谷沢地区にあってほしい。年をとっても働ける場があってほしい。（お金もらえて）楽しみながら

## 6.清川地区

年齢	性別	意見等
30歳代	男性	コンビニを増やしてほしい。牛丼チェーン店の誘致等、飲食店や店舗の充実を計ってほしい。
40歳代	女性	立川地区の不便さを改善して欲しい。

## 7.狩川地区

年齢	性別	意見等
20 歳代	女性	狩川のほうはお店もほとんどなくなり活気がないように感じる
20 歳代	男性	笠山グラウンドを修復して東京ドーム級の球場を作って頂いて読売巨人軍の主催試合をやって欲しいです。2029 年くらいまでにはして欲しいです。頼みます富樫透様
30 歳代	女性	小児科や内科など医療施設の充実
30 歳代	女性	中学校の編成が滞りなく行われて欲しい。行政に不満ではなく、地域のみんなに、折り合いも大事だと伝えたい。
30 歳代	女性	タッチフクの施設利用をもっと柔軟にしてもらいたい。当日空いていたら利用できるようにしてもらいたい。せっかく空いてるのに勿体無いと思う。
30 歳代	女性	都市圏での（距離間） 田舎圏での（親密間） それぞれのメリット、デメリットもあるけれどこの 2 つを真剣に考えて昇華させた地域はまだ無いはずだから何かして欲しいです。都会から来た人間嫌いな高納税者の方が引き籠もりでも仕事が成立するように高齢者や近隣しか移動出来ない方が買い物代行等の世話（？）をして収入を得るみたいな 子供、自然もいいですが高齢化、引き籠もり等に充てた政策はこれから更に需要が伸びるかなと。そして、某スリラー番組の「墓友」を意識するわけではありませんが、ホームじゃないけどルームシェアのような場所があれば素敵だなと それこそ年齢の壁を取っ払ってなんて面白そうかな〜と
30 歳代	女性	・行政サービスのデジタル化はより推進して頂けると有難いです。・除雪に関するサービスがあれば周知してほしいです（除雪ボランティア、除雪機の貸し出し等あれば）
30 歳代	女性	地震や豪雨などの自然災害があった時、安全と考えられる小学校や中学校から距離がある地域の避難場所の確保、孤立地域とならないための対策を今一度見直し、町民が安心して暮らせるようにしていただきたい。冬期間の除雪をもう少しきれいに行い、ドライバーが冬道でも運転しやすいように改善していただきたい。
30 歳代	女性	庄内町はとても広いです。立谷沢、清川地区～1～4 学区。それを 1 つにまとめようということに反対です。保育や学童も清川の方々は庄内のはじ（3 小学区）まで送迎をしなければならない。とてもじゃないが、冬なんて親によりそうこともなく、送迎時に事故にあったら責任とれますか？むしろ責任なんてとろうともしませんよね？余目学区と立川学区を一緒にする考えは立川の子供の親へのいやがらせでしょうか？子供の数がへっているのは分かりますが、それならば親へのはいりよも必要ではないでしょうか？余目は良いかもしれませんが、もう少し親へのはいりよをしっかりと欲しい。電車も走っていない事してますよね？とてもすみにくいと感じる、若者がへっていくのはそういったはいりよにあると思います。もう少し中心部から離れた地域のことと考えて下さい。
30 歳代	女性	子育てしやすい町と言っているが、そこまで育てやすいと感じない現状。生き育てやすい町にしていくために支援を続けて欲しい。

30 歳代	男性	若者が興味を持つ様な仕事を創出し、人の流出を防ぐ事が、望ましい 例 例えば町公認のVチューバー等
30 歳代	男性	余目地区が優遇されているに感じる 立川地区に日用品、生活必需品買える店が必要 拠点が余目に寄り過ぎて生活しにくい 学童の土曜日利用の受け入れ先が余目なので不便で利用出来ない 保育園、幼稚園の民営化になってから保育士の質が著しく低下した 娯楽施設がないと若者離れが加速する 現在の若者は地域社会に興味はない、地域活動撤廃 立川地区に医療機関が少ない 立川地区に小児科がない 活気がない
30 歳代	男性	JR（陸羽西線代行バス）と町営バスの時刻表と庄交バスの時間が重なっている時間がかかり多く、せつかく町営バスを運営していただいているのもったいないと思う場面がありました。見直しいただくと利用者が増加する可能性があるように思っております。
30 歳代	男性	町の強みを持たないと人はどんどん減っていくと思う。どうしたら人が増え、活気がある町になるか、様々な町民から意見を聞くべき。※アンケートに誤字があるので、しっかりチェックするべき… チェック式とリスト式が1つのアンケートに混在すると回答者のストレスになると思います…
30 歳代	男性	中高年の怠慢がこの現状を招いているのに、自分たちの世代だけ良ければいいという逃げ切りの考えが憤りを感じる。余目と合併してほしくなかった。ネーミングセンスがいちいちダサい。
30 歳代	男性	消防団の操法大会の廃止 または見直しの検討
40 歳代	女性	もっと商業を活発化させて欲しい。例、飲食店を増やすなど。
40 歳代	男性	小学生高学年から中学生には金融の教育が必須だと思います。銀行などと提携して過去現在の経済の状況やお金の使い方増やし方を教えたら、少しはお金で困る大人が減って税収も上がると思います。
40 歳代	男性	老朽化している施設の修繕を予算化して毎年更新してほしい。
40 歳代	男性	人があってこそなので、若者が離れない、戻って来たい町、その為の就職、生活の安定が大切だと思う。この土地で生かせるもの、何を主体として売り出して行けるかを関係者と話し合い方向着けるのが行政に望む事です。
40 歳代	男性	難しいとは思いますが若い世代でも上の30～40代の正規雇用に入力を入れて欲しいその世代は非正規だったり、低収入の正規雇用が多く今の20代や新卒よりも低収入なことが多い。企業側のことなのでどうにも出来ないかもしれませんが
50 歳代	女性	医療福祉サービスの充実 公共交通の利便性 将来、自動車の運転ができなくなった時に安心して生活できる町であってほしいと思います
50 歳代	女性	農業に全振り、大規模化、先鋭化。不得意なことには無理に手を出さない。
50 歳代	女性	高齢化に伴った設備や医療などのサービスの充実 若者が定住したくなる魅力あるな町作り
50 歳代	女性	狩川地区にはJAの小さいスーパーとコンビニしか買物出来る場所がありません。個人商店は別ですが、休日・夜間等には、他地域へ行くしかないです。また、散歩やウォーキング等をして、健康づくりをしたくても、歩道は草だらけ、公園も人気がなくものさみしい様子で、行きづ

		らい。自然豊かなことはすばらしいですが、これといった「押し」がないように思います。
50 歳代	男性	先の大震災での役場職員の不適切な対応
50 歳代	男性	アンケート長すぎ
50 歳代	男性	今後も引き続き、子どもが健やかに育ち、ここで暮らしていきたい、或いはたとえ一度は外に出たとしてもやがては帰って来たい、いつでも帰ることができる故郷があるのだと心から思ってもらえるような環境づくり(主に子育て、教育環境づくり)を進めるとともに、その思いを実現できるような環境づくり(主に生活の基盤となる労働環境づくり)を進めていただければと思います。
50 歳代	男性	(このアンケートについての感想) ・設問数が多すぎる ・広域的な生活圏となっている現状も考えると、単に町だけの事を対象としたアンケートの設問内容には答えづらい面がある ・集落単位においても世代間交流が疎通となってきているので、それを改善するようなユニークな行事や仕掛けがあると良い (具体案はありません)
60 歳代	女性	近所の高齢者夫婦が認知症で物が取られたと言って家まで来るし電話も何回も掛かってくるためどうしたらいいでしょうか
60 歳代	女性	高齢化が進み、近所の方も一人活らしが多くなっています。交流の場がふえれば、さみしい思いもしないですみます。家にこもっていて、出あるくきかいがいいのです。若い人との交流もなく、そんな場があれば、生がいを感ずるのでは・・・！40才以上の男性も結婚しない方がいっぱいいます。出会いの場があればと思います。
60 歳代	女性	花やさんがない ケーキやさんがない 風車市場から見える夕やけに●縁結びとか幸せの輪絆の初まりなんて？
60 歳代	男性	昔は、集落単位での町政座談会があり、町民と、町長とのふれあう事のできる時間があり、いきいきと町づくりを語れる場所があった事を思い出されました。
60 歳代	男性	4. の産業分野の項目について。農業の振興・林業の振興があつて水産業の振興がないのはなぜ？
60 歳代	男性	余目を中心とした町づくりに反対する。
70 歳以上	女性	私、春先より山菜取りなど好きで出歩いており楽しくすごして居ります。ただこれより先、動けなくなった後のことを思うに、高れい者支援、介護保険サービスの受け方などわからないので心配です。
70 歳以上	男性	小中学校の統廃合については、各地域の特色や強みを生かした形で慎重に進めていただきたいと思います。
70 歳以上	男性	高令者は足がわるいため、運動・スポーツは尻込みがち、カラオケ・マーじゃんなど娯楽で集える施設があればいいです。昔はJA主催のマーじゃん大会があつて大変盛り上がった。いい地域間交流ができた。
70 歳以上	男性	健康が一番健診の充実 最近町職員が酒田市に移住があると聞く なぜ庄内町から町民の立場を弁えて行動してほしい。

## 8.居住地無回答

年齢	性別	意見等
NA	NA	※障害者快適で施設の充実。親なし子供一生涯住み良い生活に暮せる様に施設をもうけて頂きたい。
NA	NA	車さえあれば駅にも空港にも医者にも近いスーパーやホームセンターなど庄内町でなんとか生活出来て良い所です。大人だけの生活なので世間の動きに気が付きません。最近マスクしてる人が増えたと思って聞くとコロナが又増えて来たそーです。知らなかった！！水害の時の非難場所分かりません。今回被害はなかったけれど次はどーだか？学区別になってるのかな。社交性のない独身が居ます。相手をどーやって……。我が家優先で町づくりには……。町が美しければそれなりに生活出来るのかなあ。車で動いていると色々な景色が見えて来ます。イベントに顔出すと、知らない事を知ることがあります。目医者が耳鼻科があれば今有る目医者はあかん。昔存在しても、青年団若妻婦人会各団体が今は何もなくなってアンケートに有った地域の方々との交流がほとんど無いので助け合う事におくびようになる。
NA	NA	冬の雪けぬけとくに道路のじよせつ朝の通勤時、夕方などなどてってしてほしい。（毎年冬はくるので）
NA	その他	余目に住むようになって何年もの間、少しも発展もしないし、今後も変わらずこのままだと思ってるので、何も期待しないし望まない





## 庄内町の住みよさについてお聞きます。



【問 2】あなたにとって、庄内町は住みよいまちですか。(1つに○印)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 住みよい      | 2. どちらかといえば住みよい  |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 5. 住みにくい     |                  |

【問 2】で、「4」または「5」に○をつけた方にうかがいます。

主な理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○印)

- |                    |                               |
|--------------------|-------------------------------|
| 1. 自然環境が悪い         | 2. 生活環境施設が不十分<br>(水道、ごみ処理施設等) |
| 3. 道路・交通の便が悪い      | 4. 情報通信網が不十分                  |
| 5. 消防・防災・防犯体制が不十分  | 6. 保健・医療・介護環境が不十分             |
| 7. 福祉環境が不十分        | 8. 子育て・教育環境が不十分               |
| 9. 文化・スポーツ環境が不十分   | 10. 農業の活力が不十分                 |
| 11. 商工業の活力が不十分     | 12. 買い物の便が悪い                  |
| 13. 働く場が少ない        | 14. 人情味や地域の連帯感が不十分            |
| 15. 行政サービスが充実していない | 16. ふるさとが他にある                 |
| 17. 都会で生活したい       |                               |
| 18. その他(具体的に: )    |                               |

【問 3】あなたは、庄内町のどのようなところが魅力だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○印)



- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. 自然環境の豊かさ     | 2. 生活環境(水道、ガス、ごみ処理等) |
| 3. 道路・交通の便      | 4. 情報通信網             |
| 5. 消防・防災・防犯体制   | 6. 保健・医療・介護環境        |
| 7. 福祉環境         | 8. 子育て・教育環境          |
| 9. 文化・スポーツ環境    | 10. 歴史・文化的遺産         |
| 11. 活気ある農業      | 12. 活気ある商工業          |
| 13. 買い物がしやすい    | 14. 働く場所が充実          |
| 15. 人情味や地域の連帯感  | 16. 行政サービス           |
| 17. 特に魅力を感じない   |                      |
| 18. その他(具体的に: ) |                      |

## 庄内町の生活環境についてお聞きします。



【問 4】生活環境に関する次の項目について、あなたのお考えにあてはまるものを選択してください。(各項目それぞれ1つに○印)

項目	選 択 肢				
	あてはまる 非常に	あてはまる ある程度	い え な い ど ち ら と も	あ ま り あ て は ま ら な い	全 く あ て は ま ら な い
記入例→	5	4	3	2	1
(1) 医療機関が充実している	5	4	3	2	1
(2) 介護・福祉施設のサービスが受けやすい	5	4	3	2	1
(3) 日常の買い物にまったく不便がない	5	4	3	2	1
(4) 飲食を楽しめる場所が充実している	5	4	3	2	1
(5) 自宅には、心地のいい居場所がある	5	4	3	2	1
(6) 自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	5	4	3	2	1
(7) 適度な費用で住居を確保できる	5	4	3	2	1
(8) 公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	5	4	3	2	1
(9) 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	5	4	3	2	1
(10) 子育て支援・補助が手厚い	5	4	3	2	1
(11) 子どもたちがいきいきと暮らせる	5	4	3	2	1
(12) 保育環境（保育園、幼稚園、学童保育等）が整っている	5	4	3	2	1
(13) 教育環境（小中高校）が整っている	5	4	3	2	1
(14) 通学しやすい場所に学校がある	5	4	3	2	1
(15) 行政は地域のことを真剣に考えていると思う	5	4	3	2	1

項目	選 択 肢				
	あてはまる 非常に	あてはまる ある程度	どちらとも いえない	あまり あてはまらない	全く あてはまらない
(16) 公共施設は使い勝手がよく便利である	5	4	3	2	1
(17) 行政サービスのデジタル化が進んでいる	5	4	3	2	1
(18) 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	5	4	3	2	1
(19) 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	5	4	3	2	1
(20) まちなか、公園、川沿い等で心地よく歩ける場所がある	5	4	3	2	1
(21) 自慢できる町並みがある	5	4	3	2	1
(22) 自慢できる自然景観がある	5	4	3	2	1
(23) 身近に自然を感じる事ができる	5	4	3	2	1
(24) 空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	5	4	3	2	1
(25) リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組が盛んである	5	4	3	2	1
(26) 地域の防災対策がしっかりしている	5	4	3	2	1
(27) 防犯対策が整っており、治安がよい	5	4	3	2	1
(28) 歩道や信号が整備されていて安心である	5	4	3	2	1

## 地域の人間関係についてお聞きします。



【問 5】庄内町の人間関係に関する次の項目について、あなたのお考えにあてはまるものを選択してください。（各項目それぞれ1つに○印）

項目	選 択 肢				
	あてはまる 非常に	ある程度 あてはまる	どちらとも いえ ない	あまり あてはまらない	全く あてはまらない
記入例→	5	4	3	2	1
(1) 同じ町内（集落）に住む人々を信頼している	5	4	3	2	1
(2) 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである	5	4	3	2	1
(3) 困ったときに相談できる人が身近にいる	5	4	3	2	1
(4) 町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	5	4	3	2	1
(5) この町内（集落）に対して愛着を持っている	5	4	3	2	1
(6) 町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	5	4	3	2	1
(7) 見知らぬ他者であっても信頼する	5	4	3	2	1
(8) 町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	5	4	3	2	1
(9) 女性が活躍しやすい雰囲気がある	5	4	3	2	1
(10) 若者が活躍しやすい雰囲気がある	5	4	3	2	1
(11) 地域社会が子育てに協力的で、産み育てやすい環境にある	5	4	3	2	1
(12) 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う	5	4	3	2	1





まちな現状と今後の取組についてお聞きします。



【問 12】庄内町では、これまで庄内町総合計画に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。  
以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

(1) あなたは、以下の項目について、現在どの程度満足していますか。  
(各項目それぞれ1つに○印)

(2) あなたは、以下の項目について、今後どの程度重視していますか。  
(各項目それぞれ1つに○印)

評価	(1) 満足度					(2) 重要度				
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない	重視していない
項目										

1. 都市基盤・安全安心分野											
① 高速交通網、道路の整備 (鉄道、空路、高速道路、国・県・町道の整備等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
② 町営バス、路線バス等 (町営バス、デマンドタクシー、路線バス等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
③ 情報通信環境 (光ファイバなど情報通信の活用、ホームページを活用した情報提供等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
④ 住宅整備 (住宅地の形成促進、公営住宅の整備等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑤ 中心市街地 (再開発、空き店舗の利活用等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑥ 消防・救急体制 (消防・救急体制、消防団員の確保等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1

項目	評価						(1) 満足度					(2) 重要度				
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である		重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない	重視していない					
⑦ 防災・防犯体制 (災害時の情報通信体制、自主防災組織、防災訓練、地域の見守り活動、防犯灯整備等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑧ 消費者対策 (トラブル防止の啓発や情報提供、相談等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑨ 空き家対策 (危険老朽空き家対策・空き地対策)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑩ 治山・治水対策 (危険箇所の崩壊防止、河川改修等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑪ 交通安全対策 (交通安全施設の整備、啓発の推進等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
<b>2. 生活環境分野</b>																
																
① 環境保全 (自然保護、公害防止、省エネ等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
② 再生可能エネルギー (風力やバイオマス、太陽光等の利活用等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
③ まちの景観 (町の景観保全、花のまちづくり、街並緑化等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
④ 公園・緑地の整備 (公園・緑地の整備、管理体制等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑤ 上水道・下水道の整備 (上・下水道施設の整備、水の安定供給等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑥ 町営ガス事業 (ガス施設の整備、ガスの安定供給等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					

項目	評価						(1) 満足度					(2) 重要度				
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である		重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない	重視していない					
⑦ ごみ処理 (収集・処理、生ごみの資源化等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑧ 雪への対策 (除排雪体制、利雪の推進等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑨ 定住促進対策の状況 (移住希望者への空き家情報、住宅取得支援等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
<b>3. 保健・医療・福祉分野</b>																
① 保健サービス (健康づくり活動、健康診査・指導等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
② 医療 (地域医療体制・救急医療体制等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
③ 高齢者支援 (高齢者福祉サービス、生きがいづくり等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
④ 介護保険サービス (介護保険サービス、施設整備等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑤ 障がい者支援 (障がい者福祉サービス、社会参加の促進等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑥ 子育て支援 (各種相談・保育サービス・学童保育等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑦ ともに支え合う地域育成 (地域内外との交流、ボランティア育成等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑧ バリアフリー化・合理的配慮 (だれにでも使いやすい施設の整備、周囲からの理解・配慮等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					

項目	評価					(1) 満足度					(2) 重要度				
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない	重視していない					

## 4. 産業分野



① 農業の振興 (担い手の育成、農業生産基盤の整備等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
② 林業の振興 (担い手育成、林道整備、森林整備支援等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
③ 商業の振興 (魅力ある商店街づくり、空き店舗の利活用等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
④ 工業の振興・企業誘致 (既存企業の活性化、企業誘致等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑤ 観光の振興 (観光資源・観光施設の整備、観光PR等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑥ 雇用対策 (相談・情報提供、労働環境の向上等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1

## 5. 教育・文化分野



① 保育園・幼稚園環境 (人間性を育む幼児教育、預かり保育運営等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
② 小・中学校環境 (心と体、学び、生きる力を育む教育)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
③ 学校教育施設 (安全安心な幼稚園・小・中学校施設の整備等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
④ 生涯学習環境 (学習機会の提供、地域人材の活用等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1

項目	評価						(1) 満足度					(2) 重要度				
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である		重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない	重視していない					
⑤ <b>スポーツ環境</b> (スポーツの推進、団体育成、施設の整備等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑥ <b>文化芸術環境</b> (文化芸術の推進、文化芸術団体の育成等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑦ <b>文化遺産の保存・活用</b> (文化財や民俗芸能等の保存・伝承等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑧ <b>青少年健全育成</b> (ボランティア、地域・家庭・学校の連携等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑨ <b>国内外交流活動</b> (友好町南三陸町との交流の推進等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
<b>6. 協働・行財政分野</b>																
① <b>男女共同参画</b> (男女平等啓発、女性の社会参加促進等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
② <b>コミュニティ活動</b> (自治会や学区・地区の活動支援等)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
③ <b>町民参画・協働</b> (行政への意見、各委員会、協議会の場の充実)	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					



あなたの「地域のつながり」についてお聞きします。



【問 13】あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。

(1つに○印)

1. 互いに相談をしたり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている人がいる
2. 日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている
3. あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない
4. 付き合いは全くしていない

【問 13】で、「1」～「3」に○をつけた方にうかがいます。

つきあっているご近所の方の数はどの程度ですか。(1つに○印)

1. 近所のかかなり多くの人と面識・交流がある（概ね20人以上）
2. ある程度の人と面識・交流がある（概ね5～19人）
3. 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある（概ね4人以下）
4. 隣の人が誰かも知らない

【問 14】あなたは、「① 友人・知人」、「② 親戚・親類」とどのようなおつきあいをされていますか。(各項目それぞれ1つに○印)

項目	選 択 肢					
	日常的にある (毎日から週に数回程度)	ある程度頻繁にある (週に1回～月に数回程度)	ときどきある (月に1回～年に数回程度)	めったにない (年に1回～数年に1回程度)	全くない	該当する人はいない
① 友人・知人とのつきあい (学校や職場以外で)	6	5	4	3	2	1
② 親戚・親類とのつきあい (同居している方を除く)	6	5	4	3	2	1

【問 15】あなたは現在、「① 地域活動」、「② スポーツ・趣味・娯楽活動」、「③ ボランティア・NPO・町民活動」をされていますか。  
(各項目それぞれ1つに○印)

項目	選 択 肢	活動している	活動していない
① 地域活動 (自治会、町内会、婦人会、老人会、消防団、子ども会など)		2	1
② スポーツ・趣味・娯楽活動 (各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習など)		2	1
③ ボランティア・NPO・町民活動 (まちづくり、高齢者・障がい者福祉や子育て、スポーツ指導、美化、防犯・防災、環境、国際協力活動など)		2	1

【問 16】あなたがお住まいの地域との関係についておたずねします。  
 以下の、①～③の各項目について、あなたの実感に最も近いものは  
 どれですか。(各項目それぞれ1つに○印)

項目	実 感				
	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない
① ご近所とのつきあいは良いと感じますか	5	4	3	2	1
② 信頼できる人が身近にいますと感じますか	5	4	3	2	1
③ 地域での活動や社会貢献活動に参加できていると感じますか	5	4	3	2	1

## これからのまちづくりについてお聞きします。



【問 17】あなたは、今後のまちづくりにおいて、庄内町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 快適な住環境のまち [ 快適で安全・安心な住環境 ]
2. 環境・エネルギーのまち [ 自然や環境保全、再生エネルギーの利活用 ]
3. 健康・福祉のまち [ 人にやさしい保健・医療・福祉の充実 ]
4. 子育て・教育のまち [ 子育て環境や子どもの保育・教育環境の充実 ]
5. 田園空間豊かなまち [ 農業や農村環境の保全 ]
6. 商工業のまち [ 商業の振興や地場産業の育成、企業立地 ]
7. 観光・交流のまち [ 地域資源を活用した観光や交流事業 ]
8. 文化芸術・スポーツのまち [ 生涯学習活動や文化芸術・スポーツ活動の充実 ]
9. 歴史ロマンのまち [ 歴史的遺産を活用したまちづくり ]
10. 町民参画・協働のまち [ 町民と行政が協力して行うまちづくり ]
11. その他 [具体的に： ]

【問 18】地域経済の活性化に向けて、どのような取り組みに力を入れるべきとお考えですか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 就職活動の支援
2. 若い世代の正規雇用など経済的な安定化
3. 安全で付加価値の高い農産物などの生産と販売促進
4. 地域の農産物等を活用した6次産業化※1やブランド化の推進
5. 地域資源を活用した着地型観光※2やグリーンツーリズム等の促進
6. 地元産材の利用促進や流通の拡大
7. 農林水産業と、農産物直売所等との連携強化
8. 高齢者や障がい者が活躍できる仕事の創出
9. その他 [具体的に： ]

※1 6次産業化：

1次産業（農林業）と、2次産業（製造業）、及び3次産業（小売業等）の事業を総合的かつ一体的な推進を図り、農山村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取り組み。

※2 着地型観光：

観光客の受け入れ先が地元ならではのプログラムを企画し、参加者が現地集合、現地解散する観光の形態。

